Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏　空調設備改修工事空調

図面番号	通し番号	図　面　名	図面番号	通し番号	図　面　名	図面番号	通し番号	図　面　名
共-00	01	表紙・図面目録	M-17	24	空調設備　２階平面図（西）改修前・後	P-01	46	スプリンクラー設備　系統図（参考）
共-01,02	02	営繕工事共通仕様書(1)（2）	M-18	25	空調設備　３階平面図（西）改修前・後	P-02	47	スプリンクラー設備　１階平面図（西）改修前・後
共-03,04	03	営繕工事共通仕様書(3)（4）	M-19	26	空調設備　４階平面図（西）改修前・後	P-03	48	スプリンクラー設備　２階平面図（西）改修前・後
共-05,06	04	営繕工事共通仕様書(5)（6）	M-20	27	空調設備　Ｐ１、Ｐ２階平面図（西）改修前	P-04	49	スプリンクラー設備　３階平面図（西）改修前・後
機特-01,02	05	機械設備工事特記仕様書(1)（2）	M-21	28	空調設備　Ｐ１、Ｐ２階平面図（西）改修後	P-05	50	スプリンクラー設備　４階平面図（西）改修前・後
機特-03,04	06	機械設備工事特記仕様書(3)（4）	M-22	29	空調設備　１階平面図（中央）改修前・後	P-06	51	スプリンクラー設備　１階平面図（中央）改修前・後
機特-05	07	機械設備工事特記仕様書(5)	M-23	30	空調設備　２階平面図（中央）改修前・後	P-07	52	スプリンクラー設備　２階平面図（中央）改修前・後
M-01	08	配置図・附近見取図および仮設計画図、支障物件確認図	M-24	31	空調設備　３階平面図（中央）改修前・後	P-08	53	スプリンクラー設備　３、４階平面図（中央）改修前・後
M-02	09	空調設備　機器表（１）改修前・後	M-25	32	空調設備　４階平面図（中央）改修前・後	W-01	54	衛生設備　地下１階平面図（西）改修前・後
M-03	10	空調設備　機器表（２）改修前・後	M-26	33	空調設備　機械室Ｃ１廻り詳細図及びＡ－Ａ断面詳細図	エ-01	55	参考概略工事工程表
M-04	11	空調設備　機器表（３）改修前・後	M-27	34	空調設備　制御配線系統図　改修前			
M-05	12	空調設備　機器表（４）改修前・後	M-28	35	空調設備　制御配線系統図　改修後			
M-06	13	空調設備　機器表（５）改修前・後	M-29	36	空調設備　電気配線地下１階平面図（西）改修前・後			
M-07	14	空調設備　機器表（６）改修前・後	M-30	37	空調設備　電気配線１階平面図（西）改修前・後			
M-08	15	空調設備　機器表（７）改修前・後	M-31	38	空調設備　電気配線２階平面図（西）改修前・後			
M-09	16	空調設備　機器表（８）（参考）	M-32	39	空調設備　電気配線３階平面図（西）改修前・後			
M-10	17	空調設備　ダクト系統図　改修前	M-33	40	空調設備　電気配線４階平面図（西）改修前・後			
M-11	18	空調設備　ダクト系統図　改修後	M-34	41	空調設備　電気配線Ｐ１、Ｐ２階平面図（西）改修前			
M-12	19	空調設備　配管系統図　改修前	M-35	42	空調設備　電気配線Ｐ１、Ｐ２階平面図（西）改修後			
M-13	20	空調設備　配管系統図　改修後	M-36	43	空調設備　電気配線１階平面図（中央）改修前・後			
M-14	21	空調設備　据付要領図（参考）	M-37	44	空調設備　電気配線２階平面図（中央）改修前・後			
M-15	22	空調設備　地下１階平面図（西）改修前・後	M-38	45	空調設備　電気配線３、４階平面図（中央）改修前・後			
M-16	23	空調設備　１階平面図（西）改修前・後						

課　長	副課長	課長補佐	主査兼係長	係　長	課　員	担　当

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	共-00
設計 R7.2 / 竣工	図面名	表紙・図面目録	縮尺	NO SCALE

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

営繕工事共通仕様書

Ⅰ．工事概要

1.　工事名称

R7営繕　総合教育センター　板・犬伏　空調設備改修工事空調

2.　工事場所

板野郡板野町犬伏

3.　建物概要

建物名称	総合教育センター	
構造・規模	RC造一部S造　地上4階・地下1階	
敷地面積	40,107.93(m2)	
延床面積	12,508.05(m2)	
消防法施行例別表第1の区分		1項(ロ)　集会所

4.　工事種目

種目	工事概要
空気調和設備	空調設備の更新および増設工事一式
換気設備	換気設備更の新工事一式
消火設備	空調・換気設備更新に伴う図示消火設備工事一式
給水設備	図示給水ポンプユニットの更新および配管工事一式
電気工事	空調・換気設備更新に伴う図示電気工事一式
建築工事	空調・換気設備更新に伴う天井改修などの建築工事一式
撤去工事	本改修工事に伴う機器・配管等の撤去工事一式

5.　猛暑を考慮した工期

猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

① 作業不能日数:　10 日間

② 観測地点:環境省が公表する四国地方_徳島_　徳島　地点

③ 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する四国地方_徳島_　徳島　地点におけるWBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が①の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

④ 作業不能日数の計算は「営繕工事における猛暑および熱中症対策に係る試行要領(案)」による。

6.　その他

本工事は、資材価格高騰に対する特例措置について(令和4.12.9建設第686号)に基づく特例措置の対象工事である。

Ⅱ．営繕工事共通仕様書

1.　適用基準

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。

- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)　令和4年版(以下「標仕」という。)
- 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)　令和4年版
- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)　令和4年版
- 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)　令和4年版(以下「改標仕」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)　令和4年版
- 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)　令和4年版
- 木造建築工事標準仕様書　令和4年版
- 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)・同解説　令和5年版
- 建築工事標準詳細図　令和4年版(以下「標準図」という。)
- 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)　令和4年版
- 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)　令和4年版
- 敷地調査共通仕様書　令和4年版

また、次の図書(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)を参考とする。

- 建築工事監理指針　令和4年版(以下「監理指針」という。)
- 建築改修工事監理指針　令和4年版
- 電気設備工事監理指針　令和4年版
- 機械設備工事監理指針　令和4年版

2.　優先順位

設計図書の優先順位は、次の順とする。

① 質問回答書(②から⑤に対するもの)
② 補足説明書
③ 特記仕様書(営繕工事共通仕様書を含む)
④ 図面
⑤ 公共建築工事標準仕様書等

3.　工事実績データの登録

① 受注者は、請負代金額が500万円以上の工事については受注・変更・しゅん工・訂正時に、工事実績情報サービス(コリンズ)に基づき、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員に提出して内容の確認を受けた上、次の期限までに登録機関に登録しなければならない。

受注時は、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。

- 登録内容の変更時は、変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
- しゅん工時は、工事しゅん工承認後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
- 訂正時は、適宜とする。

なお、変更登録は工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金額のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。

② 受注者は、実績登録完了後、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。
なお、変更時としゅん工時の間が14日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

4.　工程表

受注者は、契約書に基づく工程表を契約締結後14日(土曜日、日曜日、祝日等を除く。)以内に提出すること。

5.　工事の着手

受注者は、設計図書に定めのある場合、又は特別の事情により発注者の承諾があった場合を除き、工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。
なお、工事開始日とは、契約書に明示した着工の日(特記仕様書において着工の日を別に定めた場合にあっては、その日)をいう。

6.　施工計画書等

① 施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書並びに施工図等を作成し、監督員の承諾を受けること。
② 上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。
③ 施工図、現寸図、見本等を、工事の施工に先立ち作成し、監督員の承諾を受けること。

7.　下請負人の選定

① 受注者は、本工事の一部を下請に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すると共に、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお、請負対象額(設計金額)が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合に、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。
② 受注者は、本工事の全部若しくは一部について、指名停止期間中の有資格業者と下請契約を締結してはならない。(なお、有資格業者とは、建設工事の請負契約に係る一般競争入札及び指名競争入札参加資格審査要綱(昭和58年1月18日徳島県告示第50号)第5条の規定により参加資格の認定を受けた者をいう。)
③ 受注者は、下請契約を締結するときは、下請負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならない。

8.　施工体制台帳及び施工体系図

① 施工体制台帳の作成
受注者は、下請契約(以下の(3)及び(4)の場合を含む。)を締結した場合は、施工体制台帳及び再下請負通知書(以下「施工体制台帳」という。)を自らの責任において作成・保存するとともに、施工体制台帳を工事現場に備え置かなければならない。
② 施工体系図の作成及び掲示
受注者は、下請契約(以下の(3)及び(4)の場合を含む。)を締結した場合は、各下請負者の施 工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
③ 警備業者の記載
受注者は、交通誘導警備員を配置するときは、警備業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。
④ 運搬業者の記載
受注者は、土砂等を運搬する大型自動車を配置するときは、運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。
⑤ 施工体制台帳及び施工体系図の提出
受注者は、施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しを、下請契約を締結したときは下請契約日から、内容に変更が生じたときは変更が生じた日から、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内に監督員に提出し、確認を受けなければならない。ただし、提出日について、監督員が承諾したときはこの限りではない。
⑥ 再下請負通知書を提出する旨の書面の掲示
受注者は、再下請負通知書を提出する旨の書面を、工事現場の公衆が見やすい場所に掲示しなければならない。

9.　電気保安技術者等

① 電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。
・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。
・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。
② 工事用電力設備の保安責任者を関係法令に従って有資格者を定め、監督員に報告すること。

10.　施工中の安全確保

① 工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。
② 工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。名札には現場代理人、監理技術者、主任技術者の別、氏名、会社名、工事名を記載し、顔写真を添付すること。
③ 工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと
④ 工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱(令和元年9月2日付け国土交通省告示第496号)、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第3号、平成14年5月30日改正)その他関係法令に従い適切に処理すること。
⑤ 受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設材設置を含む)着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。
⑥ 地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置(平面・深さ)、規格、構造等を確認しなければならない。
⑦ 受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう、受注者の負担でその都度補修又は補償すること。
⑧ 受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積む作業(ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。)又は貨物自動車から卸す作業(ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。)を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。
⑨ 受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。
⑩ 受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により確認しなければならない。
⑪ 受注者は、トラック(クレーン装置付)を使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置(ブームの格納忘れを防止(警報)する装置、ブームの高さを制限する装置等)付きの車両を原則使用しなければならない。なお、使用できない場合は事前に監督員と協議を行うこと。
⑫ 休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。
⑬ 受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い、安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資機材保管計画書」(自由様式)の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。
⑭ 受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
⑮ 仮囲いを設置する場合は、設置後に「営繕課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
⑯ 上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階(天井)のスラブはつり工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を図り、施工手順について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。
⑰ 受注者は、足場を設置する場合は組立、解体時において、作業前に施工手順を確認し、倒壊や資材落下に対する措置を講じなければならない。特に、飛来落下の恐れのある巾木やメッシュシート等の資機材については、足場の上に仮置きせず、設置又は荷下ろしするまでは、番線等により固定を行うこと。また、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、作業を中止すること。
⑱ 作業にあたって労働災害、公衆災害の事故リスクと対応方法について監督員と協議すること。
⑲ 既設配管等を破損させた場合の停電、断水等の影響範囲及び破損防止のための対策について関係者と協議すること。
⑳ 事故により、停電、断水等が発生することを考慮し、施設休業日に作業するなど、作業日を施設管理者と協議すること。
㉑ 給水管近傍の作業で給水管を破損する恐れがある場合は、給水バルブの止水状況を確認するとともに、事故による漏水に備えて直下階や近傍の重要備品について養生や移設について協議すること。
㉒ 受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、または、公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督員に直ちに通知しなければならない。

11.　撤去時の資機材残置の防止

足場撤去の際は、工事箇所周辺に資機材が残っていないか点検したうえで、撤去を行うこと。

12．交通安全管理

① 輸送災害の防止

受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当業者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。

② 過積載による違法運行の防止

受注者は、過積載による違法運行の防止に関し、特に次の事項について留意し、下請負業者を指導すること。

・積載重量制限を超えた土砂等の積込みは行わないこと
・さし枠装備車、不表示車は使用しないこと
・過積載車両、さし枠装備車、不表示車から土砂等の引き渡しを受けないこと
・建設発生土の処理及び骨材の購入に当たっては、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害さないこと
・過積載による違法通行により、逮捕または起訴された建設業者は、指名停止措置を講ずる場合がある

13．発生材の処理等

① 発生材の処理等は、次により適正に行う。

1) 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。
2) 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員に報告し指示を仰ぐこと。
3) 産業廃棄物の種類ごとの処分場については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「産業廃棄物の処理」又は「発生材の処理等」による。
4) 建設発生土の処理については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「建設発生土の処理」による。
5) 解体前に、照明器具、変圧器及び進相コンデンサのPCBの有無を調査し、有れば、監督員の指示に従うこと。
6) 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。
7) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調書（様式3）、産業廃棄物は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調書を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。

② アスベスト

1) 解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、あれば監督員の指示に従うこと。既存の分析調査結果がある場合は、受注者がその結果を書類等により確認すること。なお、工事内容に変更がある場合においても同様とする。

既存の分析調査結果の貸与　（　あり　・　なし　）

2) 事前調査を公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）1.5.1及び関係法令により行うこと。

・事前調査は、建築物石綿含有建材調査者（特定、一般）、又はこれと同等の能力を有する者が行うこと。
※同等の能力を有する者とは、（一社）日本アスベスト調査診断協会に令和5年9月30日までに登録されたものをいう。
・発注者の指示により、分析によるアスベスト調査を行う場合の費用については、監督員との協議による。
その場合の分析方法は、JIS A 1481-1によること。
・結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置くこと。
・調査結果は3年間保存すること。
・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。

3) 表示、掲示は次のとおり行うこと。

・事前調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示する。
・「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」を労働者及び周辺住民の見やすい場所に掲示する。
・作業に従事する労働者への注意事項を見やすい場所に掲示する。
・喫煙及び飲食の禁止並びに関係者以外の立入禁止について、作業場の見やすい箇所に掲示する。

③ 建設リサイクル法通知済証の掲示

受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければならない。また、「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全景写真は電子納品の対象書類とし、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出すること。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。

④ 資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に基づく対応は、以下のとおり行うこと。

1) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第19号）第8条で規定される工事又は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事（以下「一定規模以上の工事」という。）において、コンクリート（二次製品を含む。）、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、（一財）日本建設情報総合センターのコブリス・プラスにより再生資源利用計画書を作成し、監督員に提出すること。
2) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係るの促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第20号）第7条で規定される工事又は一定規模以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、コブリス・プラスにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出すること。
3) 受注者は、上記計画書を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）すること。
4) 受注者は、上記計画書に変更が生じた場合は、速やかに計画を変更し、その変更の内容を監督員に報告すること。
5) 受注者は、工事完了後速やかにコブリス・プラスにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出すること。
6) 受注者は、上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること。
7) 受注者は、コブリス・プラスの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力すること。ただし、バージン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。

⑤ 受領書の交付

受注者は、土砂を再生資源利用計画書に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

⑥ 再生資源利用促進計画書を作成する上での確認事項等

受注者は、再生資源利用促進計画書の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。また、確認結果は再生資源利用促進計画書に添付し監督員に提出するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。

⑦ 建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするとき、特記に土工事の記載 がある場合は「建設発生土の処理」に定められた事項等（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と、前項で行った確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

⑧ 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画書に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画書に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督員に写しを提出しなければならない。
また、その受領書の写しを工事完成後5年間保存しなければならない。

⑨ 建設発生土の最終搬出先の記録・保存

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画書に記載した搬出先から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに搬出先の名称や所在地、搬出量等を記録した書面を作成し、保存すること。さらに、他の搬出先へ搬出されたときも同様である。

ただし、以下の(1)～(3)に搬出された場合は、最終搬出先の確認は不要である。

（1） 国又は地方公共団体が管理する場所（当該管理者が受領書を交付するもの）
（2） 他の建設現場で利用する場合

（3） ストックヤード運営事業者登録規程により国に登録されたストックヤード

14．材料・製品等

① 本工事に使用する建築材料、設備機材等（以下「建材等」という）は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。

② 受注者は、建材等の発注の際には、発注前に、品質及び性能に関して記載された工種別施工計画書及びその証明となる資料を監督員へ提出しなければならない。ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。なお、各事門特記仕様書中、「評価名簿による」と記載されているものは、一般社団法人公共建築協会発行の「建築材料等評価名簿（最新版）」及び「設備機材等評価名簿（最新版）」記載品を指すものとする。

③ 県産木材の原則使用

1) 受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。

2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。

（a） 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材
（b） （a)以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材

3) 受注者は、請負代金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。

4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証証 明書」の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。

5) 県内の森林から直接調達するなど、前項により難い場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。

④ 製材等（製材、集成材、合板、単板積層材）、フローリング、再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板）については、合法性に係る確認（「産地認証」及び「品質認証」を含む。）が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月 1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。

⑤ 標仕等に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。

⑥ 県内産資材の原則使用

1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。
2) 受注者は、木材以外の建設資材について、県内産資材であることの別を施工計画書に記載するものとする。また、請負代金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。

県内産資材（次のいずれかに該当するもの）
・材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品
・徳島県内の工場で加工、製造された製品
（注）　・部材、部品が県外製品であっても、県内の工場で加工、製造した製品（二次製品）であれば県内産資材として取り扱う。
・県内企業が県外に立地した工場（自社工場）で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。
・公共建築工事標準仕様書その他関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。

⑦ 県内企業調達建材等の優先使用

受注者は、徳島県内に主たる営業所を有する者から調達した建材等（以下、「県内企業調達建材等」という。）を優先して使用するよう努めなければならない。また、県内企業調達建材等の別を工種別施工計画書に記載するものとする。

なお、県内企業調達建材等以外を使用する場合は、県内企業調達建材等を使用しない理由を工種別施工計画書に記載し、監督員の承諾を得なければならない。

⑧ 県内産再生砕石の原則使用

受注者は、再生砕石を使用する場合、県内の再資源化施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条第1項に基づく許可を有する施設（同法第15条の2の6第1項に基づく変更の許可において同じ。））で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。

⑨ アスファルト舗装の材料

受注者は、加熱アスファルト混合物を使用するときは、原則として、「徳島県土木工事用生アスファルト合材の品質審査要綱」に基づき工場認定を受けた県内の工場から出荷された合材を原則として使用しなければならない。

⑩ 認定リサイクル製品の使用

受注者は、「徳島県リサイクル認定制度」に基づく徳島県認定リサイクル製品の使用を積極的に推進するものとする。
徳島県認定リサイクル製品を使用した場合、受注者は工事完了までに「徳島県認定リサイクル製品等使用実績報告書」を監督員へ任意で提出すること。

15．化学物質を発散する建築材料等

本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の①から⑤を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

② 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

③ 接着剤は、フタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

④ 塗料（塗り床を含む）は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

⑤ ①、③及び④の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

16．施工

① 設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、標仕記載の「疑義に対する協議等」による。

② 工事現場に監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時、又は営繕課へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。

③ 品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき、確認、試験又は検査を行うこと。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施すこと。また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとること。

④ 施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。

⑤ 本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。

⑥ 設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。

⑦ 試験等によらなければ確認できない工事（製品）については、試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。

17．建設機械等

① 排出ガス対策型建設機械

本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8 建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。

② 低騒音・低振動型建設機械

本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（国土交通省告示 平成13年4月9日改正）」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。

③ 特定自主検査

本工事で使用する建設機械（労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械）は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書（検査記録表）の写しを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。

④　不正軽油の使用禁止

受注者は、ディーゼルエンジン仕様の車両及び建設機械等を使用する場合は、地方税法（昭和 25年法律第226号）に違反する軽油等を燃料として使用してはならない。

また、受注者は、県の徴税吏員が行う使用燃料の採取調査に協力しなければならない。

18．遠隔臨場の試行

①　受注者は、当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円未満の場合において、遠隔臨場の実施を希望する場合は、「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を実施することができる。

②　受注者は、当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円以上の場合において、「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を実施しなければならない。

19．工事看板等

①　工事現場には、工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。

②　受注者は、本工事において使用する工事看板・バリケード等については、県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めなければならない。県産木材を購入した場合、受注者は、工事完了までに「任意仮設における県内産木材購入実績報告書」を監督員へ任意で提出すること。

③　受注者は、監督員から渡される「技能労働者への適切な賃金水準の確保等に関するポスター」を現場関係者が見やすい場所に掲げるとともに、掲示状況を工事写真として提出しなければならない。ただし、次のいずれかに該当する工事は対象外とする。

・区画線工事、舗装工事、標識設置工事、照明灯工事
・当初請負金額が200万円未満の工事

20．仮設トイレ

受注者は仮設トイレを設置する場合、次のとおりとしなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りではない。

①　当初請負対象金額（設計金額）1千万円未満の工事
原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（洋式トイレ）」を設置しなければならない。

②　当初請負対象金額（設計金額）1千万円以上3千万円未満の工事
原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。

③　当初請負対象金額（設計金額）3千万円以上の工事
原則として「快適トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。

受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。

（注）洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。

（注）快適トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施錠の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。

21．設計変更箇所確認

設計事務所による工事監理がある場合、受注者は、工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について、監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。また、工事しゅん工前には全ての設計変更箇所及び内容を監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること。

22．工事検査及び技術検査

①　次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が認める場合は、一般入札工事に限り、これによらないことができる。

当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事
3千万円未満	―	1回
3千万円以上5千万円未満	―	2回
5千万円以上1億円未満	1回	2回
1億円以上	2回	3回

（注）低入札工事とは、低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。

（注）一般入札工事とは、低入札工事以外の工事をいう。

②　中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし、締結後速やかに監督員と協議すること。

③　中間検査が部分払検査と同時期になる場合は、中間検査を省略することができる。

④　基礎杭工事を含む工事については、請負対象額にかかわらず、基礎杭工事完了後、中間を実施する。

⑤　外壁改修工事等において、足場が撤去されしゅん工検査時に検査員による出来形等の現認ができなくなるおそれがある場合は、当初請負対象額に関係なく、中間検査の実施にて監督員と協議すること。

23．完成図等

①　電子納品：　対象

②　受注者は、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品（以下「電子納品」とすること。

③　提出書類

・竣工図（製本3部、電子データ2部）（サイズ：監督員の指示による）
・工事写真（電子データ2部）
・使用材料一覧表（竣工図表紙裏面に貼付、電子データ2部）
・保全に関する資料
・その他監督員が指示する図書（必要部数）

④　しゅん工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。しゅん工図データは、関係図面（データ貸与）を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及リジナル形式をCD-R等に保存する。

⑤　工事写真の電子データは完成写真、着手前、資機材、施工状況の順に整理する。完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部出来形が写真で的確に確認できること。

⑥　工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。

⑦　工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家によらないものとする。

⑧　既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は竣工図に反映させること。

24．デジタル工事写真の小黒板情報電子化

①　受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以下「対象工事」という。）とすることができる。

②　対象工事は、徳島県CALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化の運用について（県土整備部）」に記載された全ての内容を適用することとする。

25．火災保険

本工事の着手に際し、火災保険等（火災保険、建設工事保険その他の保険（これに準ずるものを含む。））を請負額に応じて付保する。（標準請負契約約款 第55条）

①　対象物
工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）について付保する。

②　付保除外工事
次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。
・杭及び基礎工事　・コンクリート躯体工事　・屋外付帯工事　・その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等）

③　付保する時期及び金額

鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。

④　保険終期
工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には保険の期間も延長する。

⑤　その他
・付保する時期以降に出来高払を行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。
・建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。

26．公共事業労務費調査

①　当初請負対象金額（設計金額）が税込1,000万円以上の工事において、公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し調査団体に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

②　調査票等を提出した事業者を調査団体が事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

③　公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。

④　受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前述と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

27．暴力団からの不当要求又は工事妨害の排除

①　受注者は、工事の施工に関し、暴力団等からの不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合（②に規定する場合は、下請負人から報告があったとき）には、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、併せて所轄の警察署に届け出なければならない。

②　受注者は、本工事の一部を下請に付する場合、下請工事の施工に関して下請負人が暴力団等からの不当介入を受けたときは、受注者にその旨を報告することを義務付けしなければならない。

③　受注者は、発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じなければならない。

④　受注者は、排除対策を講じたにもかかわらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合には、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期内に工事が完成しないと認められる場合 は、「徳島県公共工事標準請負約款」（以下「約款」という。）第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。

⑤　受注者は、暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出しなければならない。

⑥　受注者は、前項被害により、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。

28　事故報告書

受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡する。また、監督員が指示した場合及び建設工事事故データベースシステムの登録対象となる事故の場合、監督員が定めた期日までに、事故報告書を提出し、建設工事事故データベースシステムに、事故に関する情報を登録する。

Ⅲ．機械設備工事特記仕様書
1章　　一般共通事項

1．　官公署その他への届出手続等

①　本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公署への諸手続などの費用は本工事に含む。
官公署その他への届出手続等は（標仕<1> 1.1.3）により行う。なお、監理指針<1>1.1.3を参考とする。
・自家用電気工作物の保安規程（　本工事に関し定める　・　既存施設の保安規程を適用（改修・増築等））
・既存施設の保安規程を適用する場合の工事、維持、運用に関する保安業務は電気主任技術者との協議による。

②　官公署その他への届出手続等を行うにあたり、届出内容について、あらかじめ監督員に報告する。

③　官公署その他関係機関の検査に必要な資機材及び労務等は本工事で提供する。

2．　技能士

技能士の適用については、次の技能検定作業（以下「作業」という。）のうち、各工事毎に適用する作業を指定するものとする。

技能士は、職業能力開発促進法による一級又は二級技能士の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督員に提出すること。技能士は適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。

技能士は、氏名、検定職種、技能士番号等、県が指定した内容を記載した名札等により、資格を明示するものとする。なお、指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。

工事種目	技能検定職種	技　能　検　定　作　業
仮設	とび	・　とび作業
鉄筋	鉄筋施工	・　鉄筋組立て作業
コンクリート	コンクリート圧送施工	・　コンクリート圧送工事作業
型枠	型枠施工	・　型枠工事作業
鉄骨	鉄工	・　構造物鉄工作業
防水	防水施工	・　アスファルト防水工事作業 ・　ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・　アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・　合成ゴム系シート防水工事作業 ・　塩化ビニル系シート防水工事作業 ・　セメント系防水工事作業・ ・　シーリング防水工事作業 ・　改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・　改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ常温粘着工法防水工事作業 ・　FRP防水工事作業
タイル	タイル張り	・　タイル張り作業
木	建築大工	・　大工工事作業
屋根及びとい	建築板金	・　内外装板金作業
	かわらぶき	・　かわらぶき作業
金属	建築板金	・　内外装板金作業
左官	左官	・　左官作業
建具	建具製作	・　木製建具手加工作業 ・　木製建具機械加工作業
	サッシ施工	・　ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・　ガラス工事作業
塗装	塗装	・　建築塗装作業
内装	内装仕上げ施工	・　プラスチック系床仕上げ工事作業 ・　カーペット系床仕上げ工事作業 ・　鋼製下地工事作業 ・　ボード仕上げ工事作業 ・　カーテン工事作業 ・　木質系床仕上げ工事作業
	表装	・　表具作業　　・　壁装作業
配管	配管	・　建築配管作業
植栽	造園	・　造園工事作業
機械設備	冷凍空気調和機器施工	○　冷凍空気調和機器施工作業

（注）表中○印の入った作業に係る技能士を本工事で活用する。

3．　施工条件

施工条件は次による。

①　工程表は，全体工程表をフォローする月間工程表，更にこれをフォローする週間工程表を定期的に作成の上，監督員・施設管理者へ提出し，承認を得ること。

②　工事対象施設は，日常の業務を継続している状態であることから，業務運営に支障をきたさぬよう，配慮すること。

③　資機材の搬入・搬出，騒音・停電等を伴う工程は，施設管理者と協議の上，作業日を決定すること。

④　資機材の搬入・搬出経路については別図を基本とする。なお，図示以外の経路を必要とする場合は，施設管理者と協議し承諾を得ること。

⑤　重量機器搬出入時における工事車両の駐停車位置は、事前に施設管理者と協議のうえ決定すること。
また、適宜交通誘導員を敷地出入口に配置し、周辺通行者と工事車両等の接触防止措置をとること。

4．　発生材の処理等

発生材の処理等は、標仕により適切に処理する。

①　廃棄物の処理
産業廃棄物の種類毎に次の処分場を指定する。

種類	処分許可業者の会社名 （処分区分）	優良	所在地 処分地	運搬距離 （km）	処分費 （税抜、円）	単位
コンクリート（有筋）	阿波舗道（株） （中間処分）		吉野川市鴨島町鴨島175-1 阿波市土成町吉田字原田市の三35	13.0	800	t
金属（処分）	（株）サンパイ		徳島市佐古四番町13-17 板野郡藍住町東中富字西向江傍示1-1	4.6	0	t
ガラス	（有）久保衛生		三好郡東みよし町加茂6001-1 三好郡東みよし町加茂5999-1	57.8	10,000	m3
廃プラ	（株）リリース		三好郡東みよし町昼間字カドタ305-2 三好郡東みよし町昼間字カドタ305-2	57.5	16,000	m3

石膏ボード	（有）山一建設		阿波市市場町香美字西原284-1 阿波市市場町香美字西原284-1	20.6	15,000	t

（注）表中「優良」欄に丸印の入っている業者は、「徳島県優良産業廃棄物処理業者の認定業者であることを示す。

・コンクリート・アスファルト類の搬出先については、中間処理施設のみとする。木材については、50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。
・上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが、増額変更の対象とはしない。また、この場合、処分単価の見積書を求め、減額変更を行うことがある。
・上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者（以下、「優良産廃処分業者」という。）に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として優良産廃処分業者に変更すること。ただし、諸般の事情により優良産廃処分業者以外の処分場で処分を行う場合は、理由書を監督員に提出すること。

②　建設発生土の処理
・構外に搬出し適切に処理　※土壌検査を本工事で（　行う（　箇所）　・　行わない　）・　構内敷きならし
・構内の指示場所（図示）に集積

5．　養生等

①　本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

②　工事により影響の及ぼす範囲内にある重要物品は次のとおりである。受注者は、注意事項に従い適切な措置を施すこと。

備品等名称	各執務室内の什器備品類、パソコン・プリンター等の機器類
注意事項	着手前に上記備品等の管理者（使用者）と調整・協議を行い、重要な物は一時移動等を依頼すること。 移動できない物については、管理者立会いの下、施工前・後に現況確認を行い、破損・滅失等のトラブル防止に務めること。

6．　機材の品質等

①　本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものを使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。

②　下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑤の事項を満たすものとし、証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたものを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
1）品質及び性能に関する試験データを整備していること。
2）生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
4）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
5）販売、保守等の営業体制を整えていること。

品名	機　材　名　・　注　記
ボイラー	鋼製簡易ボイラー（簡易貫流ボイラー含む）、鋳鉄製ボイラー（鋳鉄製簡易ボイラー含む） 鋼製小型ボイラー（小型貫流ボイラー含む）、鋼製ボイラー
温水発生機	真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）、無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）
冷凍機	チリングユニット（空気熱源ヒートポンプユニット含む）、吸収冷温水機、吸収冷温水ユニット、遠心冷凍機
冷却塔	冷却塔
空気調和機	ユニット形空気調和機、ファンコイルユニット（カセット形含む） コンパクト形空気調和機、パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機
空気清浄装置	エアフィルター（パネル形、折込み形、袋形）、自動巻取形エアフィルター、電気集塵器
全熱交換器	全熱交換器（回転形・静止形）、全熱交換ユニット
送風機類	遠心送風機（多翼形送風機）、斜流送風機、軸流送風機、消音ボックス付送風機
ポンプ類	横形遠心ポンプ、水中モーターポンプ、立形遠心ポンプ
ダクト付属品	吹出口・吸込口、風量ユニット（定風量・変風量）
自動制御	自動制御システム
衛生器具ユニット	衛生器具ユニット
タンク	FRP製パネルタンク、ステンレス鋼板製パネルタンク(溶接組立形、ボルト組立形)、密閉形隔膜式膨張タンク(給湯用) 密閉形隔膜式膨張タンク(給湯用)
消火装置	スプリンクラー消火システム、不活性ガス消火システム、泡消火システム、ハロゲン化物消火システム
厨房機器	厨房システム
鋳鉄製ふた	マンホールふた、弁桝ふた

③　機器類は、図示する形状又は配管などの取出し位置等により、特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。

④　機材の検査に伴う試験については、標仕 <1>1.4.5により行う。また、製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提出する。

7．　施工調査

①　工事の着手に先立ち、実施工程表及び施工計画書等作成のための必要な調査・打合せを行うこと。

②　工事の施工に先立ち、工事関連部分の事前調査（支障物件の調査・確認を含む）及び工事関係者（施設管理者・電気主任技術者・関係官公庁等）との事前打合せを実施し、その結果を監督員に報告する。

8．　総合試運調整

①　総合試運転調整の項目は次によるものとし、試運転調整完了後に記録表・測定表等の報告書を監督員に提出すること。
（監理指針 参考資料 資料2 試運転調整法 2.1、2.2、2.3を参考にする。）
・　風量測定　　・　水量調整　　・　室内外空気の温湿度の測定　　・　室内気流及びじんあいの測定
・　飲料水の水質の測定　　・　雑用水の水質の測定　　・　低圧屋内配線、弱電流電線の絶縁抵抗測定

2章　　共通工事

1．　耐震施工　　（参考図書：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版））

①　設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。
なお、施工に先立ち、耐震計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
・設計用水平地震力
機器の重量（kN）に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、設計用標準水平震度は、特記なき場合は下表による。
・設計用鉛直地震力
設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
・施設の分類、地域係数
施設の分類（　特定の施設　・　一般の施設　）　地域係数（　1.0　・　0.9　）
・重要機器
・給水機器（　　）　・排水機器（　　）　・換気機器　・空調機器(室外機)　・熱源機器
・防災機器　・監視制御装置　・危険物貯蔵装置　・火を使用する設備

・設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

（注）　・上層階の定義は次のとおりとする。
2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階
・水槽類にはオイルタンク等を含む。

② 質量100kg以下の軽量な機器（標仕の適用を受けるものは除く）の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。
③ 横引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。

2．あと施工アンカー
あと施工アンカーボルトの選定については、次による。
① 機器類の固定には、金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し、重要機器及び次の機器については、施工後確認試験を行う。
（　排気送風機（床置き）　・　給水ポンプユニット　・　100kg以上の機器　・　　）
・試験方法　引張試験機による引張試験とし、確認強度まであと施工アンカーを引張るものとする。
・試験箇所数　対象機器、径毎に対し1本とし、無作為に抜き取る。
② 配管の吊り及び支持材の固定には、その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお、耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。
③ 屋外に使用するものはステンレス製又はJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。
（ただし、コンクリート内に施工するあと施工アンカーは除く）

3．非破壊検査
① はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工に当たり、埋設物の事前調査を行い、監督員に報告すること。
② 施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。なお、探査の結果、放射線透過検査を必要とする場合については、監督員と協議の上、適切に対応するものとする。

4．配管工事
① 配管材料については、次表による。

用途		名　　称	番　号	備　　考
冷　媒	○	冷媒用断熱材被覆銅管	JCDA 0009	ポリエチレン保温材（難燃性）
空調用排水（屋内）	○	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 又は6742	VP(30φ以下はJIS K 6742 を使用してもよい)
		結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管		
	○	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管		40A以上
給　水（地中埋設）		水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	HIVP
	○	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VA（管端防食継手）
		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VD（管端防食継手）
		配管用ステンレス鋼管	JIS G 3459	
		水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762	①W又は②W
		水道配水用ポリエチレン管	JWWA K 144	EF継手
		給水用高密度ポリエチレン管	PWA 005 JP K 002	

（注）表中〇印のある配管材料を本工事に適用する。

② 冷媒管に使用する断熱材被覆銅管の断熱厚さは、液管は10mm以上、ガス管を20mm以上とする。
③ 配管の吊り及び支持は、「標仕」及び「標準図」に従い行う。（標仕<2>2.6.1、<2>2.6.3）
④ 水圧試験、漏水試験、気密試験等は配管途中若しくは隠ぺい、埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。（標仕<2>2.9.1）

5．保温・塗装工事
① 保温工事
・ 空調対象室部分（天井内を含む）に設置する全熱交換器の外気取入用ダクト及び排気用ダクトの保温は25mm厚とする。
・ 冷媒用断熱材被覆銅管の保温外装は次による。

	適用箇所	保温外装材	施工種別	保温材	備考
	屋内露出	合成樹脂製カバー	A1	(ロ)	グラスウールにて成形とする。
		保温化粧ケース(耐候性樹脂製)			
○	屋外露出	ステンレス鋼板	E2	(ロ)	グラスウールにて成形とする。
○		溶融亜鉛アルミニウム－亜鉛鉄板(JIS G 3321)	E3	(ロ)	グラスウールにて成形とする。
		保温化粧ケース(ステンレス鋼板製)			
		保温化粧ケース(高耐食めっき鋼板製(JIS G 3323))			

・ 給水用配管でポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント及び弁は保温を行わない。
② 塗装工事
・ 次に指定する部分の露出する配管、ダクト、支持金物、架台等のうち亜鉛めっき面及び合成樹脂面の塗装は行わない。
（　屋内隠ぺい部分　・　　）
・ 機械室、隠ぺい部を除く露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。
・ 屋内、屋外及びピット内の支持金物等のうち、ステンレス製、溶融亜鉛めっき製及び溶融亜鉛めっき(HDZT49)と同等の耐食性能を有する製品は、原則塗装不要とする。
・ 硬質塩化ビニル管にカラーパイプを使用する場合は、塗装を省略することが出来る。

6．その他共通事項
① 支持金物等
・屋外及びピット内の支持金物等は、ステンレス製、溶融亜鉛めっき製(HDZT49以上)及び溶融亜鉛めっき(HDZT49)と同等の耐食性能を有する製品の何れかを使用する。

② 用途等の表示
・ 機器には名称及び記号を、配管及びダクトには、識別表示・用途・流れ方向を記入する。（標仕 <1>1.7.4）
なお、屋外及び水気のある場所（弁桝内等を含む）での機器の名称・配管識別表示等については、塗装書き又は耐候シートとし、バルブの状態表示を示す表示札等については、合成樹脂製又はアクリル製で文字等がシルク印刷又はエッチング加工されたものとする。

③ 制御配線、計装配線等
・ 使用する電線及びケーブルは、標仕<4>1.5.1 表4.1.11による他、製造者の標準仕様による。なお、EM電線、EMケーブルを選択するよう努める。

3章　　関連工事

1．仮設工事
① 工事用電力、用水については、原則として次による。ただし、施設管理者と協議すること。
・既存電力利用（ 出来る ・ 出来ない ）、電力料金（ 有償 ・ 無償 ）
・既存用水利用（ 出来る ・ 出来ない ）、用水料金（ 有償 ・ 無償 ）
② 工事車両用の駐車場、資材置場及び現場事務所用地については、次による。ただし、施設管理者と協議すること。
・同用地は、（ 図示の場所に ・ 用意していないので業者にて ）設けること。
③ 交通誘導員の配置
交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に配置すること。
1) 本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が
（　義務付けられている　・　義務付けられていない　）
2) 警備員は、延　8　人　（昼　8　人、夜　0　人：うち検定合格警備員　0　人）を見込んでいる。
3) 警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。
4) 配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。
5) 受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料（勤務伝票の写し）とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。
④ 足場その他
足場及び作業構台の類を（ 本工事で設置する ・ 関連工事が定置するものを無償で使用できる ）。
・内部足場（図示の通り）

2．土工事
① 根切り
1) 周辺の状況、土質、地下水の状態等に適した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止上必要な処置をすること。
2) 敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し、支障がないようにすること。
3) 根切り底は、地盤をかく乱しないよう、手作業（深さ30cm程度）とするか、バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械堀りとする。
なお、かく乱した場合は、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な 処置を定め、監督職員の承諾を受ける。
③ 埋め戻し及び盛土
1) 使用土はB種とし、機器により締め固める。
ただし、良質の発生土が埋め戻し等に必要な量として不足する場合は、「公共工事の再生資源活用の当面の運用について」H24.6.14建管第99号）に基づき、C種及びD種の利用を検討する。

④ 地均し
1) 建物の周囲、幅2m程度を、水はけよく地均しを行う。
2) 地均しは、均しを行う地表面の不陸を修正し、草木の除去及び清掃をして、一様にかき均した後、仕上げ面を一様になじみ起こしをして、良質土をまきかけ、歩行に耐えうる程度に締め固める。

3．地業工事
① 砂利・砂・割り石及び捨コンクリート地業等
1) 材料は、市場品とする。
2) 砂利及び砂地業
・砂利は、再生クラッシャランとし、使用箇所は図示による。

種別	厚さ	粒度範囲
再生クラッシャラン	図示による	RC-40

3) 締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承諾を得ること。
4) 捨コンクリートは、無筋コンクリート（スランプ15cm、設計基準強度18N/mm2)とし、厚さは図示による。

4．鉄筋工事
① 材料
・ 鉄筋は、鉄筋コンクリート用棒鋼（JIS G 3112)のSD295とし、径は図示による。
・ 溶接金網は、溶接金網及び鉄筋格子（JIS G 3551)とし、形状、寸法及び径は図示による。
② 材料試験
材料試験は行わない。ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。
③ 鉄筋の継手及び定着
1) 鉄筋の継手は重ね継手とする。
2) 鉄筋の継手の位置は図示による。
3) 結束線の端部は内側に折り曲げる。
4) 鉄筋の定着方法及び長さは図示による。
④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、建標仕参考図［1節－基礎及び基礎梁の配筋］～［7節－梁貫通孔その他配筋］による。
⑤ 配筋検査
主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。

5．コンクリート工事
① 一般事項
1) コンクリートの種別
・ Ｉ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
2) 設計基準強度

コンクリートの種類	設計基準強度 Fc(N/mm2)	調合管理強度 Fn(N/mm2)	スランプ (cm)	強度試験の有無	適用箇所
普通	18	18	15	有	空調室外機基礎

3) 構造体コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度（Fc）に構造体強度補正値（S）を加えた値とする。

なお、構造体強度補正値(S)は建標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢 28日までの予想平均気温に応じて定める。

4) コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。

・第4週強度確認

原則、第3者機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。ただし、JIS工場で行う場合は、立ち会い者を定め、監督員の承認を受け、行うこととする。

なお、試験機関を選定した際には、すみやかに監督員に報告すること。

4章　　空調和設備・換気設備

1.　設計用温湿度条件

		外気条件		室内（調整目標値）			
				一般系統			
		温度（DB）	湿度（WB）	温度（DB）	湿度（WB）	温度（DB）	湿度（WB）
夏季	9:00	℃	%	28.0℃	－ %	℃	%
	12:00	℃	%				
	14:00	℃	%				
	16:00	℃	%				
冬季		℃	%	19.0℃	－ %	℃	%

2.　配管勾配

ドレン管の横走り管の勾配は、原則として1/100とする。

3.　弁類

①　図面に記載なき弁類は、JIS-5Kとする。

4.　ダクト・制気口・ダンパー

①　ダクト

・ダクトの区分（　低圧ダクト　・　高圧1ダクト（範囲は図示）　・　高圧2ダクト（範囲は図示）　）

・長辺の長さ1,500mm以下の長方形低圧ダクトの工法

（　コーナーボルト工法　（　共板フランジ工法　・　スライドオンフランジ工法　）・　アングルフランジ工法

上記以外の長方形ダクト及び厨房排気ダクトは、アングルフランジ工法とする。

・厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」を適用する。

・ダクトの防火区画貫通部は標準図[施工42]ダクトの防火区画貫通部施工要領による。

②　チャンバー等

・線状吹出口には（長さ＋100mm）×幅300mm×高さ300mmの接続チャンバーを設ける。

・シーリングディフューザーの接続は、標準図[施工47]吹出口及び吸込口ボックスの例 による。施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。

・外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合は、雨水等の滞留のないように施工する。

・吹出口接続チャンバーには消音内貼りをすること。

・内貼りを施すチャンバーの表示寸法は、外形寸法とする。

・吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、図面に記載なき場合、 原則として400mm×600mmとする。

5.　パッケージ形空気調和機（マルチ形、ルームエアコン、ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機を含む）

①　冷媒管口径、電気配線サイズは製造者の標準仕様とする。

②　屋内機、屋外機間の電気配線（アース共）は冷媒管と共巻きとする。

③　冷媒はオゾン層破壊係数ゼロのものとする。

④　補助電気ヒーター又は加湿器を組込む場合は、送風機とインターロックする。

⑤　屋外機の防振措置は、図示による。

5章　　給水設備

1.　配管材料等

①　ビニル管の接合方法は（　接着接合　・　ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする）　）とする。

②　ポリエチレン管の接合方法は、50A以下は（　メカニカル接合　・　電気融着接合　）、75A以上は電気融着接合とする。

③　特記なき給水管の最小管径は呼径20とする。

④　水道直結配管の引き込みは水道事業者の指定による。

2.　弁類

①　弁類で、公営水道に直結する配管に使用するものはJIS-10Kとし、高置水槽以降の配管に使用するものはJIS-5Kとする。

②　給水引込部の（　止水栓　・　弁桝　）は水道事業者の指定品とする。

③　定水位調整弁は（　標準仕様書による（付属品含む）・　水道事業者指定品　）とする。なお、定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。

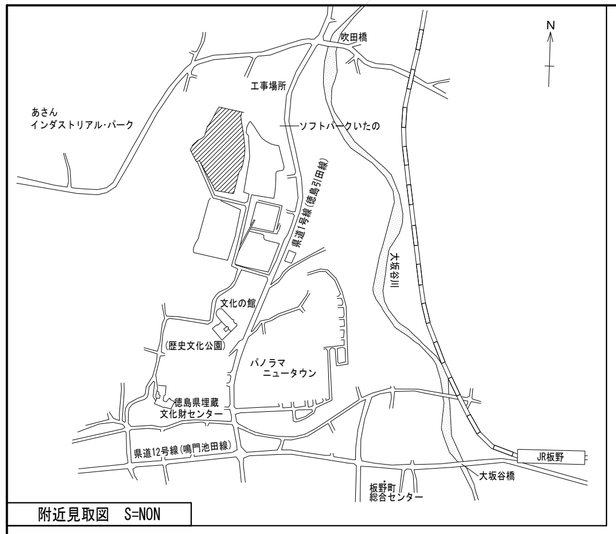
④　緊急遮断弁装置の屋外に設置する制御盤は、ステンレス製とする。

支障物件の確認

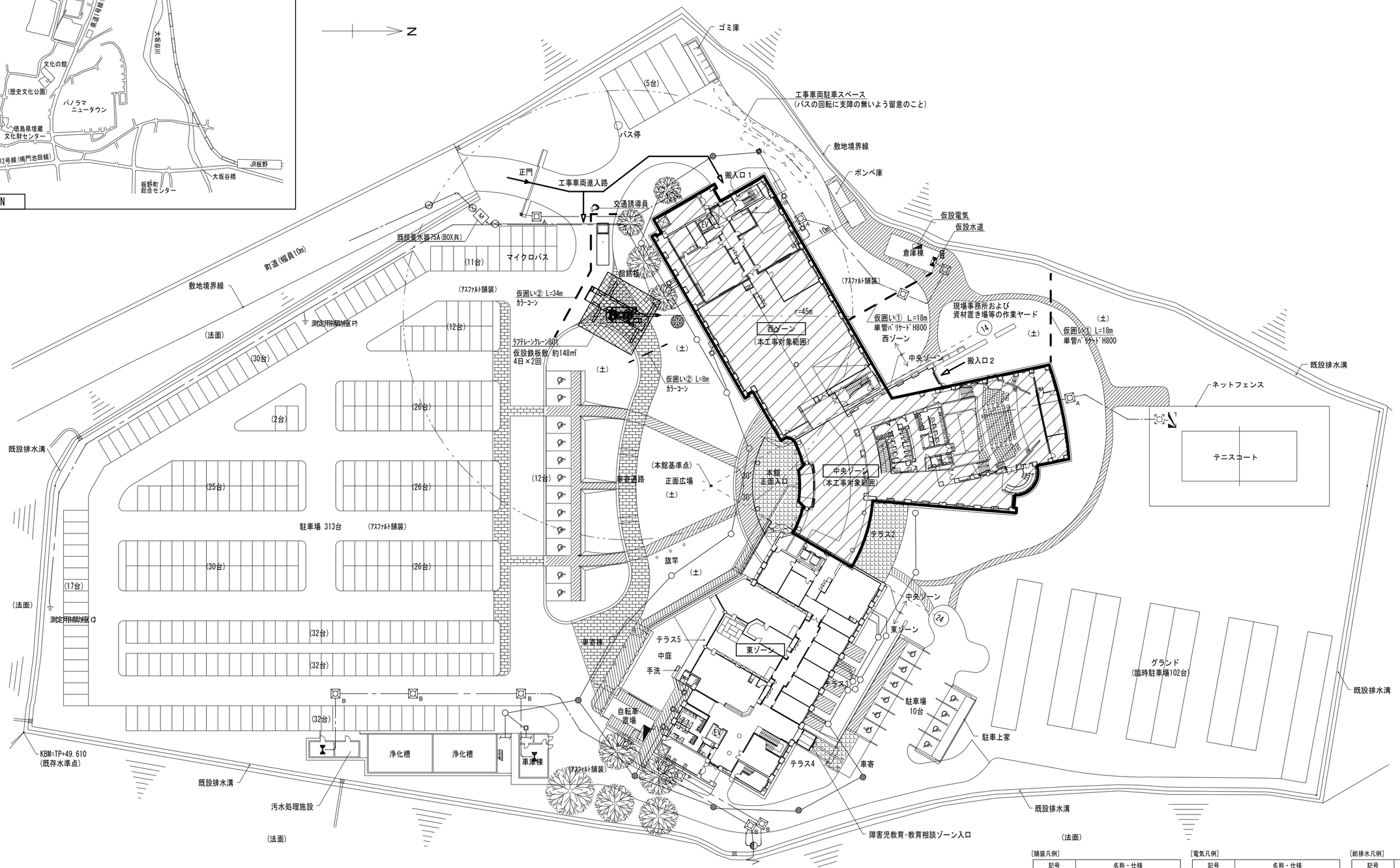
◎受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について（仮囲い等仮設材設置を含む）工事着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。

◎地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置（平面・深さ）、規格、構造等を確認しなければならない。

◎受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに施設の運営に支障がないよう受注者の負担でその都度補修又は補償すること。



附近見取図　S=NON



配置図・仮設計画図・支障物件確認図　S=1/400

[舗装凡例]

記号	名称・仕様
	インターロッキング舗装（車道用）
	インターロッキング舗装（歩道用）
	本石張り舗装

[電気凡例]

記号	名称・仕様
⊠A	ハンドホールH2-9　R2Kふた
⊠B	ハンドホールH2-9　R8Kふた
⊠C	ハンドホールH1-6　R2Kふた

[給排水凡例]

記号	名称・仕様
○	汚水桝　ＳＣ－４
◎	汚水桝　ＳＣ－３

＊クロスハッチングの桝は重荷重仕様、他は中荷重仕様。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-01
設計 R7.2 / 竣工	図面名	配置図・附近見取図および仮設計画図・支障物件確認図	縮尺 1/400・NO SCALE

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前

機器表（１）改修前

機器番号	機器名称・系統名	機器仕様								台数	据付位置	備考
【撤去】												
【既存のまま】	氷蓄熱型　空冷式マルチパッケージエアコン											
ACPK-	室外機											
	[系統名]	冷房能力	暖房能力	蓄熱容量	定格消費電力(kW)			電源	防振			
		蓄熱利用時		冷房時	冷房	冷房	暖房					
		(kW)	(kW)	(MJ)	蓄熱利用	蓄熱非利用	低温時					既設機器:三菱電機(株)
W101-A	西側系統１－Ａ	35.5	30.0	837	6.2	8.5	8.5	3φ200V	A	1	Ｐ１西	室外機 PUHY-P355TM-B:1715H×1690×840 415kg
												蓄熱槽 STY-P26C:1910H×2358×1132 530kg
W101-B	西側系統１－Ｂ	56.0	53.0	980	10.7	13.3	13.3	3φ200V	A	1	Ｐ１西	PUHY-P560TM-B:1715H×1990×840 490kg
												蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
W102-A	西側系統２－Ａ	56.0	53.0	980	10.7	13.3	13.3	3φ200V	A	1	Ｐ１西	PUHY-P560TM-B:1715H×1990×840 490kg
												蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
W102-B	西側系統２－Ｂ	56.0	53.0	980	10.7	13.3	13.3	3φ200V	A	1	Ｐ１西	PUHY-P560TM-B:1715H×1990×840 490kg
												蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
E101-A	東側系統１－Ａ	45.0	40.0	980	7.2	9.8	10.7	3φ200V	A	1	Ｐ１東	PUHY-P450TM-B:1715H×1990×840 490kg
												蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
E101-B	東側系統１－Ｂ	45.0	40.0	980	7.2	9.8	10.7	3φ200V	A	1	Ｐ１東	PUHY-P450TM-B:1715H×1990×840 490kg
												蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
E102	東側系統２	56.0	53.0	980	10.7	13.3	13.3	3φ200V	A	1	Ｐ１東	PUHY-P560TM-B:1715H×1990×840 490kg
												蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
【撤去】	空冷式マルチパッケージエアコン											
【既存のまま】	室外機											
ACPM-		冷房能力	暖房能力	冷暖同時	定格消費電力(kW)		電源		防振			既設機器:三菱電機(株)
	[系統名]	(kW)	(kW)		冷房	暖房						
W101	１Ｆ西系統	45.0	50.0	－	16.5	17.5	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PUHY-P450EM-A:1755H×1290×840 343kg
W201	２Ｆ西系統１	56.0	63.0	○	21.2	19.7	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PURY-P560EM-A:1755H×1990×840 500kg
W202	２Ｆ西系統２	45.0	50.0	－	16.5	17.5	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PUHY-P450EM-A:1755H×1290×840 343kg
W301-A	３Ｆ西系統Ａ	45.0	50.0	－	17.2	16.2	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PURY-P450EM-A:1755H×1990×840 470kg
W301-B	３Ｆ西系統Ｂ	45.0	50.0	○	17.2	16.2	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PURY-P450EM-A:1755H×1990×840 470kg
W401	４Ｆ西系統	22.4	25.0	－	6.9	7.1	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PUHY-P224EM-A1:1755H×990×840 213kg
W402	教育用コンテンツ作成室	35.5	40.0	－	12.3	13.1	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PUHY-P355EM-A:1755H×990×840 229kg
W403	パソコン研修室３系統	28.0	31.5	－	8.6	9.0	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PUHY-P280EM-A1:1755H×990×840 214kg
W404	パソコン研修室４系統	35.5	40.0	－	12.3	13.1	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PUHY-P355EM-A:1755H×990×840 229kg
W405	パソコン研修室２系統	35.5	40.0	－	12.3	13.1	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PUHY-P355EM-A:1755H×990×840 229kg
W406	パソコン研修室１系統	28.0	31.5	－	8.6	9.0	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PUHY-P280EM-A1:1755H×990×840 214kg
C101-A	１Ｆ中央系統	45.0	50.0	○	17.2	16.2	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PURY-P450EM-A:1755H×1990×840 470kg
C101-B	２Ｆ中央系統	50.0	56.0	○	19.6	17.6	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PURY-P500EM-A:1755H×1990×840 485kg
C102	３Ｆ中央系統	56.0	63.0	○	21.2	19.7	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PURY-P560EM-A:1755H×1990×840 500kg
C103	４Ｆ中央系統	56.0	63.0	○	21.2	19.7	3φ200V		A	1	Ｐ１西	PURY-P560EM-A:1755H×1990×840 500kg
E101	１Ｆ東系統	56.0	63.0	○	21.2	19.7	3φ200V		A	1	Ｐ１東	PURY-P560EM-A:1755H×1990×840 500kg
E201	２Ｆ東系統	63.0	67.0	○	24.2	20.5	3φ200V		A	1	Ｐ１東	PURY-P630EM-A:1755H×1990×840 515kg
E301-A	３Ｆ東系統１－Ａ	22.4	25.0	－	6.9	7.1	3φ200V		A	1	Ｐ１東	PUHY-P224EM-A1:1755H×990×840 213kg
E301-B	３Ｆ東系統１－Ｂ	56.0	63.0	○	21.2	19.7	3φ200V		A	1	Ｐ１東	PURY-P560EM-A:1755H×1990×840 500kg
E302	３Ｆ東系統2	35.5	40.0	－	12.3	13.1	3φ200V		A	1	Ｐ１東	PUHY-P355EM-A:1755H×990×840 229kg
E401	４Ｆ東系統１	56.0	63.0	－	21.2	19.7	3φ200V		A	1	Ｐ１東	PURY-P560EM-A:1755H×1990×840 458kg
E402	４Ｆ東系統２	63.0	67.0	－	24.2	20.5	3φ200V		A	1	Ｐ１東	PURY-P630EM-A:1755H×1990×840 475kg

改修後

機器表（１）改修後

機器番号	機器名称・系統名	機器仕様								台数	据付位置	備考
【新設】												
ACPMA-	空冷式マルチパッケージエアコン											
	室外機											
【既存のまま】	氷蓄熱型　空冷式マルチパッケージエアコン											
ACPK-	室外機											
		形式	冷房能力	暖房能力	定格消費電力(参考)		電気容量(参考)			防振		
			(kW)	(kW)	冷房(kW)	暖房(kW)	電源	圧縮機(kW)	送風機(kW)			
ACPMA-W101-A	西側系統１－Ａ	冷暖兼用	35.5	40.0	10.7	10.7	3φ200V	8.80	0.46	A	1	Ｐ１西
W101-B	西側系統１－Ｂ	冷暖兼用	56.0	63.0	18.0	17.1	3φ200V	7.49+7.49	0.46+0.46	A	1	Ｐ１西
W102-A	西側系統２－Ａ	冷暖兼用	73.0	77.5	27.1	23.4	3φ200V	8.97+13.9	0.46+0.46	A	1	Ｐ１西
W102-B	西側系統２－Ｂ	冷暖兼用	67.0	77.5	21.9	21.8	3φ200V	8.97+8.97	0.46+0.46	A	1	Ｐ１西
ACPK- E101-A	東側系統１－Ａ										1	Ｐ１東
E101-B	東側系統１－Ｂ		既設のまま								1	Ｐ１東
E102	東側系統２										1	Ｐ１東
【新設】	空冷式マルチパッケージエアコン											
ACPM-	室外機											
		形式	冷房能力	暖房能力	定格消費電力(参考)		電気容量(参考)			防振		
			(kW)	(kW)	冷房(kW)	暖房(kW)	電源	圧縮機(kW)	送風機(kW)			
W101	１Ｆ西系統	冷暖兼用	45.0	50.0	12.9	12.4	3φ200V	5.12+5.12	0.35+0.35	A	1	Ｐ１西
W201	２Ｆ西系統１	冷暖兼用	56.0	63.0	18.0	17.1	3φ200V	7.49+7.49	0.46+0.46	A	1	Ｐ１西
W202	２Ｆ西系統２	冷暖兼用	45.0	50.0	12.9	12.4	3φ200V	5.12+5.12	0.35+0.35	A	1	Ｐ１西
W301-A	３Ｆ西系統Ａ	冷暖兼用	50.0	56.0	15.2	14.8	3φ200V	5.12+7.49	0.35+0.46	A	1	Ｐ１西
W301-B	３Ｆ西系統Ｂ	冷暖兼用	45.0	50.0	12.9	12.4	3φ200V	5.12+5.12	0.35+0.35	A	1	Ｐ１西
W401	４Ｆ西系統	冷暖兼用	22.4	25.0	6.3	6.2	3φ200V	5.12	0.35	A	1	Ｐ１西
W402	教育用コンテンツ作成室	冷暖兼用	33.5	37.5	10.8	10.9	3φ200V	8.97	0.46	A	1	Ｐ１西
W403	パソコン研修室３系統	冷暖兼用	28.0	31.5	9.3	8.9	3φ200V	7.49	0.46	A	1	Ｐ１西
W404	パソコン研修室４系統	冷暖兼用	33.5	37.5	10.8	10.9	3φ200V	8.97	0.46	A	1	Ｐ１西
W405	パソコン研修室２系統	冷暖兼用	33.5	37.5	10.8	10.9	3φ200V	8.97	0.46	A	1	Ｐ１西
W406	パソコン研修室１系統	冷暖兼用	28.0	31.5	9.3	8.8	3φ200V	7.49	0.46	A	1	Ｐ１西
C101-A	１Ｆ中央系統	冷暖兼用	45.0	50.0	14.0	13.1	3φ200V	5.36+5.36	0.35+0.35	A	1	Ｐ１西
C101-B	２Ｆ中央系統	冷暖兼用	50.0	56.0	15.2	14.8	3φ200V	5.12+7.49	0.35+0.46	A	1	Ｐ１西
C102	３Ｆ中央系統	冷暖兼用	56.0	63.0	18.0	17.1	3φ200V	7.49+7.49	0.46+0.46	A	1	Ｐ１西
C103	４Ｆ中央系統	冷暖兼用	56.0	63.0	18.0	17.1	3φ200V	7.49+7.49	0.46+0.46	A	1	Ｐ１西
E101	１Ｆ東系統										1	Ｐ１東
E201	２Ｆ東系統										1	Ｐ１東
E301-A	３Ｆ東系統１－Ａ										1	Ｐ１東
E301-B	３Ｆ東系統１－Ｂ		既存のまま								1	Ｐ１東
E302	３Ｆ東系統2										1	Ｐ１東
E401	４Ｆ東系統１										1	Ｐ１東
E402	４Ｆ東系統２										1	Ｐ１東

【共通事項】

1．太線にて囲み表示をした箇所を本工事範囲とする。
2．冷房能力及び暖房能力はＪＩＳＢ８６１６とする。
3．特記なし床置形の基礎は、既設コンクリート基礎および既設鋼製平架台を再利用とし、防振架台および防振ゴムは撤去・新設とする。
4．防振仕様　Ａ：スプリング防振架台、Ｂ：防振ゴム、Ｃ： 防振吊り金具、Ｄ：なし
5．機器更新に伴う電源配線（幹線）は、別途電気工事とする。
6．室内機～室外機間の電気配線（アース共）、リモコン配線は製造者の標準仕様とする。
7．新設機は、更新用機種（冷媒種Ｒ４１０Ａ）を採用すること。
8．冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。
9．室外機（新設）は、高調波対策用アクティブフィルタ付きとする。
10．室外機（新設）は、防護ネット付きとする。
11．室内機（新設）は、ドレンアップ機構付きとする。
12．個別リモコン（ワイヤード）を含む。
13．加湿は、気化式とする。有効加湿量は、負荷計算上の目標値とする。
14．フィルターは、A：メーカー標準品　B：再生型中性能フィルターとし、フィルター予備は100%とする。
15．撤去機の冷媒種はＲ４０７Ｃである。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-02
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　機器表（１）改修前・後	縮尺	NO SCALE

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前

機器表（２）改修前

機器番号	機器名称・系統(部屋)名	機器仕様 形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	風量 (m3/h)	静圧 (Pa)	有効加湿量 (kg/h)	冷暖同時	電動機 電源	電動機 送風機(kW)	台数	据付位置	備考
【撤去】【既存のまま】													
ACPK-	マルチ型パッケージエアコン用												
ACPM-	室内機												
													既設機器:三菱電機(株)
ACPK- W101-02	まなびぃルーム	カセット形（4方向）	5.6	6.3	－	－	－		1φ200V	0.035	2	１Ｆ西	PLFY-P56AM-C
W101-03	生涯学習支援課	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－		1φ200V	0.035	2	１Ｆ西	PLFY-P71AM-C
W101-04	学習相談コーナー・情報端末コーナー	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－		1φ200V	0.035	3	１Ｆ西	PLFY-P71AM-C
W101-05	交流コーナー	カセット形（4方向）	9.0	10.0	－	－	－		1φ200V	0.035	2	１Ｆ西	PLFY-P90AM-C
W101-06	図書コーナー・視聴覚ライブラリー	カセット形（4方向）	5.6	6.3	－	－	－		1φ200V	0.035	5	１Ｆ西	PLFY-P56AM-C
W102-01	談話コーナー	天井隠ぺい形（両ダクト）	28.0	31.5	4,320	137	－		1φ200V	0.087	1	２Ｆ西	PEFY-P280M-C:470H×1250×1120 100kg
W102-02	２０１研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	2	２Ｆ西	PLFY-P28LMD-C
W102-03	３１１研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	4	３Ｆ西	PLFY-P28LMD-C
W102-04	学校経営支援課・教職員研修課	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	8	３Ｆ西	PLFY-P28LMD-C
W102-05	３０５研究室	カセット形（2方向）	2.2	2.5	－	－	－		1φ200V	0.015	2	３Ｆ西	PLFY-P22LMD-C
W102-06	３０３研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	2	３Ｆ西	PLFY-P28LMD-C
W102-07	３０２研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	2	３Ｆ西	PLFY-P28LMD-C
W102-08	３０１研究室	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－		1φ200V	0.015	1	３Ｆ西	PLFY-P45LMD-C
W102-09	教育ＤＸ推進課分室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	6	４Ｆ西	PLFY-P28LMD-C
W102-10	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	1	２Ｆ西	PLFY-P36LMD-C
W102-11	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	1	３Ｆ西	PLFY-P36LMD-C
W102-12	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	1	４Ｆ西	PLFY-P36LMD-C
ACPK- E101-01	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	1	１Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E101-02	特別支援相談課	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	4	１Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E101-03	企画総務	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	4	１Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E101-04	エントランスホール2	カセット形（2方向）	5.6	6.3	－	－	－		1φ200V	0.020	3	１Ｆ東	PLFY-P56LMD-C
E101-05	ＧＩＧＡスタジオ	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	4	２Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E101-06	資料室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	2	２Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E101-07	ロビー2	カセット形（2方向）	5.6	6.3	－	－	－		1φ200V	0.020	4	２Ｆ東	PLFY-P56LMD-C
E102-01	３１４研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	2	３Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E102-02	３１２研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	2	３Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E102-03	４０９研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	2	４Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E102-04	４１１研究室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	2	４Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E102-05	４０４研究室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	2	４Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E102-06	４０２研究室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	2	４Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E102-07	楽器保管庫	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	1	３Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E102-08	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	1	３Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E102-09	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	1	４Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
ACPM- W101-01	教材開発室	カセット形（4方向）	4.5	5.0	960	－	0.925		1φ200V	0.035	4	１Ｆ西	PLFY-P45AM-C
W101-02	機械実習室	カセット形（4方向）	4.5	5.0	960	－	0.925		1φ200V	0.035	4	１Ｆ西	PLFY-P45AM-C
W101-03	石工室	カセット形（4方向）	4.5	5.0	－	－	－		1φ200V	0.035	1	１Ｆ西	PLFY-P45AM-C
W101-04	１０２研究室	カセット形（4方向）	4.5	5.0	－	－	－		1φ200V	0.035	1	１Ｆ西	PLFY-P45AM-C
W201-01	大研修室Ａ	カセット形（4方向）	11.2	12.5	－	－	－	○	1φ200V	0.110	3	２Ｆ西	PLFY-P112AM-C1
W201-02	大研修室Ｂ	カセット形（4方向）	11.2	12.5	－	－	－	○	1φ200V	0.110	2	２Ｆ西	PLFY-P112AM-C1
W202-01	カリキュラムサポートセンター	カセット形（4方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.035	4	２Ｆ西	PLFY-P36AM-C
W202-02	書庫	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	2	２Ｆ西	PLFY-P36LMD-C
W202-03	中央教科書センター	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－		1φ200V	0.015	2	２Ｆ西	PLFY-P45LMD-C
W202-04	救護室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	2	２Ｆ西	PLFY-P28LMD-C
W202-05	２０２会議室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	2	２Ｆ西	PLFY-P36LMD-C
W301-01	研修室１	カセット形（4方向）	11.2	12.5	－	－	－		1φ200V	0.110	2	３Ｆ西	PLFY-P112AM-C1
W301-02	研修室１	カセット形（4方向）	11.2	12.5	－	－	－		1φ200V	0.110	2	３Ｆ西	PLFY-P112AM-C1
W301-03	３０６研修室	カセット形（4方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.035	4	３Ｆ西	PLFY-P36AM-C
W301-04	３０４研修室	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－	○	1φ200V	0.035	4	３Ｆ西	PLFY-P71AM-C
W401-01	女子休憩室	カセット形（2方向）	5.6	6.3	－	－	－		1φ200V	0.035	1	４Ｆ西	PLFY-P56LMD-C
W401-02	教育ＤＸ推進課分室	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－		1φ200V	0.015	2	４Ｆ西	PLFY-P45LMD-C
W401-03	男子休養室	カセット形（4方向）	5.6	6.3	－	－	－		1φ200V	0.035	1	４Ｆ西	PLFY-P56AM-C
W402-01	教育用コンテンツ作成室	カセット形（4方向）	9.0	10.0	－	－	－		1φ200V	0.035	4	４Ｆ西	PLFY-P90AM-C
W403-01	パソコン研修室3	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－		1φ200V	0.035	4	４Ｆ西	PLFY-P71AM-C
W404-01	パソコン研修室4	カセット形（4方向）	9.0	10.0	－	－	－		1φ200V	0.035	4	４Ｆ西	PLFY-P90AM-C
W405-01	パソコン研修室2	カセット形（4方向）	8.0	9.0	－	－	－		1φ200V	0.035	4	４Ｆ西	PLFY-P80AM-C
W406-01	パソコン研修室1	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－		1φ200V	0.035	4	４Ｆ西	PLFY-P71AM-C

改修後

機器表（２）改修後

機器番号	機器名称・系統(部屋)名	機器仕様 形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	風量 (m3/h)	静圧 (Pa)	有効加湿量 (kg/h)	消費電力(参考)(kW) 冷房	消費電力(参考)(kW) 暖房	電動機(参考) 電源	電動機(参考) 送風機(kW)	防振	個別リモコン 数量	台数	据付位置	備考
【新設】																
ACPMA-	マルチ型パッケージエアコン用															
ACPM-	室内機															
【既存のまま】																
ACPK-	マルチ型パッケージエアコン用	形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	風量 (m3/h)	静圧 (Pa)	有効加湿量 (kg/h)	冷房	暖房	電源	送風機(kW)		数量			
ACPMA-W101-2	まなびぃルーム	カセット形（4方向）	5.6	6.3	－	－	－	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	2	１Ｆ西	
W101-3	生涯学習支援課	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	１Ｆ西	
W101-4	学習相談コーナー・情報端末コーナー	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C		3	１Ｆ西	
W101-5	交流コーナー	カセット形（4方向）	9.0	10.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C		2	１Ｆ西	
W101-6	図書コーナー・視聴覚ライブラリー	カセット形（4方向）	5.6	6.3	－	－	－	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	5	１Ｆ西	
W102-1	談話コーナー	天井隠ぺい形（両ダクト）	28.0	31.5	4,320	137	－	1.25	1.25	3φ200V	0.87	C	1	1	２Ｆ西	
W102-2	２０１研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	２Ｆ西	
W102-3	３１１研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	4	３Ｆ西	
W102-4	学校経営支援課・教職員研修課	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	8	３Ｆ西	
W102-5	３０５研究室	カセット形（2方向）	2.2	2.5	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	３Ｆ西	
W102-6	３０３研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	３Ｆ西	
W102-7	３０２研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	３Ｆ西	
W102-8	３０１研究室	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	1	1	３Ｆ西	
W102-9	教育ＤＸ推進課分室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	6	４Ｆ西	
W102-10	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	1	２Ｆ西	
W102-10b	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C		1	２Ｆ西	
W102-11	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	1	３Ｆ西	
W102-11b	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C		1	３Ｆ西	
W102-12	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	1	４Ｆ西	
W102-12b	廊下	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C		2	４Ｆ西	
ACPK- E101-1	廊下	既設のまま												1	１Ｆ東	
E101-2	特別支援相談課													4	１Ｆ東	
E101-3	企画総務													4	１Ｆ東	
E101-4	エントランスホール２													3	１Ｆ東	
E101-5	ＧＩＧＡスタジオ													4	２Ｆ東	
E101-6	掃除員控室													2	２Ｆ東	
E101-7	ロビー２													4	２Ｆ東	
E102-1	３１４研究室													2	３Ｆ東	
E102-2	３１２研究室													2	３Ｆ東	
E102-3	４０９研究室													2	４Ｆ東	
E102-4	４１１研究室													2	４Ｆ東	
E102-5	４０４研究室													2	４Ｆ東	
E102-6	４０２研究室													2	４Ｆ東	
E102-7	楽器保管庫													1	３Ｆ東	
E102-8	廊下													1	３Ｆ東	
E102-9	廊下													1	４Ｆ東	
ACPM- W101-1	教材開発室	カセット形（4方向）	4.5	5.0	840	－	0.925	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	4	１Ｆ西	
W101-2	機械実習室	カセット形（4方向）	4.5	5.0	840	－	0.925	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	4	１Ｆ西	
W101-3	石工室	カセット形（4方向）	4.5	5.0	－	－	－	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	1	１Ｆ西	
W101-4	１０２研究室	カセット形（4方向）	4.5	5.0	－	－	－	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	1	１Ｆ西	
W201-1	大研修室	カセット形（4方向）	11.2	12.5	－	－	－	0.07	0.07	1φ200V	0.12	C	1	3	２Ｆ西	
W201-2	大研修室	カセット形（4方向）	11.2	12.5	－	－	－	0.07	0.07	1φ200V	0.12	C		2	２Ｆ西	
W202-1	カリキュラムサポートセンター	カセット形（4方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	4	２Ｆ西	
W202-2	書庫	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	２Ｆ西	
W202-3	中央教科書センター	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	1	2	２Ｆ西	
W202-4	救護室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	２Ｆ西	
W202-5	２０２会議室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	２Ｆ西	
W301-1	研修室１	カセット形（4方向）	11.2	12.5	－	－	－	0.07	0.07	1φ200V	0.12	C	1	2	３Ｆ西	
W301-2	研修室１	カセット形（4方向）	11.2	12.5	－	－	－	0.07	0.07	1φ200V	0.12	C		2	３Ｆ西	
W301-3	３０６研修室	カセット形（4方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	4	３Ｆ西	
W301-4	３０４研修室	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	4	３Ｆ西	
W401-1	女子休憩室	カセット形（2方向）	5.6	6.3	－	－	－	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	1	４Ｆ西	
W401-2	教育ＤＸ推進課分室	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	1	2	４Ｆ西	
W401-3	男子休養室	カセット形（4方向）	5.6	6.3	－	－	－	0.02	0.02	1φ200V	0.05	C	1	1	４Ｆ西	
W402-1	教育用コンテンツ作成室	カセット形（4方向）	9.0	10.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	1	4	４Ｆ西	
W403-1	パソコン研修室3	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	4	４Ｆ西	
W404-1	パソコン研修室4	カセット形（4方向）	9.0	10.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	1	4	４Ｆ西	
W405-1	パソコン研修室2	カセット形（4方向）	8.0	9.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	1	4	４Ｆ西	
W406-1	パソコン研修室1	カセット形（4方向）	7.1	8.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	4	４Ｆ西	

【共通事項】

1．太線にて囲み表示をした箇所を本工事範囲とする。
2．冷房能力及び暖房能力はＪＩＳＢ８６１６とする。
3．特記なし床置形の基礎は、既設コンクリート基礎および既設鋼製平架台を再利用とし、防振架台および防振ゴムは撤去・新設とする。
4．防振仕様　Ａ：スプリング防振架台、Ｂ：防振ゴム、Ｃ： 防振吊り金具、Ｄ：なし
5．機器更新に伴う電源配線（幹線）は、別途電気工事とする。
6．室内機～室外機間の電気配線（アース共）、リモコン配線は製造者の標準仕様とする。
7．新設機は、更新用機種（冷媒種Ｒ４１０Ａ）を採用すること。
8．冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。
9．室外機（新設）は、高調波対策用アクティブフィルタ付きとする。
10．室外機（新設）は、防護ネット付きとする。
11．室内機（新設）は、ドレンアップ機構付きとする。
12．個別リモコン（ワイヤード）を含む。
13．加湿は、気化式とする。有効加湿量は、負荷計算上の目標値とする。
14．フィルターは、Ａ：メーカー標準品　Ｂ：再生型中性能フィルターとし、フィルター予備は100%とする。
15．撤去機の冷媒種はＲ４０７Ｃである。

徳島県県土整備部営繕課	工事名 Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-03	有限会社 岡 設備設計
設計 R7.2 / 竣工	図面名 空調設備　機器表（２）改修前・後	縮尺 NO SCALE	建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義 徳島市南矢三町3丁目5-15 TEL(088)633-2159

改修前

機器表（３）改修前

機器番号	機器名称・系統(部屋)名	機器仕様 形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	風量 (m3/h)	静圧 (Pa)	有効加湿量 (kg/h)	冷暖同時	付属電動機 電源	付属電動機 容量(kW)	台数	据付位置	備考
【撤去】													既設機器:三菱電機(株)
ACPM- C101-01	授乳室	カセット形（1方向）	2.2	2.5	－	－	－	○	1φ200V	0.028	1	１Ｆ中央	PMFY-P22BM-C
C101-02	ホワイエ	床置立形（直吹）	8.0	9.0	－	－	－	○	1φ200V	0.030	6	１Ｆ中央	PSFY-P80GM-C
C101-03	調整室2	カセット形（1方向）	2.2	2.5	－	－	－	○	1φ200V	0.028	1	２Ｆ中央	PMFY-P22BM-C
C101-04	ホワイエ3	カセット形（2方向）	9.0	10.0	－	－	－	○	1φ200V	0.070	3	２Ｆ中央	PLFY-P90LMD-C
C101-05	２Ｆロビー	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	○	1φ200V	0.085	4	２Ｆ中央	PLFY-P45LMD-C
C102-01	３Ｆロビー	カセット形（2方向）	14.0	16.0	－	－	－	○	1φ200V	0.190	2	３Ｆ中央	PLFY-P140LMD-C
C102-02	３Ｆロビー	カセット形（2方向）	5.6	6.3	－	－	－	○	1φ200V	0.020	2	３Ｆ中央	PLFY-P56LMD-C
C102-03	３１０会議室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	○	1φ200V	0.015	3	３Ｆ中央	PLFY-P28LMD-C
C102-04	３０９研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	○	1φ200V	0.015	2	３Ｆ中央	PLFY-P28LMD-C
C102-05	３０８研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	○	1φ200V	0.015	2	３Ｆ中央	PLFY-P28LMD-C
C103-01	４Ｆロビー	カセット形（2方向）	9.0	10.0	－	－	－	○	1φ200V	0.070	2	４Ｆ中央	PLFY-P90LMD-C
C103-02	４Ｆロビー	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	2	４Ｆ中央	PLFY-P36LMD-C
C103-03	パソコン制御研修室	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	1	４Ｆ中央	PLFY-P45LMD-C
C103-04	パソコン研修室５	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	3	４Ｆ中央	PLFY-P45LMD-C
C103-05	プレゼンテーション室	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	3	４Ｆ中央	PLFY-P45LMD-C
【既存のまま】													
ACPM- E101-01	応接室	天井隠ぺい形（両ダクト）	3.6	4.0	510	98	－	○	1φ200V	0.035	1	１Ｆ東	PDFY-P36M-C:295H×710×735
E101-02	プレイルーム２	カセット形（4方向）	5.6	6.3	－	－	－	○	1φ200V	0.017	3	１Ｆ東	PLFY-P56AM-C
E101-03	行動観察室	カセット形（2方向）	2.2	2.5	－	－	－	○	1φ200V	0.015	2	１Ｆ東	PLFY-P22LMD-C
E101-04	プレイルーム１	カセット形（4方向）	5.6	6.3	－	－	－	○	1φ200V	0.035	2	１Ｆ東	PLFY-P56AM-C
E101-05	資料室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	1	１Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E101-06	待合室１	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	1	１Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E101-07	相談室１	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	1	１Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E101-08	相談室２	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	1	１Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E101-09	チャレンジ補助員	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	1	１Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E101-10	所長室	天井隠ぺい形（両ダクト）	5.6	6.3	840	98	－	○	1φ200V	0.085	1	１Ｆ東	PDFY-P56M-C:295H×960×735
E201-01	倉庫２０７	カセット形（4方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.035	2	２Ｆ東	PLFY-P36AM-C
E201-02	２０８会議室	カセット形（4方向）	5.6	6.3	－	－	－	○	1φ200V	0.035	1	２Ｆ東	PLFY-P56AM-C
E201-03	２０９会議室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	1	２Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E201-04	相談室４	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	1	２Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E201-05	相談室３	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	1	２Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E201-06	２０４会議室	カセット形（4方向）	4.5	5.0	－	－	－	○	1φ200V	0.035	1	２Ｆ東	PLFY-P45AM-C
E201-07	視知覚検査室	カセット形（4方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.035	2	２Ｆ東	PLFY-P36AM-C
E201-08	心理検査室	カセット形（4方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.035	2	２Ｆ東	PLFY-P36AM-C
E201-09	聴覚検査・言語訓練室	カセット形（4方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.035	3	２Ｆ東	PLFY-P36AM-C
E201-10	〃 （聴覚検査室）	ビルトイン型	2.8	3.2	510	98	－	○	1φ200V	0.035	1	２Ｆ東	PDFY-P28M-C
E201-11	掃除員控室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	○	1φ200V	0.015	2	２Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E201-12	設備監理	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	○	1φ200V	0.015	2	２Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E301-01	研修室２Ａ	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	4	３Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E301-02	〃 ２Ｂ	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	2	３Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E301-03	研修室３Ａ	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	4	３Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E301-04	〃 ３Ｂ	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	2	３Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E301-05	研修室４Ａ	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	4	３Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E301-06	〃 ４Ｂ	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	○	1φ200V	0.015	2	３Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E301-07	研修室５	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	○	1φ200V	0.015	4	３Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E302-01	和室研修室	天井隠ぺい形（両ダクト）	5.6	6.3	840	98	－		1φ200V	0.080	1	３Ｆ東	PDFY-P56M-C:295H×960×735
E302-02	３１５研修室	天井隠ぺい形（両ダクト）	9.0	10.0	1,500	157	－		1φ200V	0.150	1	３Ｆ東	PEFY-P90M-C:380H×1000×900
E302-03	３１３研修室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	570	－	0.3		1φ200V	0.015	6	３Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E302-04	３１５研修室	天井隠ぺい形（両ダクト）	5.6	6.3	840	172	－		1φ200V	0.080	1	３Ｆ東	PEFY-P56M-C:380H×750×900
E401-01	暗室	カセット形（1方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.028	1	４Ｆ東	PMFY-P28BM-C
E401-02	４０８実験室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	2	４Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E401-03	４１０研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.015	6	４Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E401-04	電子顕微鏡室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－		1φ200V	0.100	1	４Ｆ東	PLFY-P28LMD-C
E401-05	４１２研修室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	6	４Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E402-01	分析室	カセット形（2方向）	5.6	6.3	－	－	－		1φ200V	0.020	1	４Ｆ東	PLFY-P56LMD-C
E402-02	４０５研修室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－		1φ200V	0.015	6	４Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E402-03	４０３研修室	カセット形（2方向）	3.6	4.0	570	－	0.3		1φ200V	0.015	6	４Ｆ東	PLFY-P36LMD-C
E402-04	４０１実験室	カセット形（2方向）	8.0	9.0	－	－	－		1φ200V	0.055	1	４Ｆ東	PLFY-P80LMD-C
E402-05	薬品管理室	カセット形（2方向）	5.6	6.3	－	－	－		1φ200V	0.020	1	４Ｆ東	PLFY-P56LMD-C

改修後

機器表（３）改修後

機器番号	機器名称・系統(部屋)名	機器仕様 形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	風量 (m3/h)	静圧 (Pa)	有効加湿量 (kg/h)	消費電力(参考)(kW) 冷房	消費電力(参考)(kW) 暖房	電気容量(参考) 電源	電気容量(参考) 送風機(kW)	防振	個別リモコン 数量	台数	据付位置	備考
【新設】																
ACPM- C101-1	授乳室	カセット形（1方向）	2.2	2.5	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.03	C	1	1	１Ｆ中央	
C101-2	ホワイエ	床置立形（直吹）	8.0	9.0	－	－	－	0.17	0.17	1φ200V	0.03	A	6(本体取付)	6	１Ｆ中央	鋼製架台/既存流用
C101-3	調整室２	カセット形（1方向）	2.2	2.5	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.03	C	1	1	２Ｆ中央	
C101-4	ホワイエ３	カセット形（2方向）	9.0	10.0	－	－	－	0.08	0.08	1φ200V	0.05×2	C	－	3	２Ｆ中央	
C101-5	２Ｆロビー	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	－	4	２Ｆ中央	
C102-1	３Ｆロビー	カセット形（2方向）	14.0	16.0	－	－	－	0.20	0.20	1φ200V	0.12×2	C	－	2	３Ｆ中央	
C102-2	３Ｆロビー	カセット形（2方向）	5.6	6.3	－	－	－	0.05	0.05	1φ200V	0.05	C	－	2	３Ｆ中央	
C102-3	３１０会議室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	3	３Ｆ中央	
C102-4	３０９研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	３Ｆ中央	
C102-5	３０８研究室	カセット形（2方向）	2.8	3.2	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	1	2	３Ｆ中央	
C103-1	４Ｆロビー	カセット形（2方向）	9.0	10.0	－	－	－	0.08	0.08	1φ200V	0.05×2	C	－	2	４Ｆ中央	
C103-2	４Ｆロビー	カセット形（2方向）	3.6	4.0	－	－	－	0.03	0.03	1φ200V	0.05	C	－	2	４Ｆ中央	
C103-3	パソコン制御研修室	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	1	1	４Ｆ中央	
C103-4	パソコン研修室５	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	1	3	４Ｆ中央	
C103-5	プレゼンテーション室	カセット形（2方向）	4.5	5.0	－	－	－	0.04	0.04	1φ200V	0.05	C	1	3	４Ｆ中央	
【既存のまま】																
ACPM- E101-1	応接室													1	１Ｆ東	
E101-2	プレイルーム２													3	１Ｆ東	
E101-3	行動観察室													2	１Ｆ東	
E101-4	プレイルーム１													2	１Ｆ東	
E101-5	資料室													1	１Ｆ東	
E101-6	待合室１													1	１Ｆ東	
E101-7	相談室１													1	１Ｆ東	
E101-8	待合室２													1	１Ｆ東	
E101-9	チャレンジ補助員													1	１Ｆ東	
E101-10	所長室													1	１Ｆ東	
E201-1	倉庫２０７													2	２Ｆ東	
E201-2	２０８会議室													1	２Ｆ東	
E201-3	２０９会議室													1	２Ｆ東	
E201-4	相談室４													1	２Ｆ東	
E201-5	相談室３													1	２Ｆ東	
E201-6	２０４会議室													1	２Ｆ東	
E201-7	視知覚検査室													2	２Ｆ東	
E201-8	心理検査室													2	２Ｆ東	
E201-9	聴覚検査・言語訓練室													3	２Ｆ東	
E201-10	〃 （聴覚検査室）													1	２Ｆ東	
E201-11	資料室													2	２Ｆ東	
E201-12	設備管理	既存のまま												2	２Ｆ東	
E301-1	研修室２Ａ													4	３Ｆ東	
E301-2	〃 ２Ｂ													2	３Ｆ東	
E301-3	研修室３Ａ													4	３Ｆ東	
E301-4	〃 ３Ｂ													2	３Ｆ東	
E301-5	研修室４Ａ													4	３Ｆ東	
E301-6	〃 ４Ｂ													2	３Ｆ東	
E301-7	研修室５													4	３Ｆ東	
E302-1	和室研修室													1	３Ｆ東	
E302-2	３１５研修室													1	３Ｆ東	
E302-3	３１３研修室													6	３Ｆ東	
E302-04	３１５研修室													1	３Ｆ東	
E401-1	暗室													1	４Ｆ東	
E401-2	４０８実験室													2	４Ｆ東	
E401-3	４１０研究室													6	４Ｆ東	
E401-4	電子顕微鏡室													1	４Ｆ東	
E401-5	４１２研修室													6	４Ｆ東	
E402-1	分析室													1	４Ｆ東	
E402-2	４０５研修室													6	４Ｆ東	
E402-3	４０３研修室													6	４Ｆ東	
E402-4	４０１実験室													1	４Ｆ東	
E402-5	薬品管理室													1	４Ｆ東	

【共通事項】

1．太線にて囲み表示をした箇所を本工事範囲とする。
2．冷房能力及び暖房能力はＪＩＳＢ８６１６とする。
3．特記なし床置形の基礎は、既設コンクリート基礎および既設鋼製平架台を再利用とし、防振架台および防振ゴムは撤去・新設とする。
4．防振仕様　Ａ：スプリング防振架台、Ｂ：防振ゴム、Ｃ： 防振吊り金具、Ｄ：なし
5．機器更新に伴う電源配線（幹線）は、別途電気工事とする。
6．室内機～室外機間の電気配線（アース共）、リモコン配線は製造者の標準仕様とする。
7．新設機は、更新用機種（冷媒種Ｒ４１０Ａ）を採用すること。
8．冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。
9．室外機（新設）は、高調波対策用アクティブフィルタ付きとする。
10．室外機（新設）は、防護ネット付きとする。
11．室内機（新設）は、ドレンアップ機構付きとする。
12．個別リモコン（ワイヤード）を含む。
13．加湿は、気化式とする。有効加湿量は、負荷計算上の目標値とする。
14．フィルターは、A：メーカー標準品　B：再生型中性能フィルターとし、フィルター予備は100%とする。
15．撤去機の冷媒種はＲ４０７Ｃである。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-04
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　機器表（３）改修前・後	縮尺 NO SCALE

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前

機器表（４）改修前

機器番号	機器名称・系統名	機器仕様										台数	据付位置	備考
【撤去】														
ACPG-	外気処理用空冷式パッケージエアコン													
		形式	冷房能力	暖房能力	風量	静圧	有効加湿	ﾌｨﾙﾀ	電動機			防振			既設機器:三菱電機(株)
			(kW)	(kW)	(m3/h)	(Pa)	(kg/h)		電源	圧縮機(kW)	送風機(kW)				
W201	２Ｆ西ゾーン食堂系統（氷蓄熱タイプ）													蓄熱槽 STY-P26C:1910H×2358×1132 530kg
	室外機	冷暖兼用	28.0	31.5	－	－	－	－	3φ200V	6.7	0.38	A	1	Ｐ１西	PUHY-P280IM-B:1715H×1690×840 415kg
	室内機	天井埋込形	28.0	31.5	2,100	100	13	B	3φ200V		1.25	C	1	２Ｆ西	PEFY-P280M-C:470H×1250×1120 100kg
E101	１Ｆ東ゾーン系統													
	室外機	冷暖兼用	33.5	28.0	－	－	－		3φ200V	11.3	0.38	A	1	Ｐ１東	PUHY-P280M-B:1755H×990×840 214kg
	室内機	床置ダクト形	33.5	28.0	3,200	300	19.7	A	3φ200V		1.5	A	1	１Ｆ東	PFAV-P335M-A-F:1748H×1200×485 159kg
E201	２Ｆ東ゾーン系統													
	室外機	冷暖兼用	33.5	28.0	－	－	－		3φ200V	11.3	0.38	A	1	Ｐ１東	PUHY-P280M-B:1755H×990×840 214kg
	室内機	床置ダクト形	33.5	28.0	3,200	300	19.7	A	3φ200V		1.5	A	1	２Ｆ東	PFAV-P335M-A-F:1748H×1200×485 159kg
【撤去】														
ACP-	空冷式パッケージエアコン													既設機器:三菱電機(株)
W301	印刷室													
	室外機	冷暖兼用	25.0	28.0	－	－	－		3φ200V	8.66	0.38	A	1	Ｐ１西	PUZ-P280FA:1715H×990×840 210kg
	室内機	カセット形(4方向)	12.5	14.0	－	－	－	A	1φ200V		0.11	C	2	３Ｆ西	PLZ-P140AA：298H×840×840 30Kg
		同時ツイン													
W401-1	サーバー室													Ｇ回路
	室外機	冷暖兼用	20.0	22.4	－	－	－		3φ200V	7.02	0.38	A	1	Ｐ１西	PUZ-P224FA:1715H×990×840 218kg
	室内機	天吊形 同時ツイン	10.0	11.2	－	－	－	A	1φ200V		0.09	C	2	４Ｆ西	PC-P112GA：270H×1310×680 37kg
W401-2	サーバー室													Ｇ回路
	室外機	冷暖兼用	20.0	22.4	－	－	－		3φ200V	7.02	0.38	A	1	Ｐ１西	PUZ-P224FA:1715H×990×840 218kg
	室内機	天吊形 同時ツイン	10.0	11.2	－	－	－	A	1φ200V		0.09	C	2	４Ｆ西	PC-P112GA：270H×1310×680 37kg
W401-3	サーバー室													
	室外機	冷暖兼用	20.0	22.4	－	－	－		3φ200V	7.02	0.38	B	1	西棟西側	PUZ-ERMP224KA2：1338H×1050×330 106kg
	室内機	天吊形 同時ツイン	10.0	11.2	－	－	－	A	1φ200V		0.09	C	2	４Ｆ西	PC-RP112KA18：230H×1600×680 38kg
W401-4	サーバー室													
	室外機	冷暖兼用	20.0	22.4	－	－	－		3φ200V	7.02	0.38	B	1	西棟西側	PUZ-ERMP224KA2：1338H×1050×330 106kg
	室内機	天吊形 同時ツイン	10.0	11.2	－	－	－	A	1φ200V		0.09	C	2	４Ｆ西	PC-RP112KA18：230H×1600×680 38kg
WP201	天体観測室													室外機:壁面鋼製架台/残置
	室外機	冷暖兼用	5.6	6.3	－	－	－		3φ200V	2.62	0.06	B	1	Ｐ１西	PUH-P56GA:855H×900×330 60kg
	室内機	床置形	5.6	6.3	－	－	－	A	1φ200V		0.02	A	1	Ｐ２Ｆ	PS-P56GA:1900H×600×270 41kg
C101-A	１Ｆエントランス系統Ａ													蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
	（氷蓄熱タイプ） 室外機	冷暖兼用	45.0	40.0	－	－	－		3φ200V	10.7	0.4	A	1	Ｐ１西	PUHY-P450IM-B:1715H×1990×840 490kg
	室内機	床置ダクト形	45.0	40.0	6,000	800	－	B	3φ200V		2.2	A	1	Ｂ１Ｆ	PFFY-P450DM-C:1899H×1200×635 245kg
C101-B	１Ｆエントランス系統Ｂ													蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
	（氷蓄熱タイプ） 室外機	冷暖兼用	45.0	40.0	－	－	－		3φ200V	10.7	0.4	A	1	Ｐ１西	PUHY-P450IM-B:1715H×1990×840 490kg
	室内機	床置ダクト形	45.0	40.0	6,000	800	－	B	3φ200V		2.2	A	1	Ｂ１Ｆ	PFFY-P450DM-C:1899H×1200×635 245kg
C102-A	１Ｆホール(前部)系統Ａ													蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
	（氷蓄熱タイプ） 室外機	冷暖兼用	45.0	40.0	－	－	－		3φ200V	10.7	0.4	A	1	Ｐ１西	PUHY-P450IM-B:1715H×1990×840 490kg
	室内機	床置ダクト形	45.0	40.0	6,300	650	25.1	B	3φ200V		2.2	A	1	１Ｆ中央	PFFY-P450DM-C:1899H×1200×635 245kg
C102-B	１Ｆホール(前部)系統													蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
	（氷蓄熱タイプ） 室外機	冷暖兼用	45.0	40.0	－	－	－		3φ200V	10.7	0.4	A	1	Ｐ１西	PUHY-P450IM-B:1715H×1990×840 490kg
	室内機	床置ダクト形	45.0	40.0	6,300	650	25.1	B	3φ200V		2.2	A	1	１Ｆ中央	PFFY-P450DM-C:1899H×1200×635 245kg
C103	調整室１													基礎ブロック共
	室外機	冷暖兼用	5.6	6.3	－	－	－		3φ200V	3.63	0.06	B	1	１Ｆ	PUH-P63GA:855H×900×330 65kg
	室内機	ビルトイン形	5.6	6.3	960	100	－	A	1φ200V		0.095	C	1	１Ｆ中央	PD-P63FA：960H×735×295 34kg
C104	控室													基礎ブロック共
	室外機	冷暖兼用	4.5	5.0	－	－	－		3φ200V	1.53	0.08	B	1	１Ｆ	PUZ-P50GA:855H×900×330 65kg
	室内機	カセット形(2方向)	4.5	5.0	－	－	－	A	1φ200V		0.035	C	1	１Ｆ中央	PLZ-P50AA：258H×840×840 22kg
C105	１Ｆホール(前部)系統													蓄熱槽 STY-P29C:1910H×2358×1132 530kg
	（氷蓄熱タイプ） 室外機	冷暖兼用	56.0	63.0	－	－	－		3φ200V	13.3	0.38	A	1	Ｐ１西	PUHY-P560IM-B:1715H×1990×840 490kg
	室内機	床置ダクト形	56.0	63.0	8,400	600	16.7	B	3φ200V		3.7	B	1	１Ｆ中央	PFFY-P560DM-C:1899H×1420×635 268kg
E401	生物飼育室													
	室外機	冷暖兼用	4.5	5.0	－	－	－		3φ200V	1.55	0.08	A	1	Ｐ１東	PUZ-P50GA:855H×900×330 65kg
	室内機	カセット形(2方向)	4.5	5.0		－	－	A	1φ200V		0.05	C	1	４Ｆ東	PL-P50PA：358H×944×624 35kg

			電源	台数	据付位置	既設機器:三菱電機(株)
【撤去】	集中管理リモコン	中央監視盤（東ゾーン１Ｆ企画総務室）内に組み込み。	1φ100V	西系統×3	１Ｆ東	G-50
		個別発停、一括発停、温度設定、スケジュール発停、フィルタサイン、状態監視、	1φ100V	中央系統×1	１Ｆ東	
		故障表示、火報移信による一括停止、冷暖切替	1φ100V	東系統×4	１Ｆ東	
【撤去】	蓄熱用集中管理リモコン	中央監視盤（東ゾーン１Ｆ企画総務室）内に組み込み。	1φ100V	西系統×1	１Ｆ東	
			1φ100V	中央系統×1	１Ｆ東	
			1φ100V	東系統×1	１Ｆ東	
						既設機器:三菱電機(株)
【撤去】	冷暖切替ユニット	分流コントローラー　分岐口数　８	1φ200V	2	３Ｆ西、２Ｆ東	CMB-P108FA:289H×1110×450+70(制御箱)
		分岐口数　１０	1φ200V	1	２Ｆ西	CMB-P1010E:289H×676×360+70(制御箱)
		分岐口数　１３	1φ200V	4	２～４Ｆ中央	CMB-P1013F:289H×1110×450+70(制御箱)
		分岐口数　１６	1φ200V	3	１～３Ｆ東	CMB-P1016FA:289H×1110×450+70(制御箱)

改修後

機器表（４）改修後

機器番号	機器名称・系統名	機器仕様															台数	据付位置	備考
【新設】																			
ACPG-	外気処理用																		
	空冷式パッケージエアコン	形式	冷房能力	暖房能力	風量	静圧	有効加湿	ﾌｨﾙﾀ	消費電力(参考値)		電動機(参考値)			防振	個別ﾘﾓｺﾝ				
			(kW)	(kW)	(m3/h)	(Pa)	(kg/h)		冷房(kW)	暖房(kW)	電源	圧縮機(kW)	送風機(kW)		数量				
W201	２Ｆ西ゾーン該話コーナー系統																		
	室外機	冷暖兼用	28.0	31.5	－	－	－		9.30	8.84	3φ200V	7.49	0.46	A		1	Ｐ１西		
	室内機	天井埋込形	28.0	31.5	2,100	100	13	B	1.25	1.25	3φ200V		0.87	C	1	1	２Ｆ		
E101	１Ｆ東ゾーン系統																		
	室外機	冷暖兼用																	
	室内機	床置ﾀﾞｸﾄ形		既存のまま												1	Ｐ１東		
E201	２Ｆ東ゾーン系統															1	１Ｆ東		
	室外機	冷暖兼用																	
	室内機	床置ﾀﾞｸﾄ形														1	Ｐ１東		
																1	２Ｆ東		
【新設】																			
ACP-	空冷式パッケージエアコン																		
W301	印刷室																		
	室外機	冷暖兼用	25.0	28.0	－	－	－		9.04	7.48	3φ200V	6.00	0.20	A		1	Ｐ１西		
	室内機	カセット形(4方向)	12.5	14.0	－	－	－	A	0.12	0.12	1φ200V		0.12	C	1	2	３Ｆ西		
		同時ツイン																	
W401-1	サーバー室																	Ｇ回路	
	室外機	冷暖兼用	20.0	22.4	－	－	－		6.21	6.52	3φ200V	4.60	0.15×2	A		1	Ｐ１西		
	室内機	天吊形 同時ツイン	10.0	11.2	－	－	－	A	0.12	0.11	1φ200V		0.16	C	1	2	４Ｆ西		
W401-2	サーバー室																	Ｇ回路	
	室外機	冷暖兼用	20.0	22.4	－	－	－		6.21	6.52	3φ200V	4.60	0.15×2	A		1	Ｐ１西		
	室内機	天吊形 同時ツイン	10.0	11.2	－	－	－	A	0.12	0.11	1φ200V		0.16	C	1	2	４Ｆ西		
W401-3	サーバー室																	Ｇ回路	
	室外機	冷暖兼用	20.0	22.4	－	－	－		6.21	6.52	3φ200V	4.60	0.15×2	B		1	西棟西側		
	室内機	天吊形 同時ツイン	10.0	11.2				A	0.12	0.11	1φ200V		0.16	C	1	2	４Ｆ西		
W401-4	サーバー室																	Ｇ回路	
	室外機	冷暖兼用	20.0	22.4	－	－	－		6.21	6.52	3φ200V	4.60	0.15×2	B		1	西棟西側		
	室内機	天吊形 同時ツイン	10.0	11.2	－	－	－	A	0.12	0.11	1φ200V		0.16	C	1	2	４Ｆ西		
WP201	天体観測室																		
	室外機	冷暖兼用	5.0	5.6	－	－	－		1.37	1.44	3φ200V	1.20	0.04	B		1	Ｐ１Ｆ	壁面鋼製架台/既存流用	
	室内機	床置立形（直吹）	5.0	5.6	－	－	－	A	0.10	0.10	1φ200V		0.05	A	1(本体取付)	1	Ｐ２Ｆ		
WB101	電気室																		
	室外機	冷暖兼用	12.5	14.0	－	－	－		3.67	4.08	3φ200V	2.60	0.20	B		1	西棟西側	コンクリート基礎/新設	
	室内機	床置立形（直吹）	12.5	14.0	－	－	－	A			1φ200V		0.16	B	1(本体取付)	1	Ｂ１Ｆ西	既存床に直置き	
C101-A	１Ｆエントランス系統Ａ																		
	室外機	冷暖兼用	45.0	50.0	－	－	－		12.90	12.40	3φ200V	5.12+5.12	0.35+0.35	A		1	Ｐ１西		
	室内機	床置ダクト形	45.0	50.0	6,000	800	－	B	2.21	2.21	3φ200V		2.2	A	－	1	Ｂ１Ｆ		
C101-B	１Ｆエントランス系統Ｂ																		
	室外機	冷暖兼用	45.0	50.0	－	－	－		12.90	12.40	3φ200V	5.12+5.12	0.35+0.35	A		1	Ｐ１西		
	室内機	床置ダクト形	45.0	50.0	6,000	800	－	B	2.21	2.21	3φ200V		2.2	A	－	1	Ｂ１Ｆ		
C102-A	１Ｆホール(前部)系統Ａ																		
	室外機	冷暖兼用	45.0	50.0	－	－	－		12.90	12.40	3φ200V	5.12+5.12	0.35+0.35	A		1	Ｐ１西		
	室内機	床置ダクト形	45.0	50.0	6,300	650	25.1	B	2.21	2.21	3φ200V		2.2	A	－	1	１Ｆ中央		
C102-B	１Ｆホール(前部)系統Ｂ																		
	室外機	冷暖兼用	45.0	50.0	－	－	－		12.90	12.40	3φ200V	5.12+5.12	0.35+0.35	A		1	Ｐ１西		
	室内機	床置ダクト形	45.0	50.0	6,300	650	25.1	B	2.21	2.21	3φ200V		2.1	A	－	1	１Ｆ中央		
C103	調整室１																		
	室外機	冷暖兼用	7.1	8.0	－	－	－		1.13	1.59	3φ200V	1.60	0.06	B		1	中央棟北側	基礎ブロック共	
	室内機	天井隠ぺい形(片ダクト)	7.1	8.0	960	100	－	A	0.10	0.10	1φ200V		0.12	C	1	1	１Ｆ中央		
C104	控室																		
	室外機	冷暖兼用	4.5	5.0	－	－	－		1.13	1.59	3φ200V	1.00	0.04	B		1	中央棟北側	基礎ブロック共	
	室内機	カセット形(2方向)	4.5	5.0	－	－	－	A	0.06	0.06	1φ200V		0.05	C	1	1	１Ｆ中央		
C105	１Ｆホール(前部)系統																		
	室外機	冷暖兼用	56.0	63.0	－	－	－		18.00	17.10	3φ200V	7.49+7.49	0.46+0.46	A		1	Ｐ１西		
	室内機	床置ダクト形	56.0	63.0	8,400	600	16.7	B	3.36	3.36	3φ200V		3.7	B	－	1	１Ｆ中央		
E401	生物飼育室																		
	室外機	冷暖兼用		既存のまま												1	Ｐ１東		
	室内機	カセット形(2方向)														1	４Ｆ東		

			電源	台数		
【新設】						
CR-1	集中管理リモコン	集中管理リモコンは、中央監視盤（東ゾーン１Ｆ企画総務室）内（電気設備工事）に組み込むことする。	1φ100V	西系統×1	１Ｆ東	
		監視・表示・操作機能：運転・停止、温度設定、状態監視、異常警報・表示、一括・個別操作機能	1φ100V	中央系統×1	１Ｆ東	
		制御機能：スケジュール設定、個別リモコン操作の禁止、火報移信による一括停止				
【既存のまま】	集中管理リモコン		1φ100V	東系統×4	１Ｆ東	
【既存のまま】	蓄熱用集中管理リモコン		1φ100V	東系統×1	１Ｆ東	
【既存のまま】	冷暖切替ユニット	分流コントローラー　分岐口数　８	1φ200V	1	２Ｆ東	
		分岐口数　１６	1φ200V	3	１～３Ｆ東	

【共通事項】

1．太線にて囲み表示をした箇所を本工事範囲とする。
2．冷房能力及び暖房能力はＪＩＳＢ８６１６とする。
3．特記なし床置形の基礎は、既設コンクリート基礎および既設鋼製平架台を再利用とし、防振架台および防振ゴムは撤去・新設とする。
4．防振仕様　Ａ：スプリング防振架台、Ｂ：防振ゴム、Ｃ：防振吊り金具、Ｄ：なし
5．機器更新に伴う電源配線（幹線）は、別途電気工事とする。
6．室内機～室外機間の電気配線（アース共）、リモコン配線は製造者の標準仕様とする。
7．新設機は、更新用機種（冷媒種Ｒ４１０Ａ）を採用すること。
8．冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。
9．室外機（新設）は、高調波対策用アクティブフィルタ付きとする。
10．室外機（新設）は、防護ネット付きとする。
11．室内機（新設）は、ドレンアップ機構付きとする。
12．個別リモコン（ワイヤード）を含む。
13．加湿は、気化式とする。有効加湿量は、負荷計算上の目標値とする。
14．フィルターは、Ａ：メーカー標準品　Ｂ：再生型中性能フィルターとし、フィルター予備は100%とする。
15．撤去機の冷媒種はＲ４０７Ｃである。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-05
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　機器表（４）改修前・後	縮尺 NO SCALE

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前

機器表（５）改修前

機器番号	機器名称・系統(部屋)名	機器仕様						台数	据付位置	備考
【撤去】【既存のまま】										
EVF-	全熱交換ユニット(静止型)	共通事項								
		１．　運転スイッチ（ワイヤード）は撤去とする。								
		設置方式	風量	静圧	電源	消費電力	付加仕様			既設機器：三菱電機(株)
			(m3/h)	(Pa)		(kW)				
W201	廊下１	天井隠ぺい形	250	80	1φ100V	0.22		1	２Ｆ西	LGH-35RS3:317H×1014×950
W301	廊下２	天井隠ぺい形	250	80	1φ100V	0.22		1	３Ｆ西	LGH-35RS3:317H×1014×950
W401	廊下３	天井隠ぺい形	250	80	1φ100V	0.22		1	４Ｆ西	LGH-35RS3:317H×1014×950
C101	控室	カセット形	150	70	1φ100V	0.14		1	１Ｆ中央	LGH-25CS3:(268+65～150)H×1206×454
C201	調整室２	カセット形	100	70	1φ100V	0.10		1	２Ｆ中央	LGH-15CS3:(268+65～150)H×1206×444
C202	ホワイエ３	天井隠ぺい形	400	100	1φ100V	0.25		1	４Ｆ中央	LGH-50RS3:317H×1046×1092
C401	ロビー	天井隠ぺい形	300	100	1φ100V	0.22		1	４Ｆ中央	LGH-35RS3:317H×1014×950
E101	プレイルーム２	天井隠ぺい形	500	150	1φ100V	0.45		1	１Ｆ東	LGH-65RS3:388H×1066×1029
E301	３１３研修室	カセット形	200	80	1φ100V	0.14	同時運転	3	３Ｆ東	LGH-25CS3:(268+65～150)H×1206×454
E302	廊下２	天井隠ぺい形	250	80	1φ100V	0.22		1	３Ｆ東	LGH-35RS3:317H×1014×950
E401	生物飼育室	カセット形	200	80	1φ100V	0.14		1	４Ｆ東	LGH-25CS3:(268+65～150)H×1206×454
E402	分析室	カセット形	125	80	1φ100V	0.14		1	４Ｆ東	LGH-25CS3:(268+65～150)H×1206×454
E403	４０３研修室	カセット形	200	80	1φ100V	0.14	同時運転	3	４Ｆ東	LGH-25CS3:(268+65～150)H×1206×454
E404	４０１実験室	カセット形	150	80	1φ100V	0.14		1	４Ｆ東	LGH-25CS3:(268+65～150)H×1206×454
E405	薬品管理室	カセット形	150	80	1φ100V	0.14		1	４Ｆ東	LGH-25CS3:(268+65～150)H×1206×454
E406	廊下２	天井隠ぺい形	250	80	1φ100V	0.22		1	４Ｆ東	LGH-35RS3:317H×1014×950
【既存のまま】										
EVF-	全熱交換ユニット(回転型)	共通事項								
		１．　全熱交換効率は70%以上、最大面風速は3.0m/s以下。								
		２．　外気冷房制御、目詰まり防止制御、バイパスダンパー制御付。								
		３．　フィルターは、給気用を再生型中性能フィルター、排気用をプレフィルター（AFI80%以上）。								
		４．　付属品：ダクト用相フランジ、制御盤（遠方表示接点付）、マノメーター、基礎ボルト他標準付属品一式								
		５．　加湿器は気化式、有効加湿量は計算上の目標値である。								
		６．　給排気送付機は防振架台を新設とする。								
	(系統)	設置方式	風量	静圧	有効加湿量	インバータ	電動機			
			(m3/h)	(Pa)	(kg/h)		電源	(kW)		既設機器：(株)東洋製作所
W101	１Ｆ西ゾーン系統	床置形	給気 2625	給気 600	8.1	無	給気送風機	3φ200V	2.2	1	１Ｆ西	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転
			排気 2625	排気 450			排気送風機	3φ200V	1.5			全熱交換器/THR-65B
							駆動機	3φ200V	0.1			外形寸法：3440W×1340D×2095H
W201	２Ｆ西ゾーン系統	床置形	給気 4700	給気 600	14.5	有	給気送風機	3φ200V	3.7	1	２Ｆ西	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転
			排気 4700	排気 450			排気送風機	3φ200V	2.2			全熱交換器/THR-65B
							駆動機	3φ200V	0.1			外形寸法：3440W×1340D×2095H
W301	３Ｆ西ゾーン系統	床置形	給気 5525	給気 600	17	有	給気送風機	3φ200V	3.7	1	３Ｆ西	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転
			排気 5525	排気 450			排気送風機	3φ200V	3.7			全熱交換器/THR-100B
							駆動機	3φ200V	0.2			外形寸法：3440W×1540D×2295H
W401	４Ｆ西ゾーン系統	床置形	給気 5575	給気 600	17.2	有	給気送風機	3φ200V	3.7	1	４Ｆ西	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転
			排気 5575	排気 450			排気送風機	3φ200V	2.2			全熱交換器/THR-100B
							駆動機	3φ200V	0.2			外形寸法：3440W×1540D×2295H
E301	３Ｆ東ゾーン系統	床置形	給気 5150	給気 600	15.9	有	給気送風機	3φ200V	3.7	1	３Ｆ東	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転
			排気 5150	排気 450			排気送風機	3φ200V	2.2			全熱交換器/THR-100B
							駆動機	3φ200V	0.2			外形寸法：3440W×1540D×2295H
E401	４Ｆ東ゾーン系統	床置形	給気 2525	給気 600	7.8	有	給気送風機	3φ200V	2.2	1	４Ｆ東	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転
			排気 2525	排気 450			排気送風機	3φ200V	1.5			全熱交換器/THR-65B
							駆動機	3φ200V	0.1			外形寸法：3440W×1340D×2095H

改修後

機器表（５）改修後

機器番号	機器名称・系統(部屋)名	機器仕様						台数	据付位置	備考
【新設】【既存のまま】										
EVF-	全熱交換ユニット(静止型)	共通事項								
		１．　運転スイッチ（ワイヤード）は付属とする。								
		２．　全熱交換効率は60%以上とする。								
		３．　普通換気可能形とする。								
		４．　フィルターはメーカー標準品とする。								
		設置方式	風量	機外静圧	電源	消費電力(参考)	その他			
			(m3/h)	(Pa)		(kW)				
W201	廊下１	天井隠ぺい形	250	80	1φ100V	0.14		1	２Ｆ西	
W301	廊下２	天井隠ぺい形	250	80	1φ100V	0.14		1	３Ｆ西	
W401	廊下３	天井隠ぺい形	250	80	1φ100V	0.14		1	４Ｆ西	
C101	控室	カセット形	150	70	1φ100V	0.13		1	１Ｆ中央	
C201	調整室２	カセット形	100	70	1φ100V	0.08		1	２Ｆ中央	
C202	ホワイエ３	天井隠ぺい形	400	100	1φ100V	0.22		1	４Ｆ中央	
C401	ロビー	天井隠ぺい形	300	100	1φ100V	0.14		1	４Ｆ中央	
E101	プレイルーム２	既存のまま						1	１Ｆ東	
E301	３１３研修室							3	３Ｆ東	
E302	廊下２							1	３Ｆ東	
E401	生物飼育室							1	４Ｆ東	
E402	分析室							1	４Ｆ東	
E403	４０３研修室							3	４Ｆ東	
E404	４０１実験室							1	４Ｆ東	
E405	薬品管理室							1	４Ｆ東	
E406	廊下２							1	４Ｆ東	
【既存のまま】										
HEAR-	全熱交換ユニット(回転型)									
【既存のまま】										
EVF-	全熱交換ユニット(回転型)									
	(系統)	設置方式	風量	静圧	有効加湿量	インバータ	電動機(参考)		その他	
			(m3/h)	(Pa)	(kg/h)		電源	(kW)		
HEAR- W101	１Ｆ西ゾーン系統	既存のまま								
W201	２Ｆ西ゾーン系統									
W301	３Ｆ西ゾーン系統									
W401	４Ｆ西ゾーン系統									
EVF- E301	３Ｆ東ゾーン系統	既存のまま								
E401	４Ｆ東ゾーン系統									

【共通事項】
1．太線にて囲み表示をした箇所を本工事範囲とする。
2．機器更新に伴う電源配線（幹線）は、別途電気工事とする。
3．特記なし床置形の基礎は、既設コンクリート基礎を再利用とし、防振架台は撤去・新設とする。
4．防振仕様　Ａ：スプリング防振架台、Ｂ：防振ゴム、Ｃ：　防振吊り金具、Ｄ：なし
5．静圧は機外静圧とする。
6．フィルター予備は100%とする。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-06
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　機器表（５）改修前・後	縮尺 NO SCALE

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前

機器表（６）改修前

機器番号	機器名称・系統(部屋)名	機器仕様										台数	据付位置	備考
【撤去】【既存のまま】														
FS-	給気送風機													
		形式	設置形式	呼び番号	風量	静圧	防振	連動運転	ﾌｨﾙﾀ枚数	電動機				既設機器:松下電器産業(株)
				No.	(m3/h)	(Pa)				電源	容量(kW)			
WB101	機械室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	5,000	400	A	FE-WB101	4	3φ400V	2.20	1	Ｂ１Ｆ西	FY-12FKS-C:797H×477×937
WB102	電気室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	4,500	400	A	FE-WB102	4	3φ400V	1.50	1	Ｂ１Ｆ西	FY-12FKS-C:797H×477×937
WB104	ＭＤＦ室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	800	350	C	FE-WB104	1	3φ200V	0.46	1	１Ｆ西	FY-23SCT2:365H×525×840
W101	教材開発室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	600	250	C	FE-W102	1	1φ100V	0.20	1	１Ｆ西	FY-20SCF2:320H×495×780
W102	機械実習室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	600	250	C	FE-W103	1	1φ100V	0.20	1	１Ｆ西	FY-20SCF2:320H×495×780
W103	石工室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	180	250	C	FE-W104	1	1φ100V	0.16	1	１Ｆ西	FY-20SCS2:320H×495×780
W301	印刷室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,200	250	C	FE-W301	1	1φ100V	0.43	1	３Ｆ西	FY-25SCS2:380H×525×895
W302	３０４研修室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	3,000	250	C	FE-W303	3	3φ200V	1.55	1	３Ｆ西	FY-25SCM1:370H×800×1400
W401	サーバー室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	3,000	250	C	FE-W402	3	3φ200V	1.55	1	４Ｆ西	FY-25SCM1:370H×800×1400
C101	調整室１・倉庫１０３	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	400	250	C	FE-C102	1	1φ100V	0.16	1	１Ｆ中央	FY-20SCS2:320H×495×780
E301	楽器庫	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	250	250	C	FE-W302	1	1φ100V	0.16	1	３Ｆ東	FY-20SCS2:320H×495×780
【撤去】【既存のまま】														
FE-	排気送風機													
		形式	設置形式	呼び番号	風量	静圧	防振	運転方法	電動機					既設機器:松下電器産業(株)
				No.・φ	(m3/h)	(Pa)			電源		容量(kW)			
W105	オイルギアポンプ室	ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ		150φ	70	50	D		1φ100V		0.03	1	１Ｆ西	FY-15DH1:190H×500×240
WB101	機械室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	5,000	300	A	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ400V		2.20	1	Ｂ１Ｆ西	FY-12FKS-C:797H×477×937
WB102	電気室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	4,500	300	A	ｻｰﾓ運転	3φ400V		1.50	2	Ｂ１Ｆ西	FY-12FKS-C:797H×477×937
											(内1台予備)			
WB103	ＥＶＭＲ	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	2,000	200	C	ｻｰﾓ運転	1φ100V		0.08	1	１Ｆ西	FY-20SCS2:320H×495×780
WB104	ＭＤＦ室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	800	200	C	ｻｰﾓ運転	3φ200V		0.35	1	１Ｆ西	FY-23SCT2:365H×525×810
W101	倉庫１０１	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	100	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.08	1	１Ｆ西	FY-18SCS2:280H×385×690
W102	教材開発室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	600	150	C		1φ100V		0.16	1	１Ｆ西	FY-20SCS2:320H×495×780
W103	機械実習室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	600	150	C		1φ100V		0.16	1	１Ｆ西	FY-20SCS2:320H×495×780
W104	石工室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	200	150	C		1φ100V		0.08	1	１Ｆ西	FY-18SCS2:280H×385×690
W201	倉庫２０３	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	900	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.32	1	２Ｆ西	FY-23SCT2:365H×525×810
W202	男子便所・女子便所	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	2	2,100	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.88	1	２Ｆ西	FY-28SCX2:420H×605×965
W203	自販機コーナー	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	1,700	250	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.65	1	２Ｆ西	FY-25SCX2:380H×525×895
W301	印刷室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,200	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.43	1	３Ｆ西	FY-25SCX2:380H×525×895
W302	男子便所３・女子便所３	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,700	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.65	1	２Ｆ西	FY-25SCX2:380H×525×895
W303	３０４研修室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	3,000	450	B		3φ200V		1.50	1	Ｐ１Ｆ西	FY-12FKS-C:797H×477×937
W304	倉庫３０７	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	200	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.08	1	３Ｆ西	FY-18SCS2:280H×385×690
W401	男子便所3・女子便所3	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,700	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.65	2	４Ｆ西	FY-25SCX2:380H×525×895
W402	サーバー室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	3,000	150	C	ｻｰﾓ運転	3φ200V		1.55	1	４Ｆ西	FY-25SCM1:370H×800×1400
C101	ホール系統	床置消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	床置	3	21,000	350	A		3φ200V		7.50	1	１Ｆ中央	FY-18FUD-C:
														1375H×1561×1705 428kg
C102	調整室１・倉庫３	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	400	150	C		1φ100V		0.12	1	１Ｆ中央	FY-18SCF2:280H×465×685
C103	男子便所１・女子便所１	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	2,500	250	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		1.55	1	１Ｆ中央	FY-25SCM1:370H×800×1400
C201	ロビー系統	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	500	150	C		1φ100V		0.12	3	２Ｆ中央	FY-18SCF2:280H×465×685
C401	ロビー系統	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	500	150	C		1φ100V		0.12	2	４Ｆ中央	FY-18SCF2:280H×465×685
E101	男子便所２・女子便所２	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,500	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.46	1	１Ｆ東	FY-25SCT2:380H×525×895
E102	１Ｆ各室排気用	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	900	250	C	ACPG-E101と連動	3φ200V		0.35	1	１Ｆ東	FY-23SCT2:365H×525×810
E103	１Ｆ各室排気用	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,700	250	C	ACPG-E101と連動	3φ200V		0.65	1	１Ｆ東	FY-25SCX2:380H×525×895
E104	シャワー室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	200	150	C		1φ100V		0.08	1	１Ｆ東	FY-18SCS2:280H×385×690
E201	男子便所２・女子便所２	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,500	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.46	1	２Ｆ東	FY-25SCT2:380H×525×895
E202	２Ｆ各室排気用	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,500	250	C	ACPG-E201と連動	3φ200V		0.65	1	２Ｆ東	FY-25SCX2:380H×525×895
E203	２Ｆ各室排気用	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	1,700	250	C	ACPG-E201と連動	3φ200V		0.65	1	２Ｆ東	FY-25SCX2:380H×525×895
E301	倉庫３１６	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	400	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.12	1	３Ｆ東	FY-18SCF2:280H×465×685
E302	楽器保管室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	250	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.08	1	３Ｆ東	FY-18SCS2:280H×385×690
E401	暗室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	200	150	C		1φ100V		0.08	1	４Ｆ東	FY-18SCS2:280H×385×690
E402	倉庫４０７	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	200	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.08	1	４Ｆ東	FY-18SCS2:280H×385×690
E403	分析室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(ｲﾝﾍﾞﾗ部耐熱SS製)	天吊	1	420	150	C		1φ100V		0.01	1	４Ｆ東	FY-17CG1:346H×281×331

改修後

機器表（６）改修後

機器番号	機器名称・系統(部屋)名	機器仕様										台数	据付位置	備考
【新設】【既存のまま】														
FS-	給気送風機													
		形式	設置形式	呼び番号	風量	静圧	防振	連動運転	ﾌｨﾙﾀ枚数	電動機(参考)				
				No.	(m3/h)	(Pa)				電源	(kW)			
WB101	機械室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	5,000	400	A	FE-WB101	4	3φ200V	2.20	1	Ｂ１Ｆ西	
WB102	電気室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	4,500	400	A	FE-WB102	4	3φ200V	1.50	1	Ｂ１Ｆ西	
WB104	ＭＤＦ室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	800	350	C	FE-WB104	1	3φ200V	0.44	1	１Ｆ西	
W101	教材開発室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	600	250	C	FE-W102	1	1φ100V	0.21	1	１Ｆ西	
W102	機械実習室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	600	250	C	FE-W103	1	1φ100V	0.21	1	１Ｆ西	
W103	石工室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	180	250	C	FE-W104	1	1φ100V	0.10	1	１Ｆ西	
W301	印刷室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,200	250	C	FE-W301	1	1φ100V	0.52	1	３Ｆ西	
W302	３０４研修室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	3,000	250	C	FE-W303	3	3φ200V	1.55	1	３Ｆ西	
W401	サーバー室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	3,000	250	C	FE-W402	3	3φ200V	1.55	1	４Ｆ西	
C101	調整室１・倉庫１０３	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	400	250	C	FE-C102	1	1φ100V	0.16	1	１Ｆ中央	
E301	楽器庫	既存のまま										1	３Ｆ東	
【新設】【既存のまま】														
FE-	排気送風機													
		形式	設置形式	呼び番号	風量	静圧	防振	運転方法	電動機(参考)					
				No.・φ	(m3/h)	(Pa)			電源		(kW)			
W105	オイルギアポンプ室	ﾊﾞｲﾌﾟﾌｧﾝ		150φ	70	50	D		1φ100V		0.03	1	１Ｆ西	
WB101	機械室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	5,000	300	A	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		2.20	1	Ｂ１Ｆ西	
WB102	電気室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	4,500	300	A	ｻｰﾓ運転	3φ200V		1.50	2	Ｂ１Ｆ西	
											(内1台予備)			
WB103	ＥＶＭＲ	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	2,000	200	C	ｻｰﾓ運転	1φ100V		0.35	1	１Ｆ西	
WB104	ＭＤＦ室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	800	200	C	ｻｰﾓ運転	3φ200V		0.10	1	１Ｆ西	
W101	倉庫１０１	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	100	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.02	1	１Ｆ西	
W102	教材開発室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	600	150	C		1φ100V		0.16	1	１Ｆ西	
W103	機械実習室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	600	150	C		1φ100V		0.16	1	１Ｆ西	
W104	石工室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	200	150	C		1φ100V		0.08	1	１Ｆ西	
W201	倉庫２０３	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	900	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.32	1	２Ｆ西	
W202	男子便所・女子便所	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	2	2,100	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.88	1	２Ｆ西	
W203	自販機コーナー	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/2	1,700	250	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.65	1	２Ｆ西	
W301	印刷室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,200	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.43	1	３Ｆ西	
W302	男子便所３・女子便所３	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,700	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.65	1	２Ｆ西	
W303	３０４研修室	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(全閉防まつ形)	床置	2	3,000	450	B		3φ200V		1.50	1	Ｐ１Ｆ西	
W304	倉庫３０７	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	200	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	1φ100V		0.08	1	３Ｆ西	
W401	男子便所3・女子便所3	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	1,700	150	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		0.65	2	４Ｆ西	
W402	サーバー室	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	3,000	150	C	ｻｰﾓ運転	3φ200V		1.55	1	４Ｆ西	
C101	ホール系統	床置消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	床置	3	21,000	350	A		3φ200V		7.50	1	１Ｆ中央	
C102	調整室１・倉庫３	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	400	150	C		1φ100V		0.12	1	１Ｆ中央	
C103	男子便所１・女子便所１	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１3/4	2,500	250	C	ｽｹｼﾞｭｰﾙ運転	3φ200V		1.55	1	１Ｆ中央	
C201	ロビー系統	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	500	150	C		1φ100V		0.12	3	２Ｆ中央	
C401	ロビー系統	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	天吊	１1/4	500	150	C		1φ100V		0.12	2	４Ｆ中央	
E101	男子便所２・女子便所２	既存のまま										1	１Ｆ東	
E102	１Ｆ各室排気用											1	１Ｆ東	
E103	１Ｆ各室排気用											1	１Ｆ東	
E104	シャワー室											1	１Ｆ東	
E201	男子便所２・女子便所２											1	２Ｆ東	
E202	２Ｆ各室排気用											1	２Ｆ東	
E203	２Ｆ各室排気用											1	２Ｆ東	
E301	倉庫３１６											1	３Ｆ東	
E302	楽器保管室											1	３Ｆ東	
E401	暗室											1	４Ｆ東	
E402	倉庫４０７											1	４Ｆ東	
E403	分析室											1	４Ｆ東	

【共通事項】

1．太線にて囲み表示をした箇所を本工事範囲とする。
2．機器更新に伴う電源配線（幹線）は、別途電気工事とする。
3．特記なし床置形の基礎は、既設コンクリート基礎を再利用とし、防振架台は撤去・新設とする。
4．防振仕様　Ａ：スプリング防振架台、Ｂ：防振ゴム、Ｃ： 防振吊り金具、Ｄ：なし
5．静圧は機外静圧とする。
6．フィルター予備は100%とする。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-07
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　機器表（６）改修前・後	縮尺	NO SCALE

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前

機器表（７）改修前

機器番号	機器名称・系統(部屋)名	機器仕様		付属電動機 電源	付属電動機 容量[kW]	台数	据付位置	備考
【残置】								
FD- 101	排ガス洗浄装置	丸形スクラバー（ドラフト排気用）				1	Ｐ１Ｆ東	既設:セイコー化工機(株)
		本体・タンク・送風機：ＦＲＰ製						本体:TRS-G20
	４０１実験室	充填物・ミストキャッチ他・内部構成品：塩化ビニル製	送風機	3φ200V	0.75			循環ポンプ:VES-0402
	（ドラフトチャンバー３）	送風機風量×機外静圧： 1200CMH×500Pa	ポンプ	3φ200V	0.2			送風機:NSF102-RR2
		循環ポンプ 口径×揚量×揚程 40φ×50L/min×3m						
		循環タンク容量：350L 新水補給量：4L/min						
		付属品：共通ベース（溶融亜鉛メッキ）、						
		現場スイッチBOX及び制御盤（故障、運転状態監視用接点端子付、SUS製）						
		連 動：有機化学室内ドラフトチャンバー、薬品管理室緊急排気用フード						
【残置】								
FE-	排気送風機（ドラフトチャンバー用）							
	（屋外 ＦＲＰ製）	共通事項						
		１．ベンチレーター（ＦＲＰ製）共撤去のこと。						
		形 式	設置形式 / 呼び番号 No. / 風量 (m3/h) / 静圧 (Pa) / 付加仕様 / 防振					既設:セイコー化工機(株)
E404	４０３研修室(ﾄﾞﾗﾌﾄﾁｬﾝﾊﾞｰ1)	片吸込シロッコ	床置 / １１/2 / 600 / 450 / 耐蝕形(ＦＲＰ製) / B	3φ200V	0.4	1	Ｐ１Ｆ東	NSF102-LH2-B:590H×600×560
E405	４０３研修室(ﾄﾞﾗﾌﾄﾁｬﾝﾊﾞｰ2)	片吸込シロッコ	床置 / １１/2 / 600 / 450 / 耐蝕形(ＦＲＰ製) / B	3φ200V	0.4	1	Ｐ１Ｆ東	NSF102-LH2-B:590H×600×560
E406	薬品管理室	片吸込シロッコ	床置 / １１/2 / 800 / 350 / 耐蝕形(ＦＲＰ製) / B	3φ200V	0.4	1	Ｐ１Ｆ東	NSF102-RH2-B:590H×600×658
【残置】								既設:(株)ダルトン
DC- 101	ドラフトチャンバー	サイズ 1200W×835D×2500H		1φ100V	0.1	2	４Ｆ東	DF-17C
102	（４０３研修室系統）	外装:スチール製 対薬品性焼き付け塗装仕上げ、内装: ノンアスベスト特殊樹脂ボード						
		バッフルプレート：ノンアスベスト特殊樹脂ボード３段式						
		作業面:一体成形陶器板、ポット流し１～２個付						
		前面扉 強化ガラス 6mm バランスウェイト方式						
		操作面 ｼｰﾄｽｲｯﾁ方式（排気ﾌｧﾝ、照明）ACｺﾝｾﾝﾄ2個、ｶﾞｽﾊﾝﾄﾞﾙ１～２個、給水ﾊﾝﾄﾞﾙ１～2個						
		給水栓 グースネック形式１～２個 遠隔操作式、ガス栓 ２方口１～２個 遠隔操作式						
		ガス洗浄装置 充填塔方式 硬質塩化ビニル製 循環ポンプ 0.2kW						
【残置】								既設:(株)ダルトン
DC- 103	ドラフトチャンバー	サイズ 1200W×1050D×2500H		1φ100V	0.3	1	４Ｆ東	DF-19NSK
	（４０１実験室系統）	外装:スチール製 対薬品性焼き付け塗装仕上げ、内装: ノンアスベスト特殊樹脂ボード						
		バッフルプレート：ノンアスベスト特殊樹脂ボード３段式						
		作業面:一体成形陶器板、ポット流し１～２個付						
		前面扉 強化ガラス 6mm バランスウェイト方式						
		操作面 ｼｰﾄｽｲｯﾁ方式（排気ﾌｧﾝ、照明）ACｺﾝｾﾝﾄ2個、ｶﾞｽﾊﾝﾄﾞﾙ１～２個、給水ﾊﾝﾄﾞﾙ１～2個						
		給水栓 グースネック形式１～２個 遠隔操作式、ガス栓 ２方口１～２個 遠隔操作式						
		給 気 給気ユニット、給気ファン付						
【撤去】								既設:ピーエス工業(株)
DH- 101	除湿器	床置型除湿器		1φ200V	0.86	2	Ｂ１Ｆ西	DH-11A
		除湿能力（27℃60%時） 32 L/d						
		参考サイズ 450×500×850H						
		付属品 湿度調節器、キャスター、エアフィルター、ドレンホース他標準付属品一式						
		湿度設定範囲 10～95% 動作すきま 5%程度						
		許容周囲温度 0～+50℃						
【撤去】								
PH-	電気暖房機							
	自然対流方式コールドドラフト防止用							
		共通事項						
		１．床固定用脚、他付属品一式共撤去のこと						
								既設:(株)ｲﾝﾀｰｾﾝﾄﾗﾙ
101-A	ホワイエ１	床置形、サーモスタット内蔵		1φ200V	0.75	1	１Ｆ中央	PMW-750:940×70×180H
101-B	ホワイエ１	床置形、サーモスタット内蔵		1φ200V	0.25	1	１Ｆ中央	PMW-250:450×70×180H
102	ロビー１	床置形、サーモスタット内蔵	同時運転	1φ200V	0.50	16	３Ｆ中央	PMW-500:740×70×180H
103	ホワイエ３	床置形、サーモスタット内蔵	同時運転	1φ200V	0.75	2	１Ｆ中央	PMW-750:940×70×180H

改修後

機器表（７）改修後

機器番号	機器名称	機器仕様	付属電動機 電源	付属電動機 容量[kW]	台数	据付位置	備考
【既存のまま】							
FD- 101	排ガス洗浄装置				1	Ｐ１Ｆ東	
	［系統名］						
	401実験室						
	（ドラフトチャンバー３）						
【既存のまま】							
FE-	排気送風機（ドラフトチャンバー用）						
	（屋外 ＦＲＰ製）						
	［系統名］						
E404	４０３研修室(ﾄﾞﾗﾌﾄﾁｬﾝﾊﾞｰ1)	既存のまま			1	Ｐ１Ｆ東	
E405	４０３研修室(ﾄﾞﾗﾌﾄﾁｬﾝﾊﾞｰ2)	既存のまま			1	Ｐ１Ｆ東	
E406	薬品管理室	既存のまま			1	Ｐ１Ｆ東	
【既存のまま】							
DC- 101	ドラフトチャンバー				2	４Ｆ東	
102	（403研修室系統）						
【既存のまま】							
DC- 103	ドラフトチャンバー				1	４Ｆ東	
	(401実験室系統)						
【新設】							
DH- 101	除湿器	床置型除湿器	1φ100V	0.86	2	Ｂ１Ｆ西	
		除湿能力（27℃60%時） 32 L/d					
		参考サイズ 450×500×850H					
		付属品 湿度調節器、キャスター、エアフィルター、ドレンホース他標準付属品一式					
		湿度設定範囲 10～95% 動作すきま 5%程度					
		許容周囲温度 0～+50℃					

【共通事項】
1．太線にて囲み表示をした箇所を本工事範囲とする。
2．機器更新に伴う電源配線（幹線）は、別途電気工事とする。
3．特記なし床置形の基礎は、既設コンクリート基礎を再利用とし、防振架台は撤去・新設とする。
4．防振仕様 Ａ：スプリング防振架台、Ｂ：防振ゴム、Ｃ： 防振吊り金具、Ｄ：なし
5．静圧は機外静圧とする。
6．フィルター予備は100%とする。

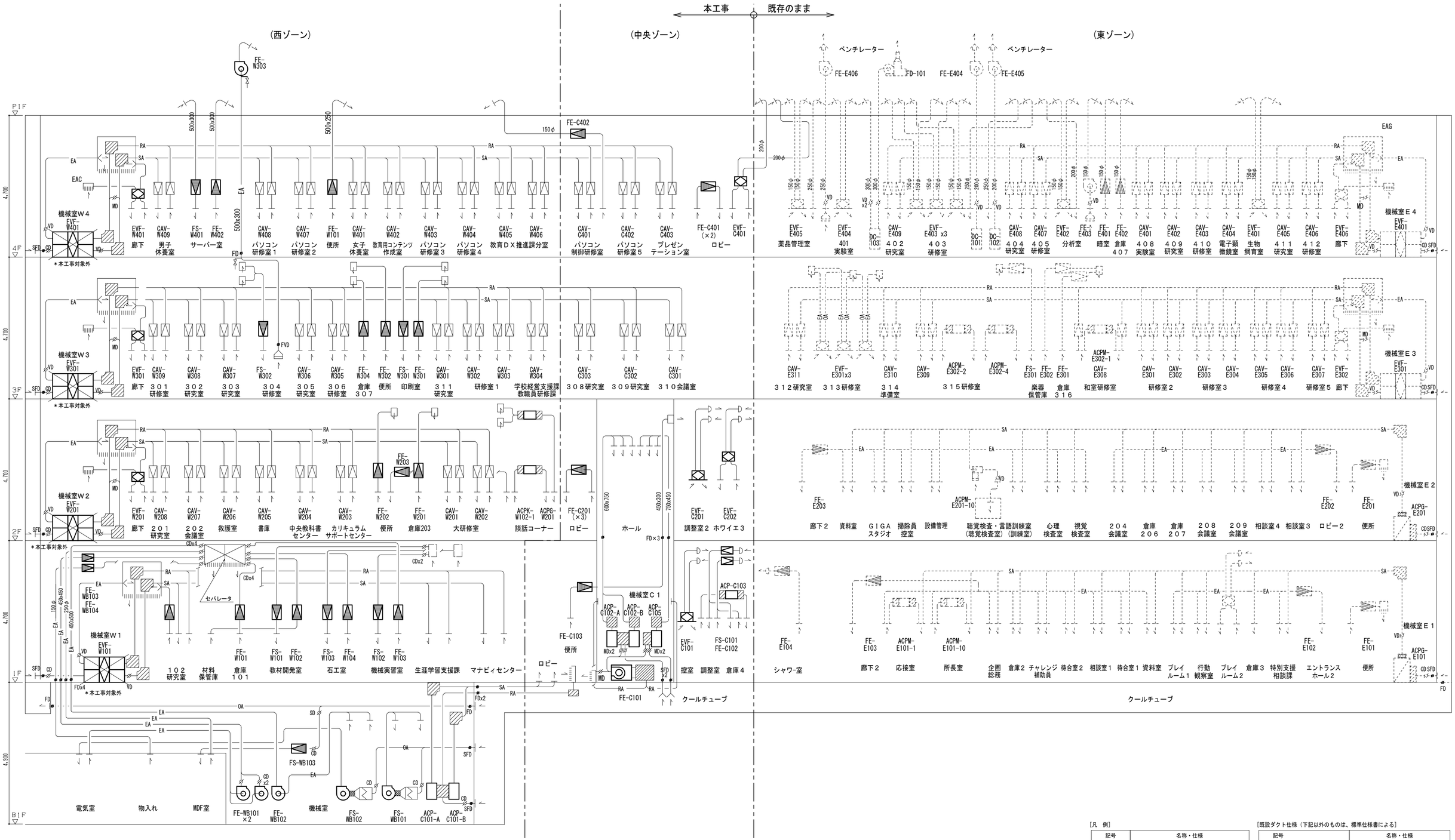
徳島県県土整備部営繕課	工事名 Ｒ７営繕 総合教育センター 板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-08	有限会社 岡設備設計 建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号 岡 宣 義 徳島市南矢三町3丁目5-15 TEL(088)633-2159
設計 R7.2 / 竣工	図面名 空調設備 機器表（７）改修前・後	縮尺 NO SCALE	

機器表（８）（参考）

機器番号	機器名称	機　器　仕　様	付属電動機 電源	付属電動機 容量[kW]	台数	据付位置	備　考
【残置】							
CAV-	定風量ユニット						
	[系統名]	設定風量 (CMH)					
W201	大研修室Ａ	2100	AC24V	0.3A	1SET	２Ｆ西	
W202	大研修室Ｂ	1200	AC24V	0.3A	1SET	２Ｆ西	
W203	カリキュラムサポートセンター	325	AC24V	0.3A	1SET	２Ｆ西	
W204	中央教科書センター	125	AC24V	0.3A	1SET	２Ｆ西	
W205	書庫	250	AC24V	0.3A	1SET	２Ｆ西	
W206	救護室	75	AC24V	0.3A	1SET	２Ｆ西	
W207	２０２会議室	450	AC24V	0.3A	1SET	２Ｆ西	
W208	２０１研究室	125	AC24V	0.3A	1SET	２Ｆ西	
W301	311研究室	350	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ西	
W302	研修室１Ａ	1250	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ西	
W303	研修室１Ｂ	1500	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ西	
W304	学校経営支援課・教職員研修課	500	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ西	
W305	３０６研究室	600	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ西	
W306	３０５研究室	125	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ西	
W307	３０３研究室	125	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ西	
W308	３０２研究室	125	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ西	
W309	３０１研修室	125	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ西	
W401	女子休憩室	125	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ西	
W402	教育用コンテンツ作成室	500	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ西	
W403	パソコン研修室３	600	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ西	
W404	パソコン研修室４	945	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ西	
W405	教育ＤＸ推進課分室Ａ	125	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ西	
W406	教育ＤＸ推進課分室Ｂ	375	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ西	
W407	パソコン研修室２	850	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ西	
W408	パソコン研修室１	600	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ西	
W409	男子休養室	125	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ西	
C301	３１０会議室	450	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ中央	
C302	３０９研究室	200	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ中央	
C303	３３０８研究室	200	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ中央	
C401	パソコン制御研修室	125	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ中央	
C402	パソコン研修室５	650	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ中央	
C403	プレゼンテーション室	650	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ中央	
E301	研修室２Ａ	800	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E302	研修室２Ｂ	350	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E303	研修室３Ａ	800	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E304	研修室３Ｂ	350	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E305	研修室４Ａ	800	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E306	研修室４Ｂ	350	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E307	研修室５	600	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E308	和室研修室	250	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E309	３１５研修室	600	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E310	３１４研修室	125	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E311	３１３研修室	125	AC24V	0.3A	1SET	３Ｆ東	
E401	４０８実験室	125	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ東	
E402	４０９研究室	125	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ東	
E403	４１０研修室	600	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ東	
E404	電子顕微鏡室	100	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ東	
E405	４１１研究室	125	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ東	
E406	４１２研修室	600	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ東	
E407	４０５研修室	600	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ東	
E408	４０４研究室	125	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ東	
E409	４０２研究室	125	AC24V	0.3A	1SET	４Ｆ東	

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	有限会社 岡 設備設計	
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　機器表（８）（参考）	縮尺 NO SCALE	建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義 徳島市南矢三町3丁目5-15 TEL(088)633-2159	

改修前



空調設備　ダクト系統図　改修前　S=NON

【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器（本工事対象）を撤去する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．各機器の更新に伴うダクト類は、原則としてたわみ継手までを改修範囲に見込むものとする。
4．本工事において、MDは更新対象とする。

［凡　例］

記号	名称・仕様
	空調用換気扇
	全熱交換ユニット（回転型）
	給・排気送風機（天吊り）
	給気ファン・排気ファン（床置き）
	定風量ユニット

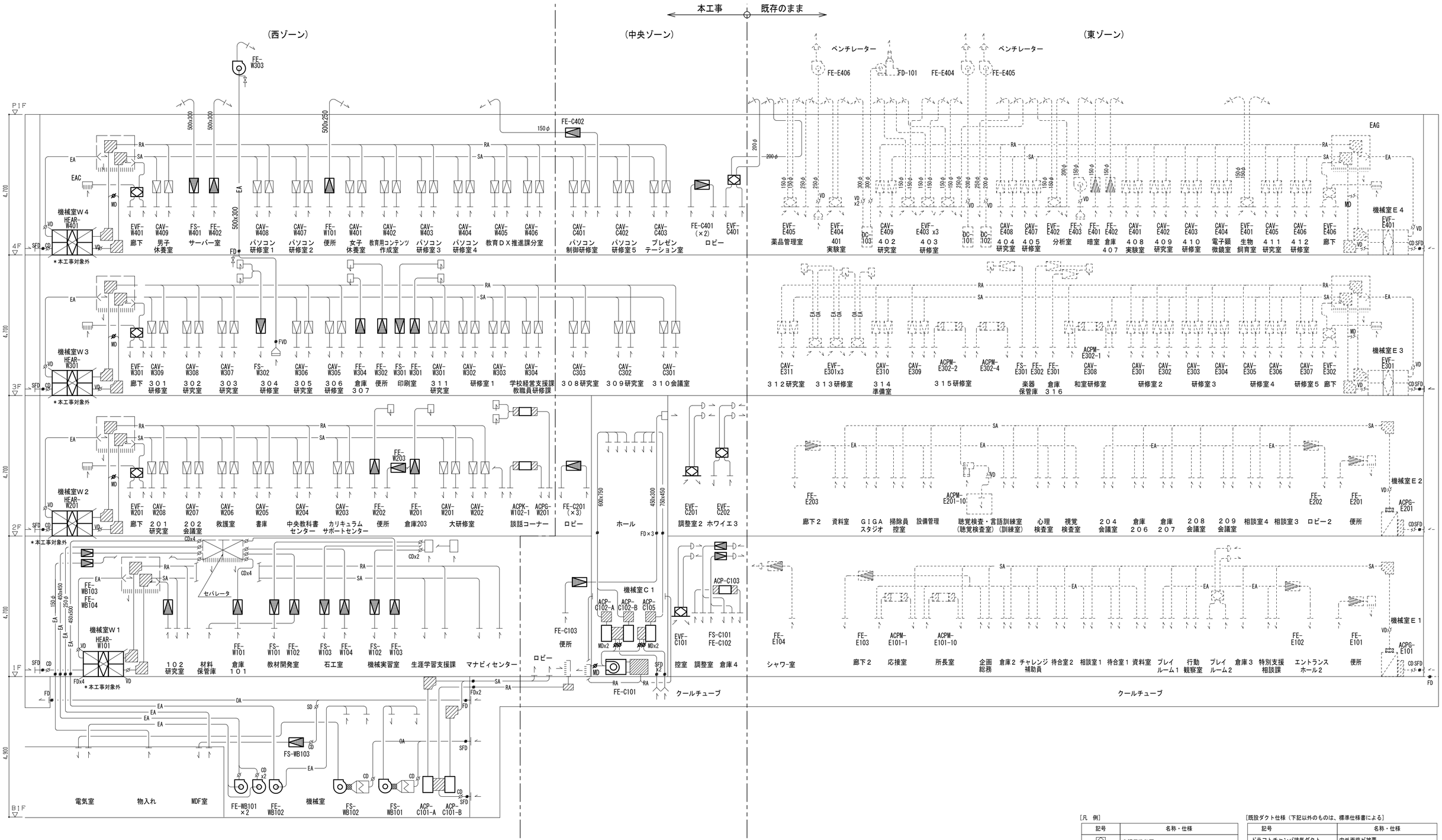
［既設ダクト仕様（下記以外のものは、標準仕様書による］

記号	名称・仕様
ドラフトチャンバ排気ダクト（FE-E404、E405、FE-101系統）	内外面塩ビ被覆 ダンパ：ステンレス製
薬品管理室、分析室排気ダクト（FE-E403、E406系統）	ステンレス鋼板 ダンパ:ステンレス製
屋外露出ダクト	ステンレス鋼板

徳島県県土整備部営繕課	工事名	R７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-10
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　ダクト系統図　改修前	縮尺	NON

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修後



空調設備　ダクト系統図　改修後　S=NON

【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器（本工事対象）を更新・増設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．各機器の更新に伴うダクト類は、原則としてたわみ継手までを改修範囲に見込むものとする。
4．本工事において、MDは更新対象とする。

［凡　例］

記号	名称・仕様
	空調用換気扇
	全熱交換ユニット（回転型）
	給・排気送風機（天吊り）
	給気ファン・排気ファン（床置き）
	定風量ユニット

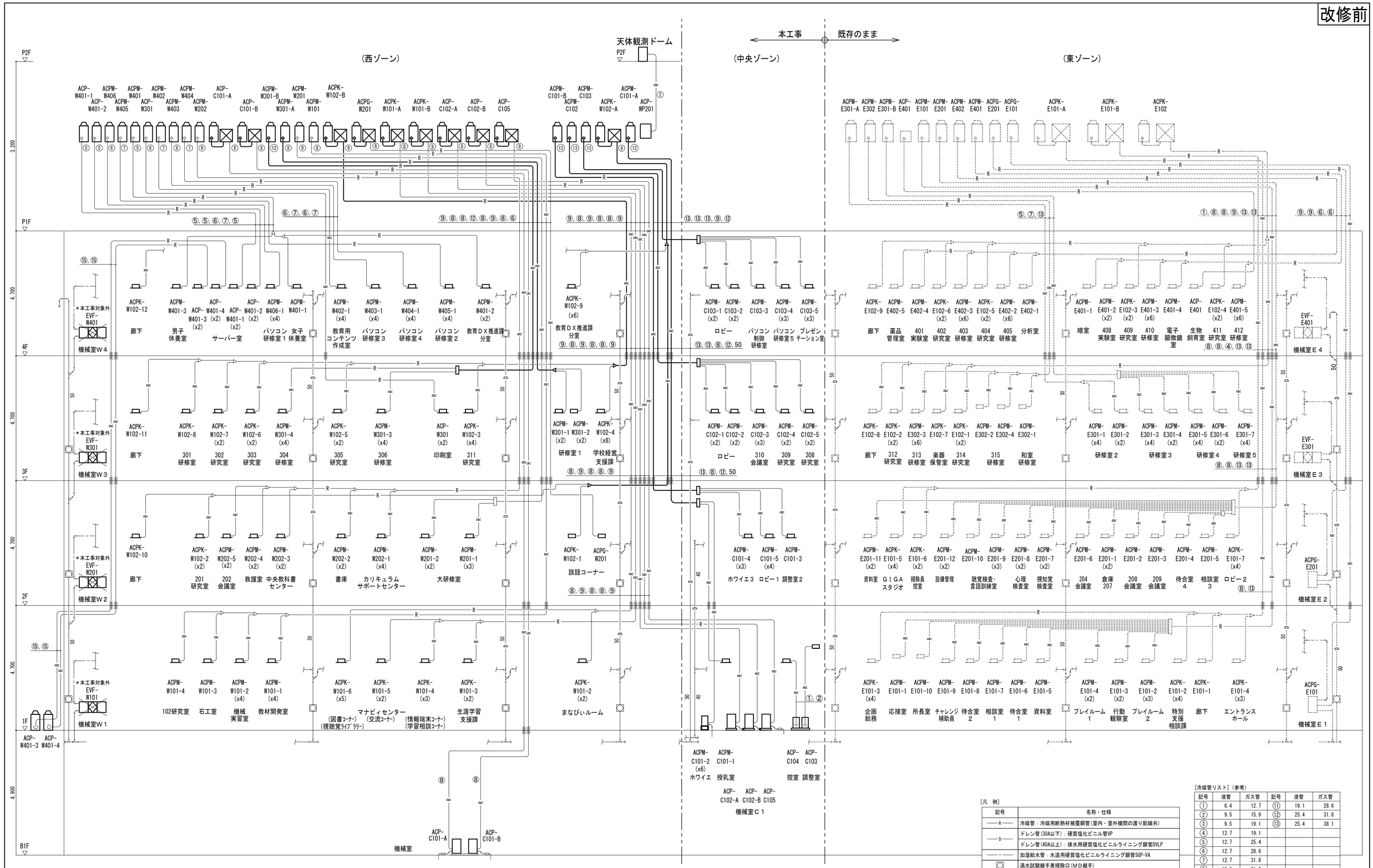
［既設ダクト仕様（下記以外のものは、標準仕様書による］

記号	名称・仕様
ドラフトチャンバ排気ダクト（FE-E404、E405、FE-101系統）	内外面塩ビ被覆 ダンパ：ステンレス製
薬品管理室、分析室排気ダクト（FE-E403、E406系統）	ステンレス鋼板 ダンパ:ステンレス製
屋外露出ダクト	ステンレス鋼板

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-11
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　ダクト系統図　改修後	縮尺	NON

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前



空調設備　配管系統図　改修前　S=NON

【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器（本工事対象）および配管類を撤去する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。

[凡　例]

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管(室内・室外機間の渡り配線共)
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
——-———	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
◯	満水試験継手兼排除口(ＭＤ継手)
▭	分流コントローラー
~~	冷媒管防火区画貫通処理部

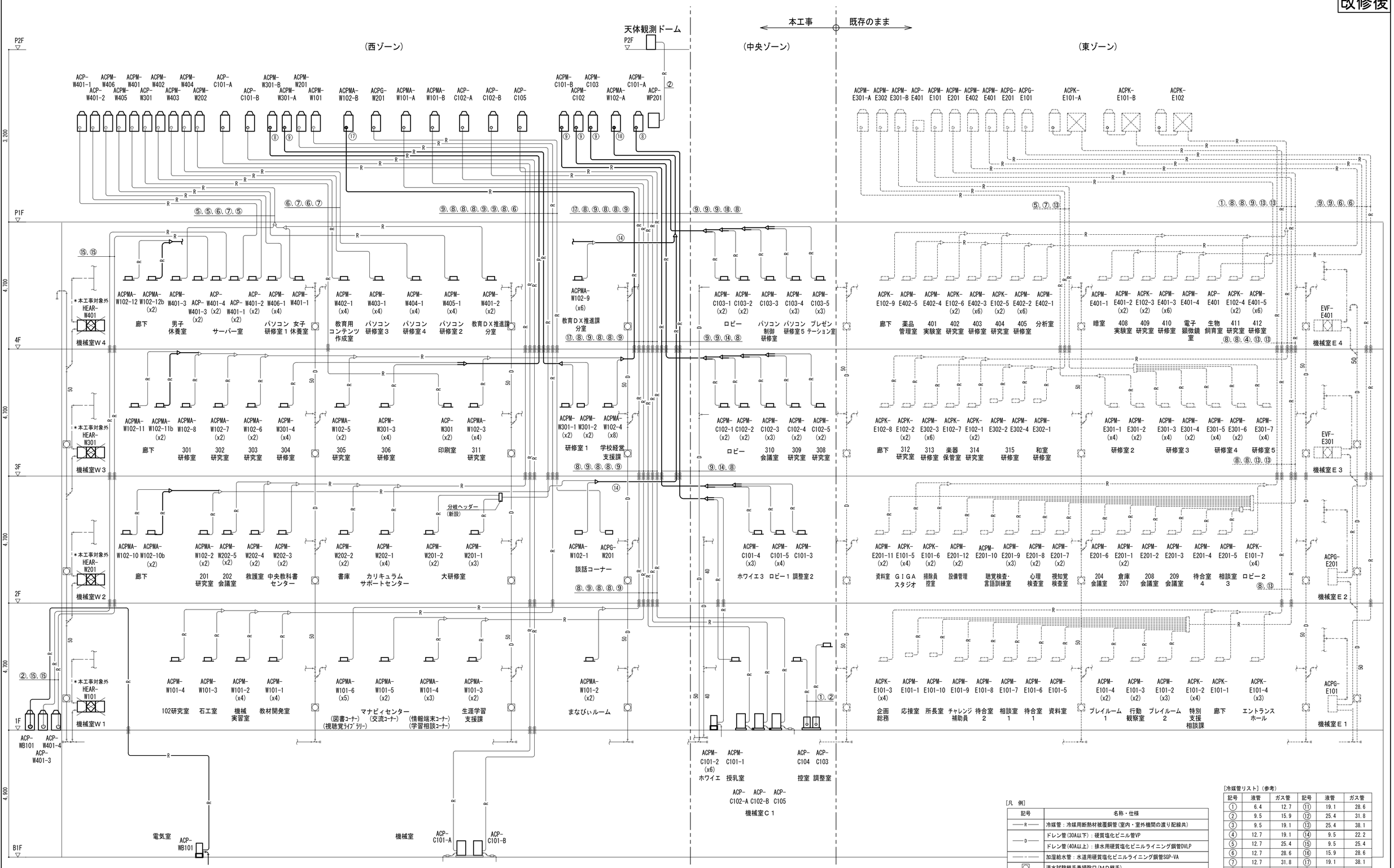
[冷媒管リスト]（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1			
⑤	12.7	25.4			
⑥	12.7	28.6			
⑦	12.7	31.8			
⑧	15.9	31.8			
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

徳島県県土整備部営繕課	設計 R7.2	竣工	工事名 Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-12
			図面名 空調設備　配管系統図　改修前	縮尺 NON

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修後



空調設備　配管系統図　改修後　S=NON

【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器（本工事対象）および配管類を更新・増設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。

［凡　例］

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管(室内・室外機間の渡り配線共)
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
——— - - ———	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
◎	満水試験継手兼排除口(ＭＤ継手)
～～～	冷媒管防火区画貫通処理部

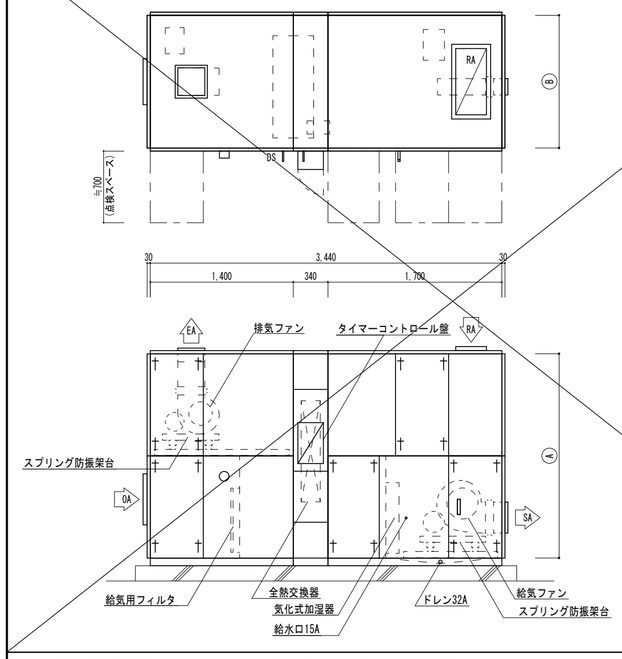
［冷媒管リスト］（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

徳島県県土整備部営繕課	設計 R7.2	竣工	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-13
			図面名	空調設備　配管系統図　改修後	縮尺 NON

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

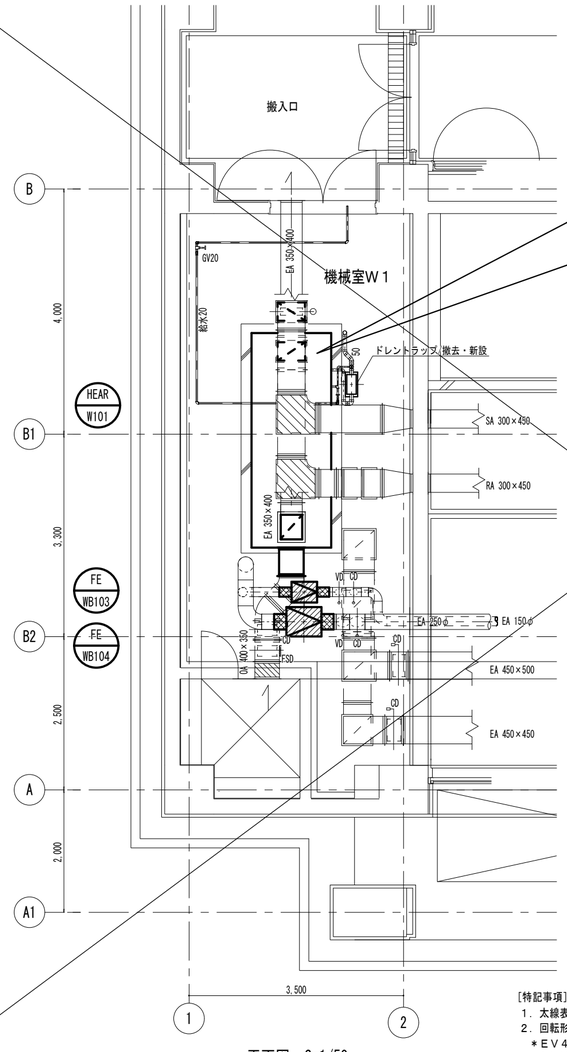
【新設】回転型全熱交換器（HEAR）姿図（参考）　S=NON　＊本工事対象外



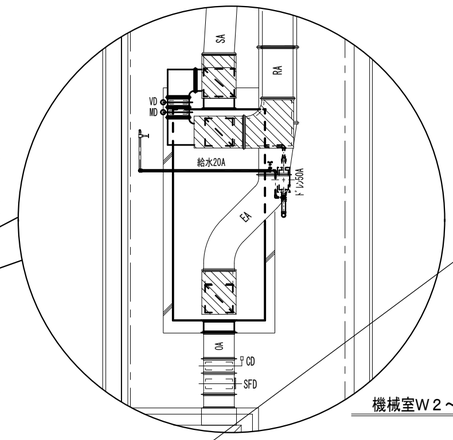
機器番号	Ⓐ	Ⓑ
HEAR-W101	2,000	1,300
HEAR-W201	2,000	1,300
HEAR-W301	2,200	1,500
HEAR-W401	2,200	1,500

［特記事項］
1．回転形全熱交換器は、分割による搬入とし、現地にて組立てとする。
＊ＥＶ４扉開口寸法：1,600×2,560H
＊各機械室Ｗ１～Ｗ４扉開口寸法：1,700×2,100H

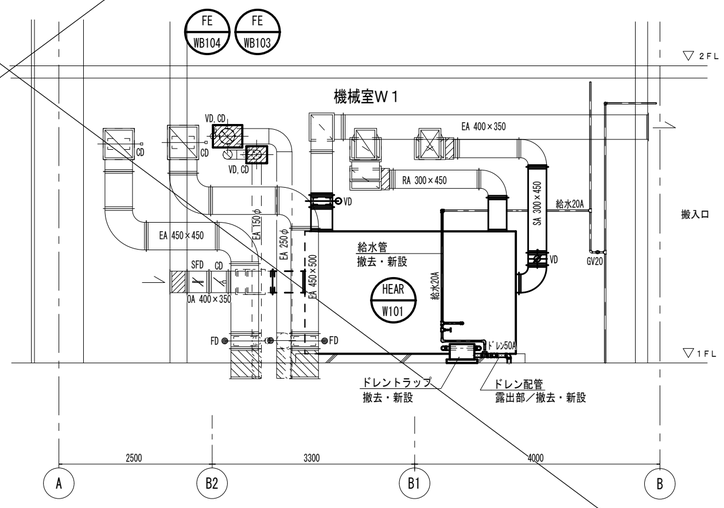
機械室Ｗ１廻り詳細図（参考）　S=1/50　＊本工事対象外



平面図　S=1/50



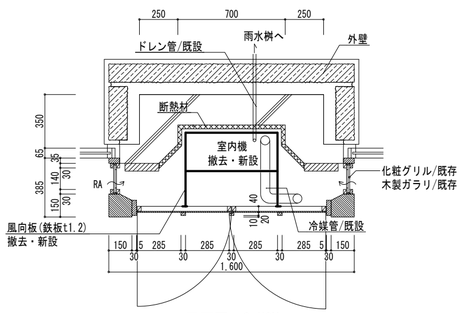
機械室Ｗ２～Ｗ４廻り　S=1/50



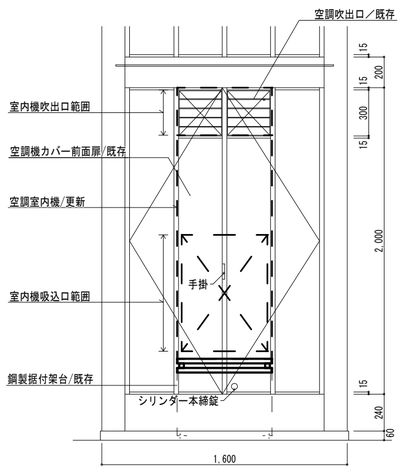
側面図　S=1/50

［特記事項］
1．太線表示のダクト類は取外し・再取付とし、配管類は撤去・新設とする。
2．回転形全熱交換器は、分割による搬入・搬出とし、現地にて組立て・解体するものとする。
＊ＥＶ４扉開口寸法：1,600×2,560H
＊各機械室Ｗ１～Ｗ４扉開口寸法：1,700×2,100H
3．ＭＤは撤去・新設とし、配線等の接続は別途電気工事。（ＨＥＡＲのバイパスダンパー（ＭＤ×４）は機器付属品。）
4．ダクト・配管径は、各階平面図を参照のこと。

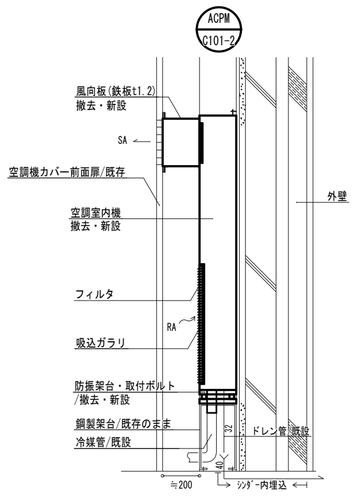
空調機据付要領図（中央ゾーン１階ホワイエ）（参考）　S=NON



平面図　S=NON

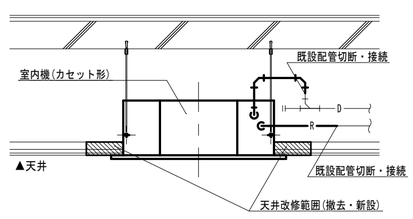


正面図　S=NON



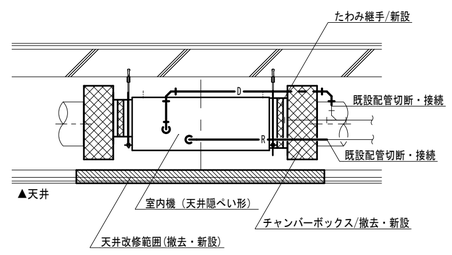
側面図　S=NON

室内機据付要領図１（参考）　S=NON



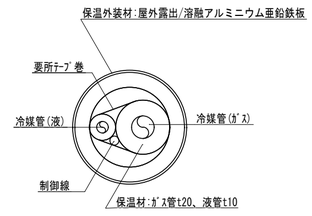
［特記事項］
1．各機器の更新に伴う配管類は、接続部より約1.0m程度を改修範囲とする。
2．室内機撤去・新設に伴う天井改修範囲は機器周囲0.5m程度とする。

室内機据付要領図２（参考）　S=NON

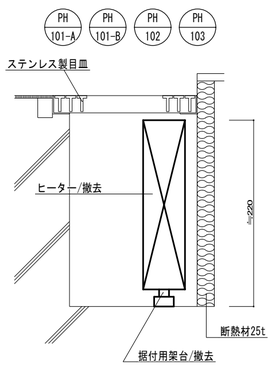


［特記事項］
1．各機器の更新に伴うダクト類は、原則としてたわみ継手までを改修範囲とする。
2．室内機撤去・新設に伴う天井改修範囲は機器周囲0.5m程度とする。

冷媒管仕様図（参考）　S=NON



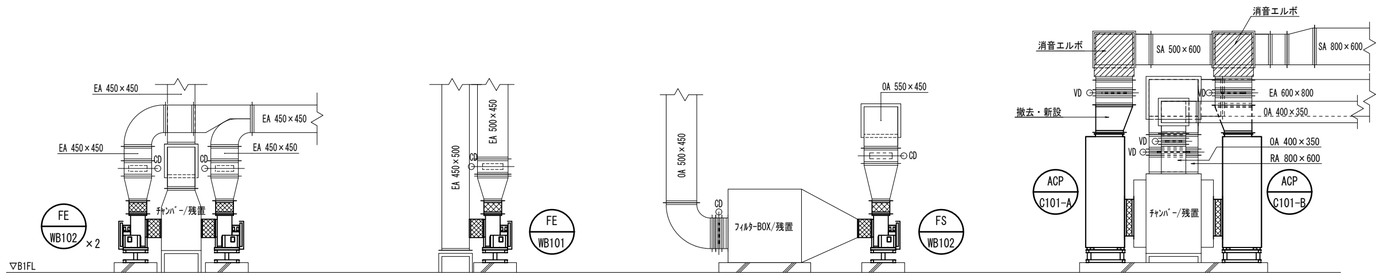
【撤去】電気暖房機据付要領図（参考）　S=NON



徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-14
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　据付要領図（参考）	縮尺 NO SCALE・1/50

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

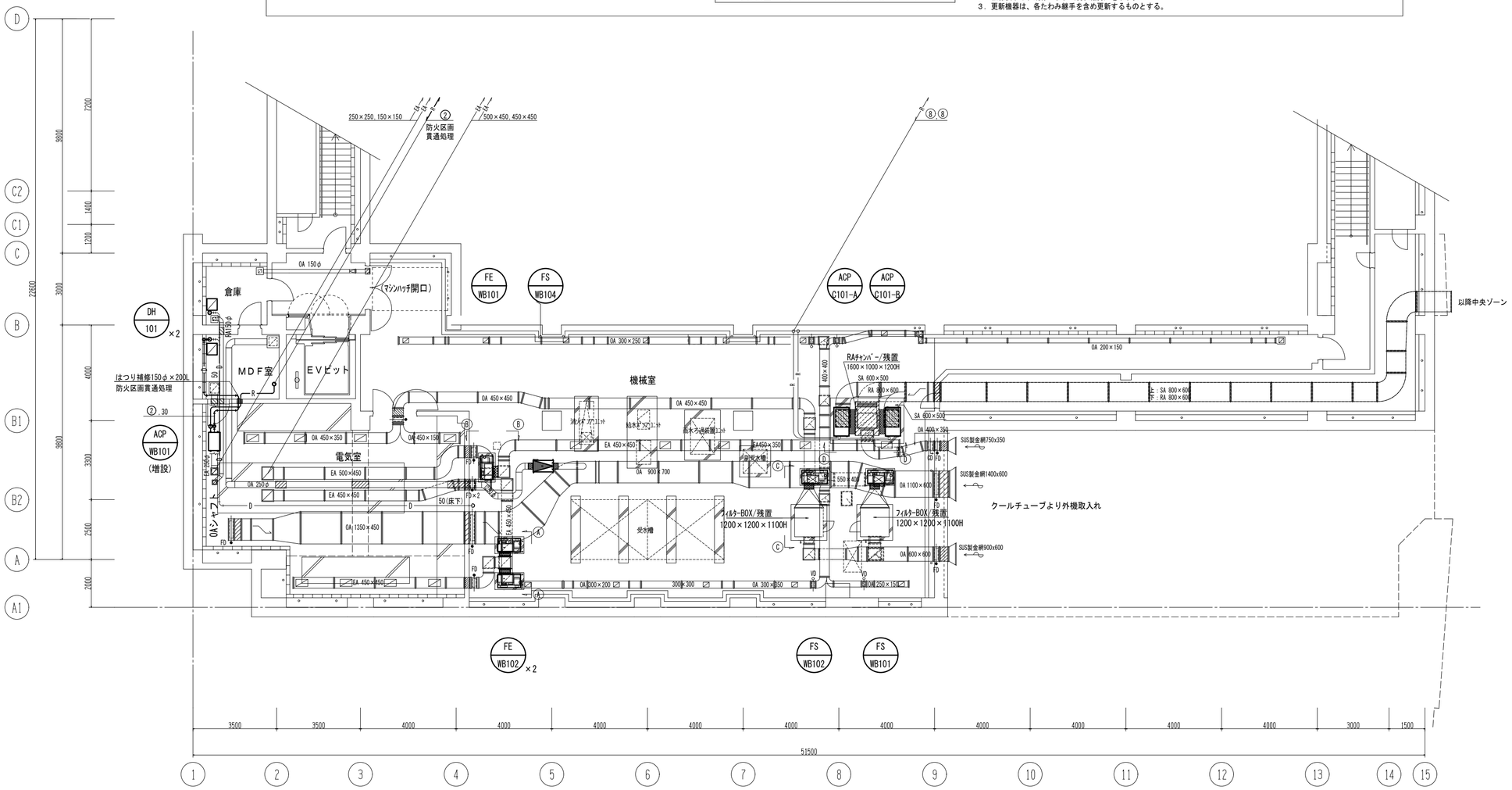
改修前・後



A－A矢視図　B－B矢視図　C－C矢視図　D－D矢視図

矢視図（参考）　改修前・後　S=1/50

【特記事項】
1．太線表示の空調および換気機器(本工事対象)を更新する。(防振架台共)
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．更新機器は、各たわみ継手を含め更新するものとする。



【既設制気口リスト】（残置）

MDF室			
HS-	350×300		2
OA, EA-	800	m³/h	
物入れ			
HS-	150×150		2
OA, EA-	100	m³/h	
電気室			
HS-	500×300		8
OA, EA-	1,125	m³/h	
電気室			
HS-	450×300		5
EA-	1,000	m³/h	
HS-	250×200		11
OA, EA-	400	m³/h	
HS-	200×200		2
OA, EA-	300	m³/h	
HS-	150×150		1
OA, EA-	100	m³/h	

空調設備　地下1階平面図(西)　改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の空調および換気機器(本工事対象)を更新する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．更新機器類は、各たわみ継手を含め更新するものとする。

[凡　例]

記号	名称・仕様
—R—	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
—D—	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
	天井点検口450×450
	天井撤去・復旧範囲を示す

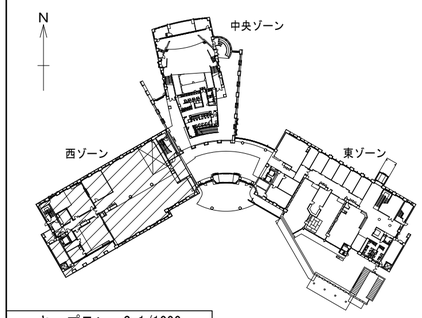
[冷媒管リスト]（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	44.5
⑧	15.9	31.8			
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

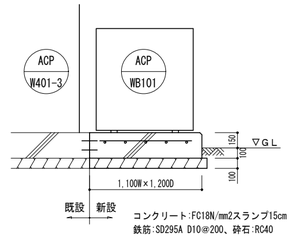
徳島県県土整備部営繕課	工事名	R７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-15
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　地下１階平面図（西）改修前・後	縮尺	NO SCALE

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

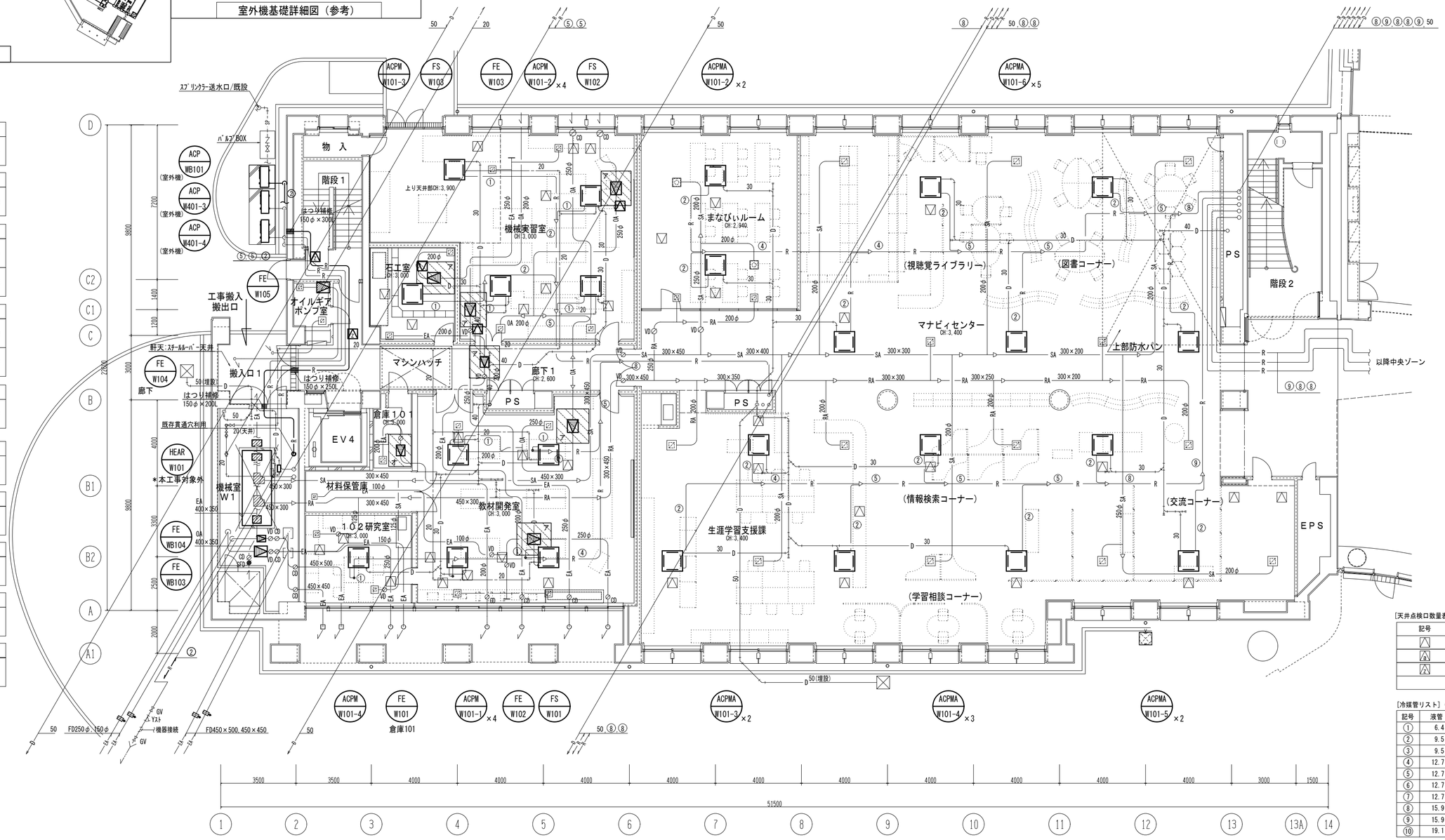
改修前・後



キープラン　S=1/1000



室外機基礎詳細図（参考）



【既設制気口リスト】（残置）

準備室			
HS-	150x150		2
SA, RA-	125	m^3/h	
教材開発室			
HS-	200x200		4
OA, EA-	300	m^3/h	
事務室(生涯学習),情報ｾﾝﾀｰ			
PE-	#20		7
SA-	300	m^3/h	
PE-	#20		6
RA-	350	m^3/h	
グループ視聴覚室			
PE-	#15		4
SA-	250	m^3/h	
HS-	200x200		2
RA-	250	m^3/h	
機械実習室			
HS-	200x200		2
OA, EA-	300	m^3/h	
石工室			
HS-	200x200		2
OA, EA-	200	m^3/h	
倉庫1			
HS-	100x100		1
EA-	100	m^3/h	
材料庫			
HS-	100x100		1
EA-	50	m^3/h	
オイルギアポンプ室			
HS-	150x150		1
EA-	70	m^3/h	
湯沸室			
HS-	150x150		1
EA-	100	m^3/h	

[天井点検口数量表]

記号	種別	数量
△	450角　撤去・新設	3
△a	600角　撤去・新設	-
△2	450角　増設	2

[冷媒管リスト]（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

[凡　例]

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
————	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
△	天井点検口450角（a/600角、g/ｶﾞﾗﾘ付、z/450角増設を示す）
	天井撤去・復旧範囲を示す

[天井凡例]

記号	仕　上	下地
ア	岩綿吸音板 t12	LGS+GB t12.5
イ	岩綿吸音板 t12　EP-1	LGS+GB t12.5
ウ	石膏ボードJ t12.5　EP-1	LGS+GB t12.5
エ	石膏ボード t12.5　EP-1	LGS
オ	化粧石膏ボード t9.5	LGS
カ	化粧プリント石膏ボード t9.5	LGS

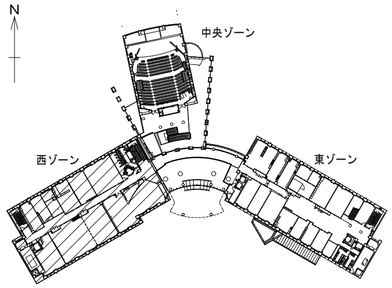
空調設備　１階平面図（西）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器および配管類（本工事対象）を更新・増設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．天井改修範囲内の既設天井点検口は、撤去・新設とする。
4．天井改修範囲内の制気口は、取外し・再取付とする。

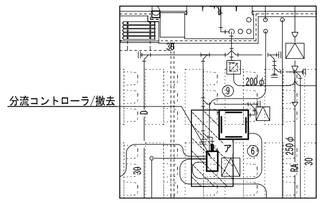
徳島県県土整備部営繕課	工事名	R７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-16
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　１階平面図（西）改修前・後	縮尺 1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

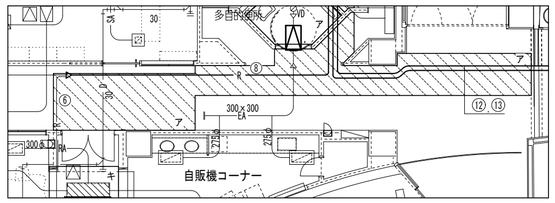
改修前・後



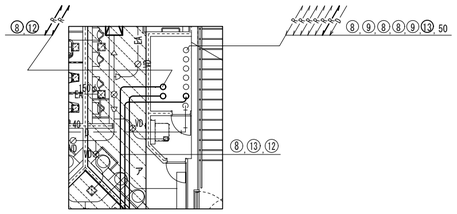
キープラン　S=1/1000



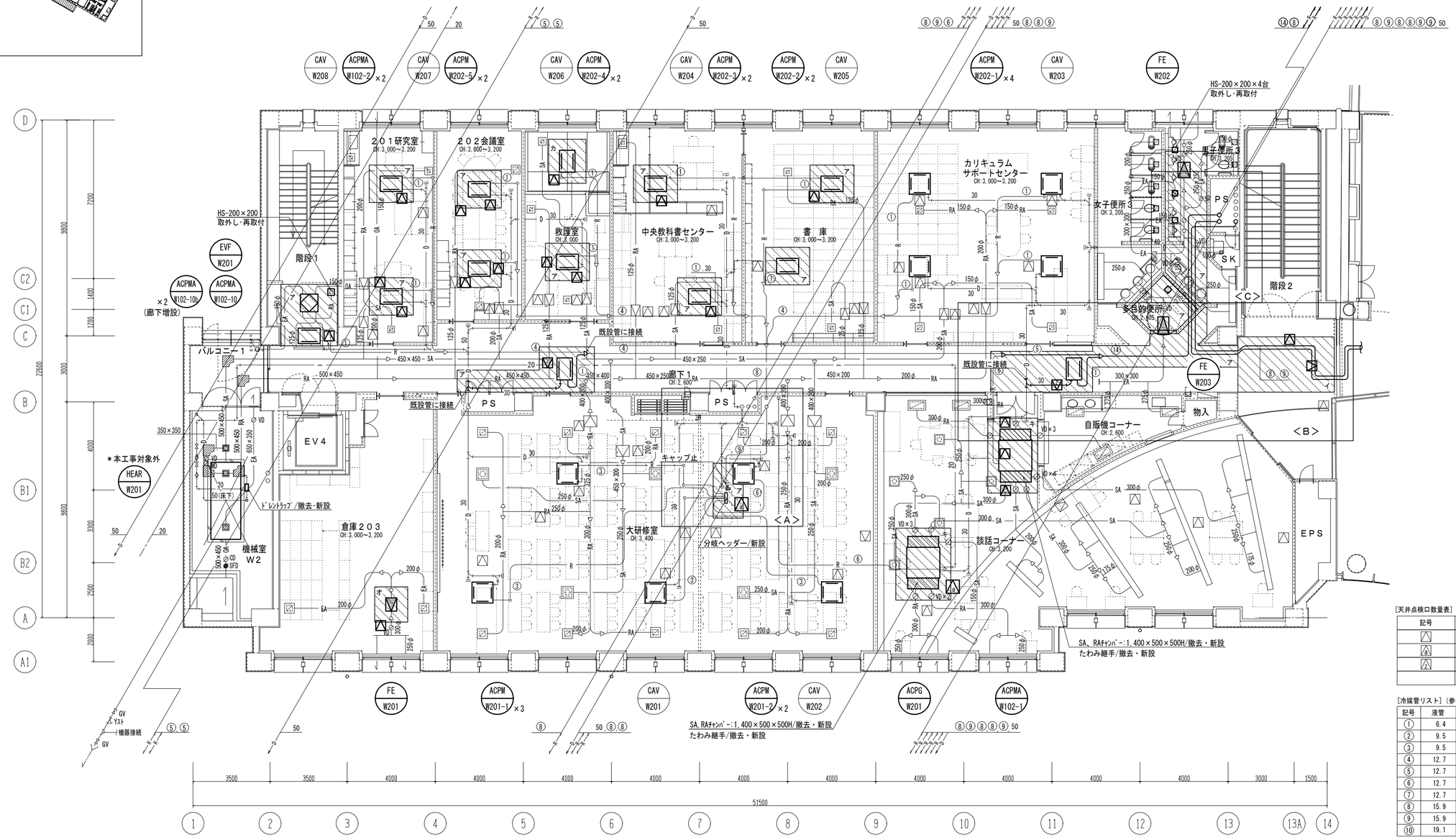
＜A＞部改修前　S=1/100



＜B＞部改修前　S=1/100



＜C＞部改修前　S=1/100



【既設制気ロリスト】（残置）

倉庫203		
HS- 250x250		2
EA- 450	m^3/h	

大研修室		
PE- #25		3
SA- 700	m^3/h	
HS- 250x250		6
RA- 350	m^3/h	
PE- #25		2
SA- 600	m^3/h	
HS- 250x250		4
RA- 300	m^3/h	

談話コーナー		
BL-D- 7,000L		1
SA- 1,470	m^3/h	
BL-D- 5,000L		1
SA- 1,050	m^3/h	
BL-D- 2,000L		1
SA- 420	m^3/h	
BL-D- 1,000L		1
SA- 210	m^3/h	
E2-#20		3
OA, SA- 390	m^3/h	
BL-D- 6,000L		1
OA- 1,220	m^3/h	
HS- 650x300		5
RA- 1,220	m^3/h	
パス- 1,050	m^3/h	

カリキュラムサポートセンター		
HS- 200x200		4
SA, RA- 163	m^3/h	

書庫		
HS- 150x150		4
SA, RA- 125	m^3/h	

中央教科書センター		
HS- 150x150		2
SA, RA- 125	m^3/h	

救護室		
HS- 150x150		2
SA, RA- 125	m^3/h	

２０２会議室		
HS- 250x250		2
SA, RA- 450	m^3/h	

２０１研究室		
HS- 150x150		2
SA, RA- 125	m^3/h	

男子便所3・女子便所3・多目的便所		
HS-200x200(内4台取外し・再取付)		11
EA- 180	m^3/h	
HS- 100x100		1
EA- 100	m^3/h	
CL#10- 2,000L		2
パス- 1,050	m^3/h	

廊下1		
HS- 200x200（取外し・再取付）		1
RA		
BL-S 1500		1
SA		

[天井点検口数量表]

記号	種別	数量
△	450角　撤去・新設	20
△a	600角　撤去・新設	2
△1	450角　増設	2

[冷媒管リスト]（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

[凡　例]

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
———	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
△	天井点検口450角（a/600角、g/ｶﾞﾗﾘ付、z/450角増設を示す）
	天井撤去・復旧範囲を示す

[天井凡例]

記号	仕　上	下地
ア	岩綿吸音板 t12	LGS+GB t12.5
イ	岩綿吸音板 t12　EP-1	LGS+GB t12.5
ウ	石膏ボードJ t12.5　EP-1	LGS+GB t12.5
エ	石膏ボード t12.5　EP-1	LGS
オ	化粧石膏ボード t9.5	LGS
カ	化粧プリント石膏ボード t9.5	LGS
キ	不燃化粧練付合板 EP-1(A22-80D)	LGS

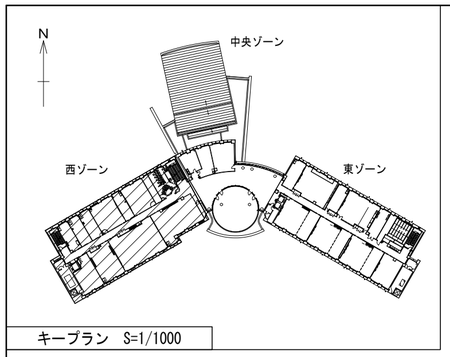
空調設備　２階平面図（西）改修前・後　S=1/100

【特記事項】

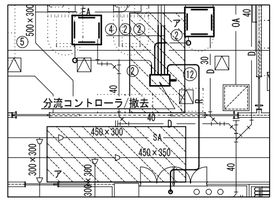
1. 太線表示の空調・換気機器および配管類（本工事対象）を更新・増設する。
2. 細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3. 天井改修範囲内の既設天井点検口は、撤去・新設とする。
4. 天井改修範囲内の制気口は、取外し・再取付とする。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-17	有限会社 岡 設備設計 建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義 徳島市南矢三町3丁目5-15 TEL(088)633-2159
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　２階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/100	

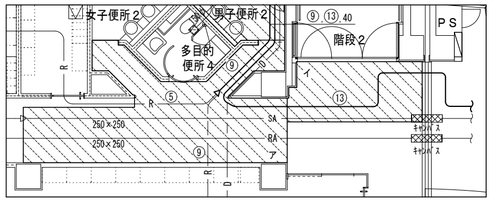
改修前・後



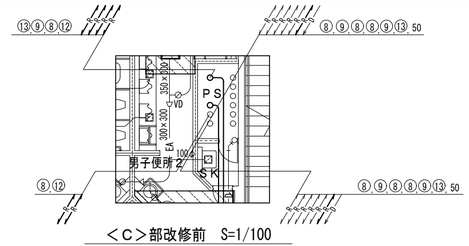
キープラン　S=1/1000



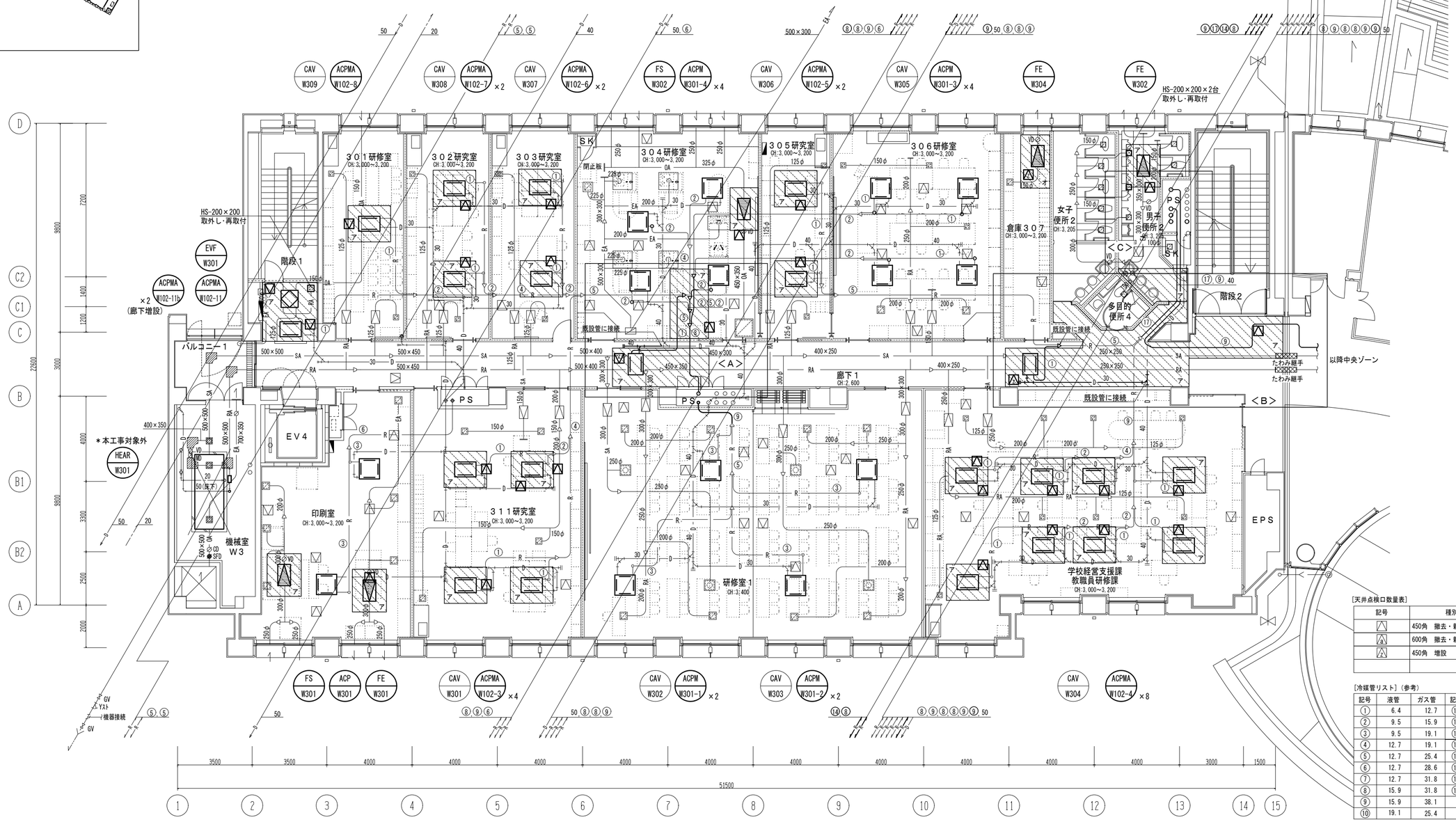
＜A＞部改修前　S=1/100



＜B＞部改修前　S=1/100



＜C＞部改修前　S=1/100



【既設制気口リスト】（残置）

印刷室	
HS-250x250 (内1台取外し・再取付)	6
OA, EA- 450 m^3/h	

311研究室	
HS- 200x200	4
SA, RA- 1175 m^3/h	

研修室1	
PE- #25	2
SA- 625 m^3/h	
HS- 250x250	4
RA- 312 m^3/h	
PE- #25	2
SA- 750 m^3/h	
HS- 250x250	4
RA- 375 m^3/h	

学校経営支援課・教職員研修課	
HS- 150x150	8
SA, RA- 125 m^3/h	

倉庫307	
HS- 200x200	1
EA- 200 m^3/h	

306研修室	
HS- 250x250	3
SA, RA- 300 m^3/h	
HS- 150x150	2
RA- 150 m^3/h	

304研修室	
HS- 750x750	1
OA- 3000 m^3/h	
ステンレス製フード	5
EA- 500 m^3/h	
HS- 300x300	1
EA- 500 m^3/h	

305研究室	
HS- 150x150	2
SA, RA- 125 m^3/h	

303研究室	
HS- 150x150	2
SA, RA- 125 m^3/h	

302研究室	
HS- 150x150	2
SA, RA- 125 m^3/h	

301研修室	
HS- 150x150	2
SA, RA- 125 m^3/h	

男子便所2・女子便所2・多目的便所	
HS-200x200 (内2台取外し・再取付)	11
EA- 145 m^3/h	
HS- 150x150	1
EA- 100 m^3/h	

廊下1	
HS- 200x200 (取外し・再取付)	1
RA	
BL-S 1500	1
SA	

空調設備　3階平面図（西）改修後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器および配管類（本工事対象）を更新・増設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．天井改修範囲内の既設天井点検口は、撤去・新設とする。
4．天井改修範囲内の制気口は、取外し・再取付とする。

[天井点検口数量表]

記号	種別	数量
△	450角　撤去・新設	27
△a	600角　撤去・新設	-
△z	450角　増設	3

[冷媒管リスト]（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

[凡　例]

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
———	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
△	天井点検口450角（a/600角、g/ｶﾞﾗﾘ付、z/450角増設を示す）
	天井撤去・復旧範囲を示す

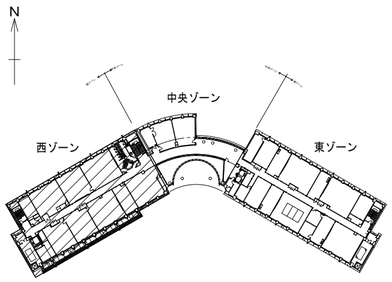
[天井凡例]

記号	仕　上	下地
ア	岩綿吸音板 t12	LGS+GB t12.5
イ	岩綿吸音板 t12　EP－1	LGS+GB t12.5
ウ	石膏ボードJ t12.5　EP－1	LGS+GB t12.5
エ	石膏ボード t12.5　EP－1	LGS
オ	化粧石膏ボード t9.5	LGS
カ	化粧プリント石膏ボード t9.5	LGS

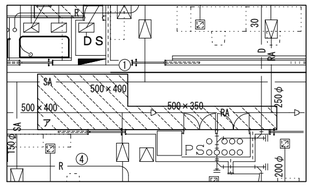
徳島県県土整備部営繕課	工事名	R7営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-18
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　3階平面図（西）改修前・後	縮尺 1/100

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

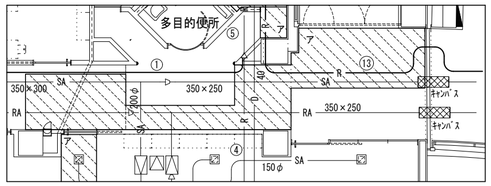
改修前・後



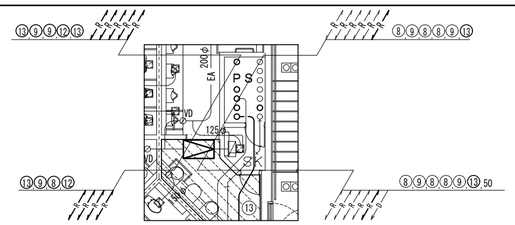
キープラン　S=1/1000



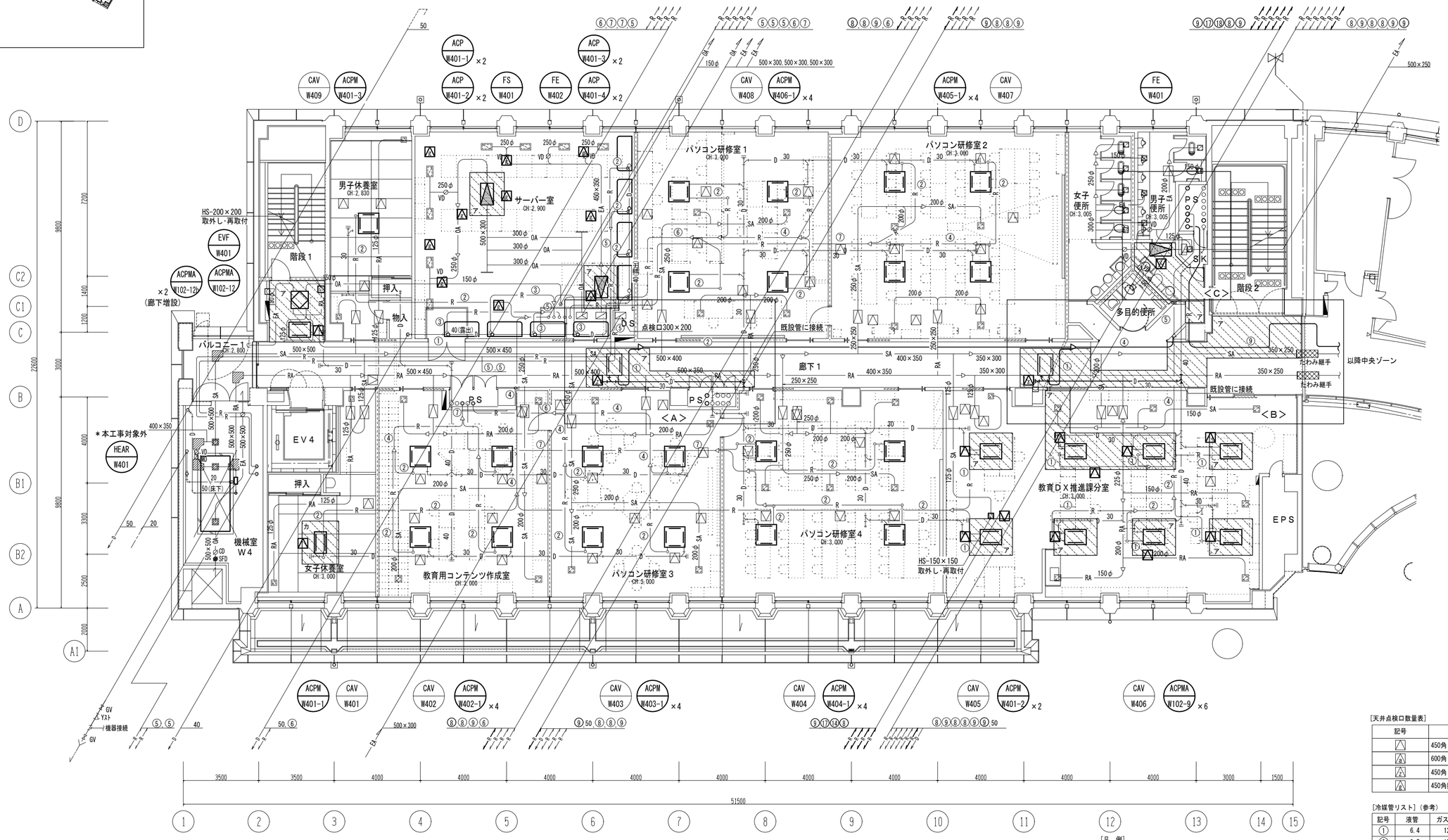
＜A＞部改修前　S=1/100



＜B＞部改修前　S=1/100



＜C＞部改修前　S=1/100



【既設制気ロリスト】（残置）

女子休養室		
HS-	150x150	2
SA, RA-	125 m³/h	
教育用コンテンツ作成室		
HS-	200x200	4
SA, RA-	250 m³/h	
パソコン研修室3		
HS-	200x200	4
SA, RA-	300 m³/h	
パソコン研修室4		
HS-200x200		6
SA, RA-	315 m³/h	
教育ＤＸ推進課分室		
HS-150x150(内１台取外し・再取付)		2
SA, RA-	125 m³/h	
教育ＤＸ推進課分室		
HS-	200x200	6
SA, RA-	187 m³/h	
パソコン研修室２		
HS-	250x250	4
SA, RA-	425 m³/h	
パソコン研修室１		
HS-	200x200	4
SA, RA-	300 m³/h	
サーバー室		
HS-	150x150	8
SA, RA-	125 m³/h	
男子休養室		
HS-	150x150	2
SA, RA-	125 m³/h	
男子便所・女子便所		
HS-	200x200	11
EA-	145 m³/h	
HS-	150x150	1
EA-	100 m³/h	
廊下１		
HS- 200x200(取外し・再取付)		1
RA		
BL-S 1500		1
SA		

[天井点検口数量表]

記号	種別	数量
△	450角　撤去・新設	12
△a	600角　撤去・新設	−
△z	450角　増設	3
△a	450角撤去、ガラリ付新設	10

[冷媒管リスト]（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

[凡　例]

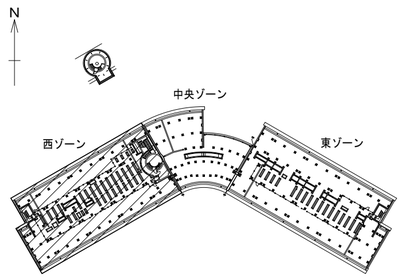
記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
———	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
△	天井点検口450角（a/600角、g/ｶﾞﾗ付、z/450角増設を示す）
▨	天井撤去・復旧範囲を示す

空調設備　４階平面図（西）改修後　S=1/100

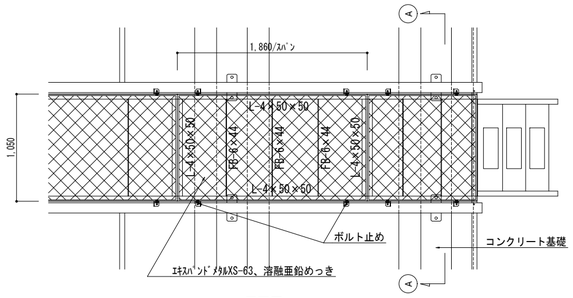
【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器および配管類（本工事対象）を更新・増設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．天井改修範囲内の既設天井点検口は、撤去・新設とする。
4．天井改修範囲内の制気口は、取外し・再取付とする。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-19	有限会社 岡 設備設計
設計 R7.2	竣工	図面名 空調設備　４階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/100	建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
					徳島市南矢三町3丁目5-15 TEL (088) 633-2159

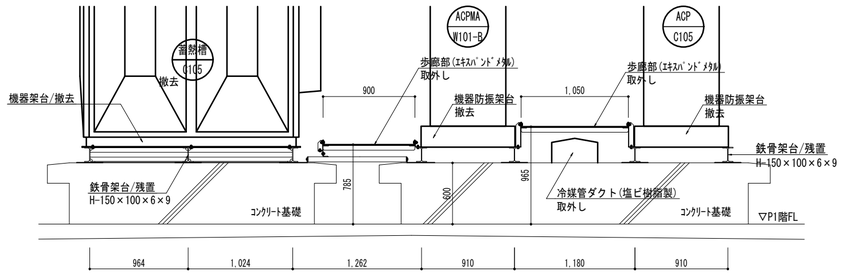
改修前



キープラン　S=1/1000



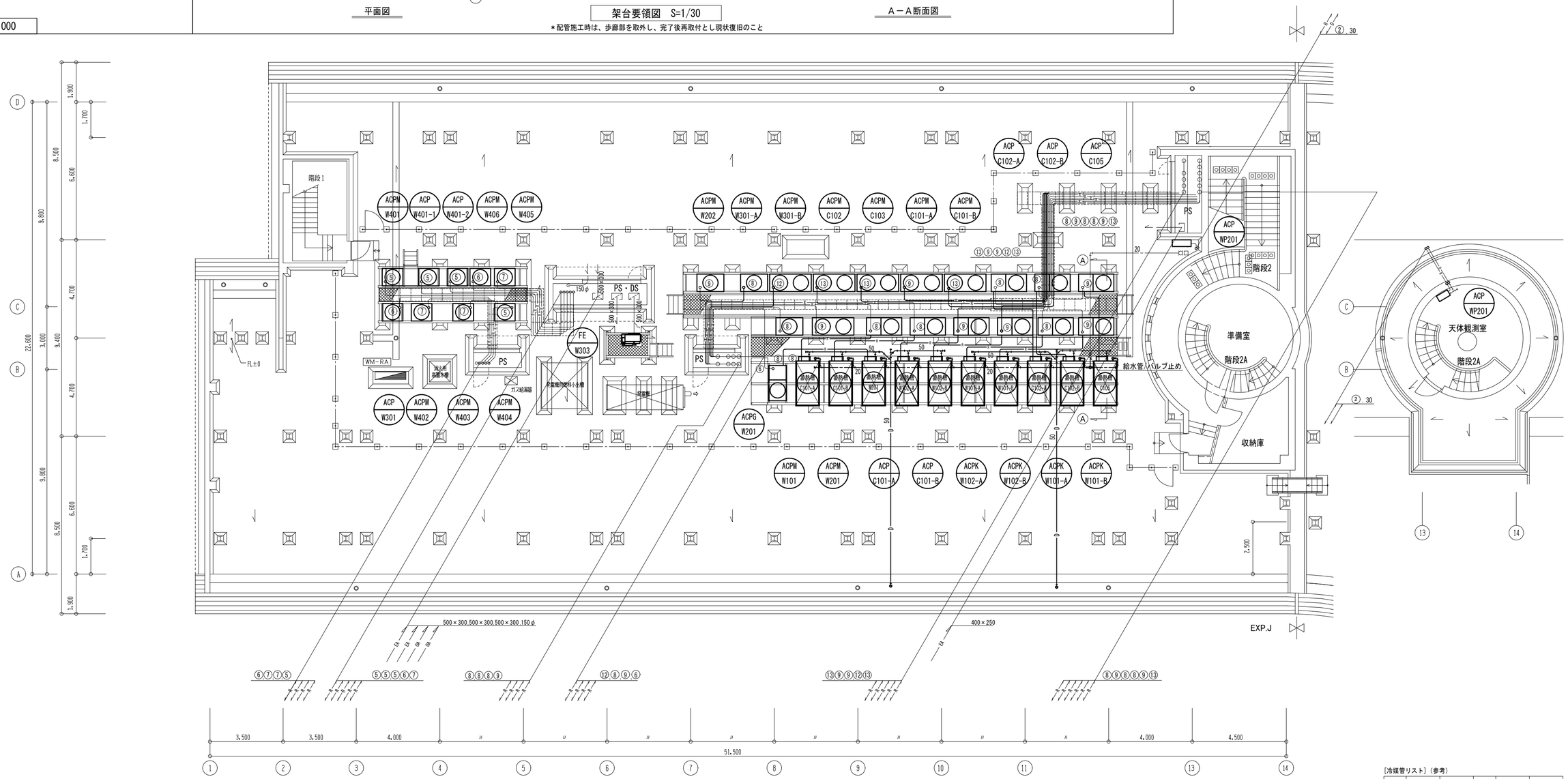
平面図



Ａ－Ａ断面図

架台要領図　S=1/30

＊配管施工時は、歩廊部を取外し、完了後再取付とし現状復旧のこと



空調設備　P1,P2階平面図（西）改修前　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示は、撤去・取外し（本工事対象）を示す。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。

［凡　例］

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
——‐——	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA

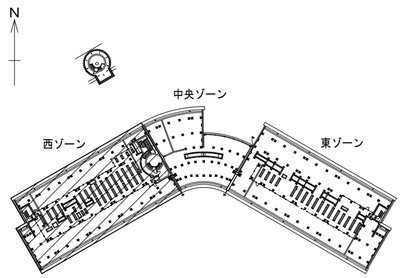
［冷媒管リスト］（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1			
⑤	12.7	25.4			
⑥	12.7	28.6			
⑦	12.7	31.8			
⑧	15.9	31.8			
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

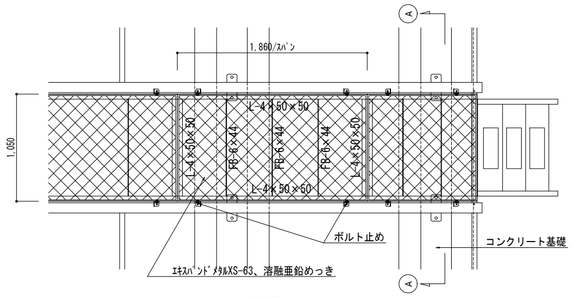
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-20
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　Ｐ１，Ｐ２階平面図（西）改修前	縮尺	1/100

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

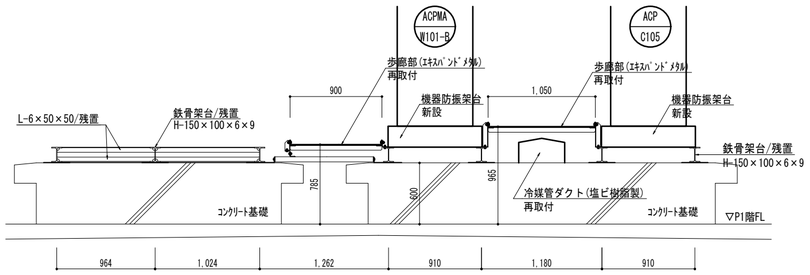
改修後



キープラン　S=1/1000



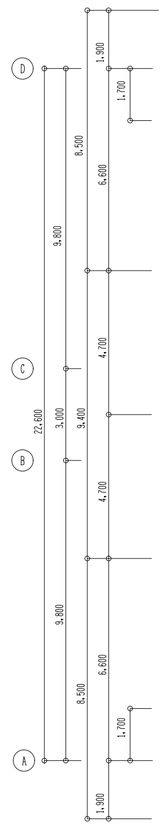
平面図

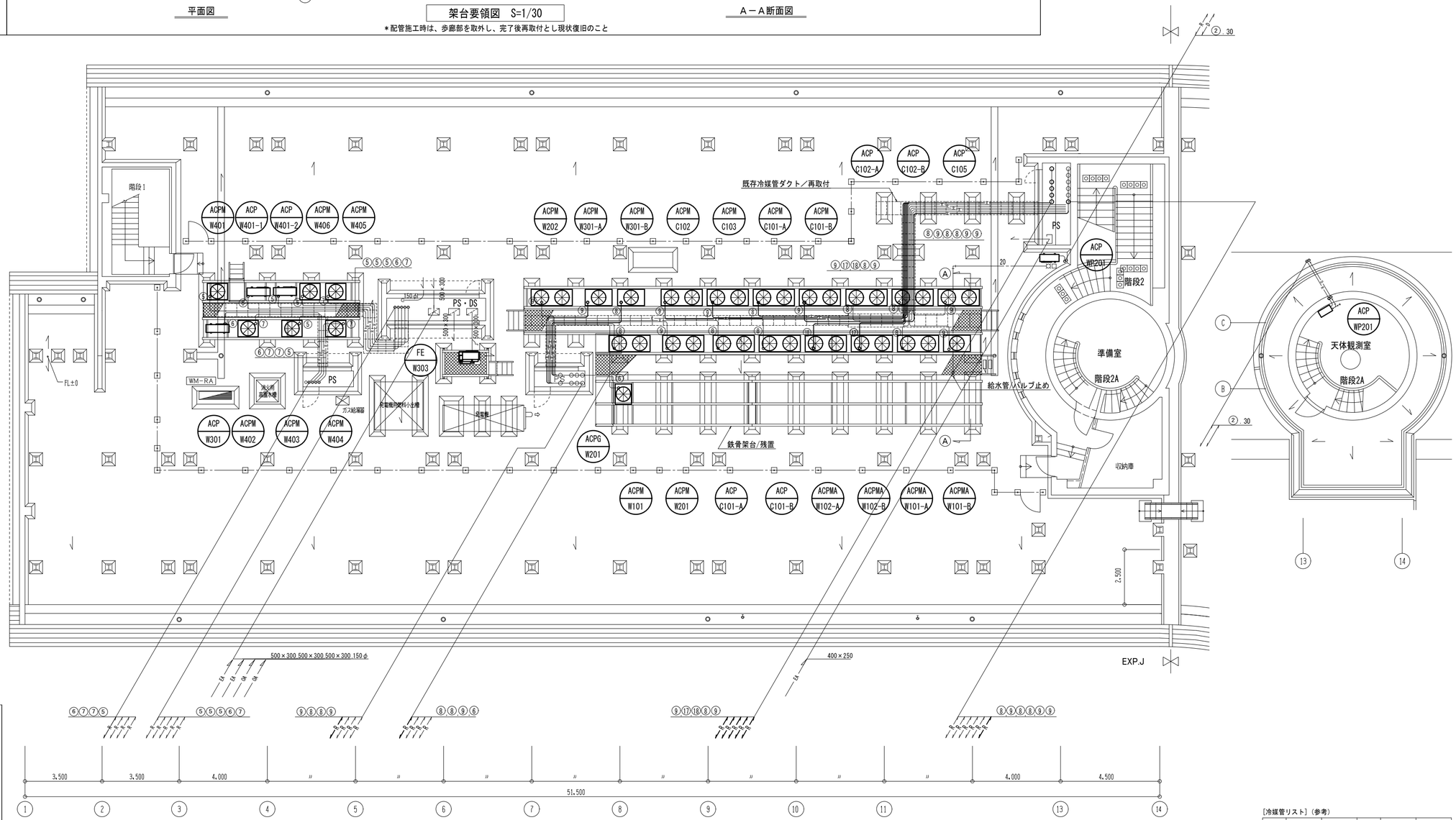


Ａ－Ａ断面図

架台要領図　S=1/30

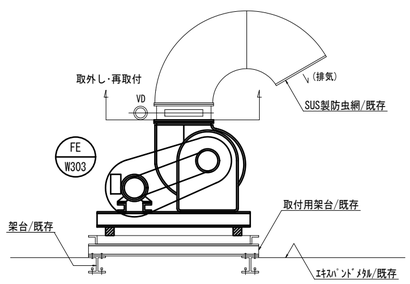
＊配管施工時は、歩廊部を取外し、完了後再取付とし現状復旧のこと





空調設備　P1,P2階平面図（西）改修後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示は、新設・再取付（本工事対象）を示す。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。



屋外設置ファン取付要領図　S=NON

＊本工事では送風機および防振架台を更新する。

［凡　例］

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
——-——	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA

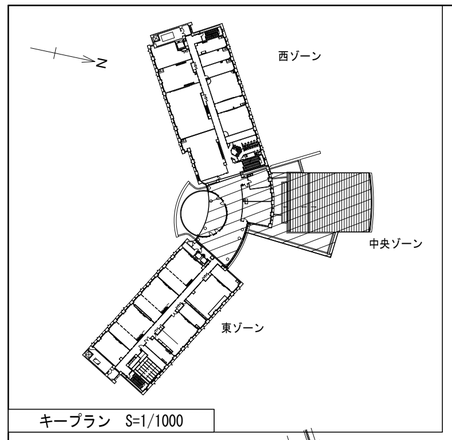
［冷媒管リスト］（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

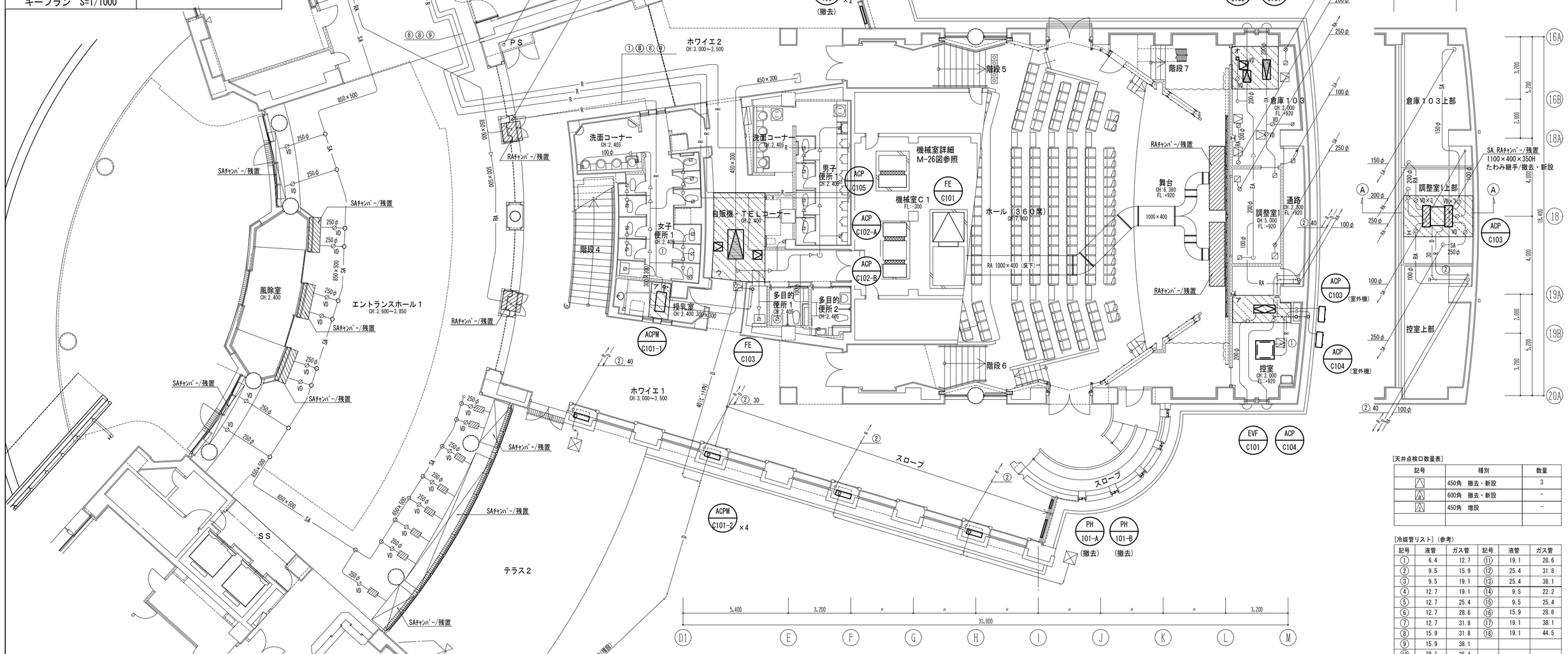
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-21
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　Ｐ１，Ｐ２階平面図（西）改修後	縮尺	1/100

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前・後



キープラン S=1/1000



【既設制気口リスト】(残置)

男子便所1、女子便所			
HS-	150x150		25
EA-	100	m³/h	

倉庫103			
HS-150x150(内1台取外し・再取付)			4
OA, EA-	150	m³/h	
HS-	200x200		4
SA, RA-	200	m³/h	

調整室1			
HS-	200x200		2
OA, EA-	250	m³/h	
HS-	300x300		2
SA, RA-	660	m³/h	

通路			
HS-	150x150		2
SA, RA-	100	m³/h	

[天井点検口数量表]

記号	種別	数量
△	450角 撤去・新設	3
△a	600角 撤去・新設	-
△	450角 増設	-

[冷媒管リスト](参考)

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

[凡 例]

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
————	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
△	天井点検口450角（a/600角、g/ﾀﾞﾗｲ付、z/450角増設を示す）
▨	天井撤去・復旧範囲を示す

[天井凡例]

記号	仕 上	下地
ア	岩綿吸音板 t12	LGS+GB t12.5
イ	岩綿吸音板 t12 EP-1	LGS+GB t12.5
ウ	石膏ボードJ t12.5 EP-1	LGS+GB t12.5
エ	石膏ボード t12.5 EP-1	LGS
オ	化粧石膏ボード t9.5	LGS
カ	化粧プリント石膏ボード t9.5	LGS

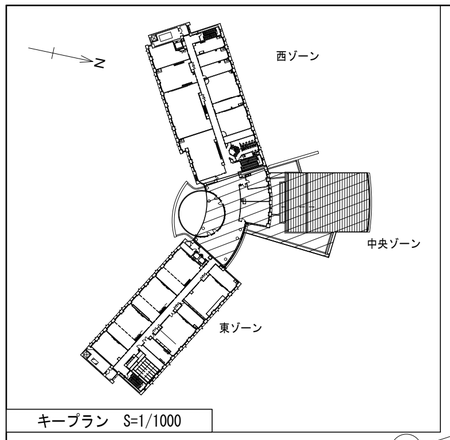
空調設備 1階平面図（中央）改修前・後 S=1/100

【特記事項】
1. 太線表示の空調・換気機器および配管類（本工事対象）を更新・増設する。
2. 細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3. 天井改修範囲内の既設天井点検口は、撤去・新設とする。
4. 天井改修範囲内の制気口は、取外し・再取付とする。

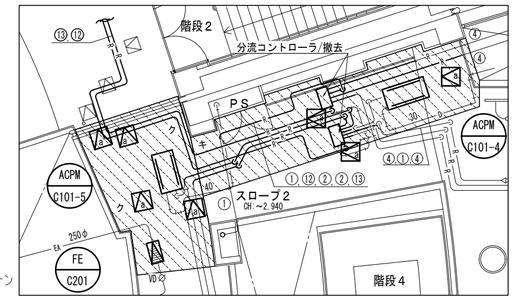
徳島県県土整備部営繕課		工事名	R7営繕 総合教育センター 板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-22
設計	竣工	図面名	空調設備 1階平面図（中央）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1-0492LA号 岡 宣 義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

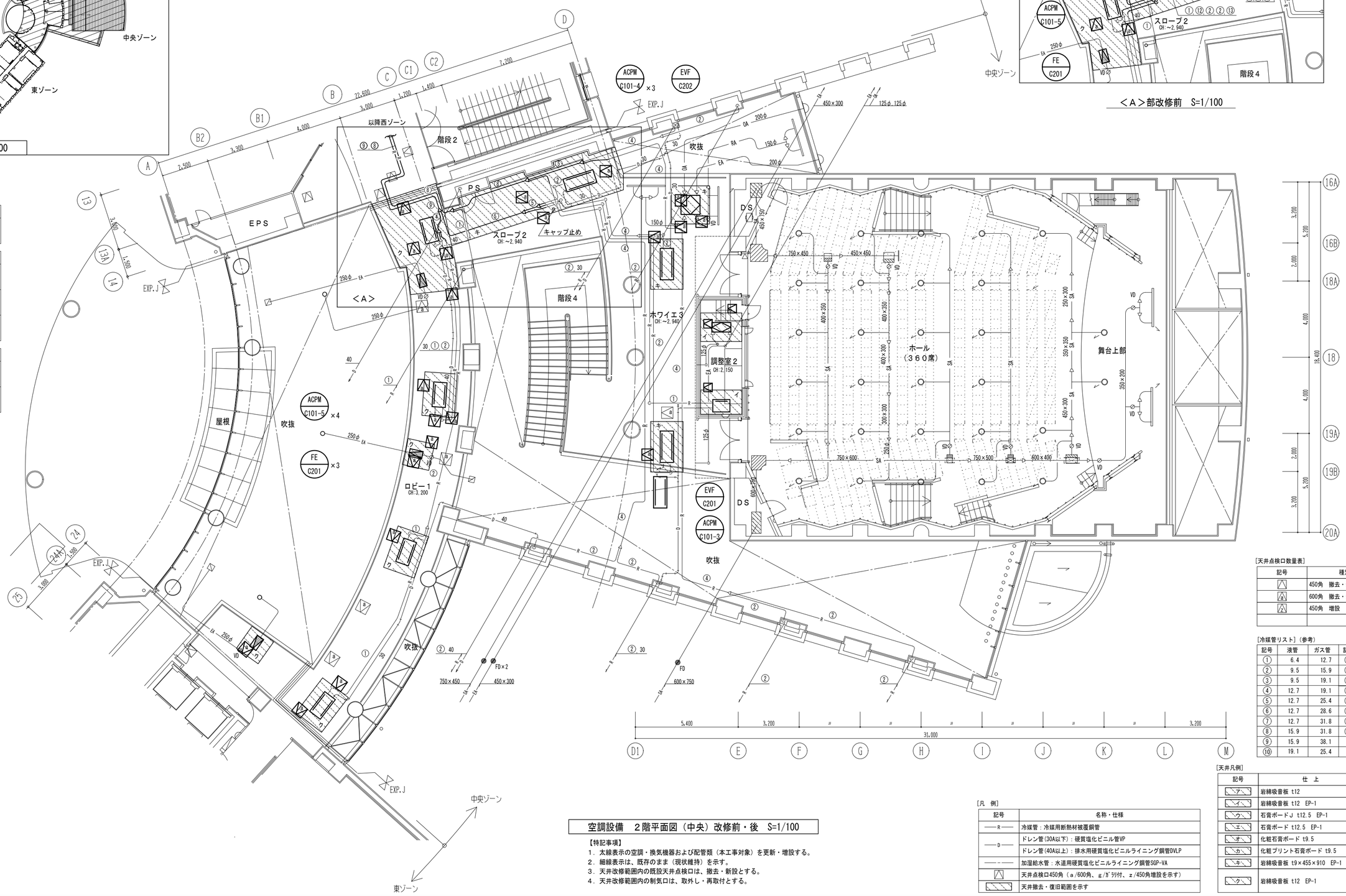
改修前・後



キープラン　S=1/1000



＜A＞部改修前　S=1/100



【既設制気ロリスト】（残置）

ホワイエ		
CL-	#2-2,000L	2
SA,RA-	300 m³/h	
ホール		
ZG-PA-	#10	18
SA-	600 m³/h	
ZG-PA-	#10	12
SA-	700 m³/h	
CL-	#4-2,000L	2
SA-	900 m³/h	
ロビー		
HS-	300x300	3
RA-	500 m³/h	
ﾉｽﾞﾙ -	#8	3
SA-	500 m³/h	

[天井点検口数量表]

記号	種別	数量
△	450角　撤去・新設	3
a	600角　撤去・新設	21
z	450角　増設	-

[冷媒管リスト]（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

[天井凡例]

記号	仕　上	下地
ア	岩綿吸音板 t12	LGS+GB t12.5
イ	岩綿吸音板 t12　EP-1	LGS+GB t12.5
ウ	石膏ボードJ t12.5　EP-1	LGS+GB t12.5
エ	石膏ボード t12.5　EP-1	LGS
オ	化粧石膏ボード t9.5	LGS
カ	化粧プリント石膏ボード t9.5	LGS
キ	岩綿吸音板 t9×455×910　EP-1	LGS特定耐震天井下地
ク	岩綿吸音板 t12　EP-1	LGS特定耐震天井下地 +GB t12.5

[凡　例]

記号	名称・仕様
—— R ——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
—— D ——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
———	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
△	天井点検口450角（a/600角、g/ﾀﾞﾗｲﾄ付、z/450角増設を示す）
	天井撤去・復旧範囲を示す

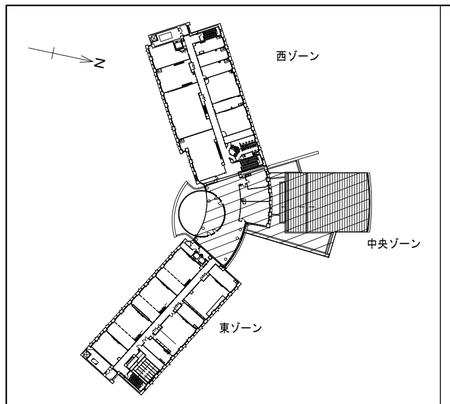
空調設備　２階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器および配管類（本工事対象）を更新・増設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．天井改修範囲内の既設天井点検口は、撤去・新設とする。
4．天井改修範囲内の制気口は、取外し・再取付とする。

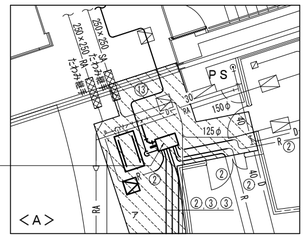
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-23
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　２階平面図（中央）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

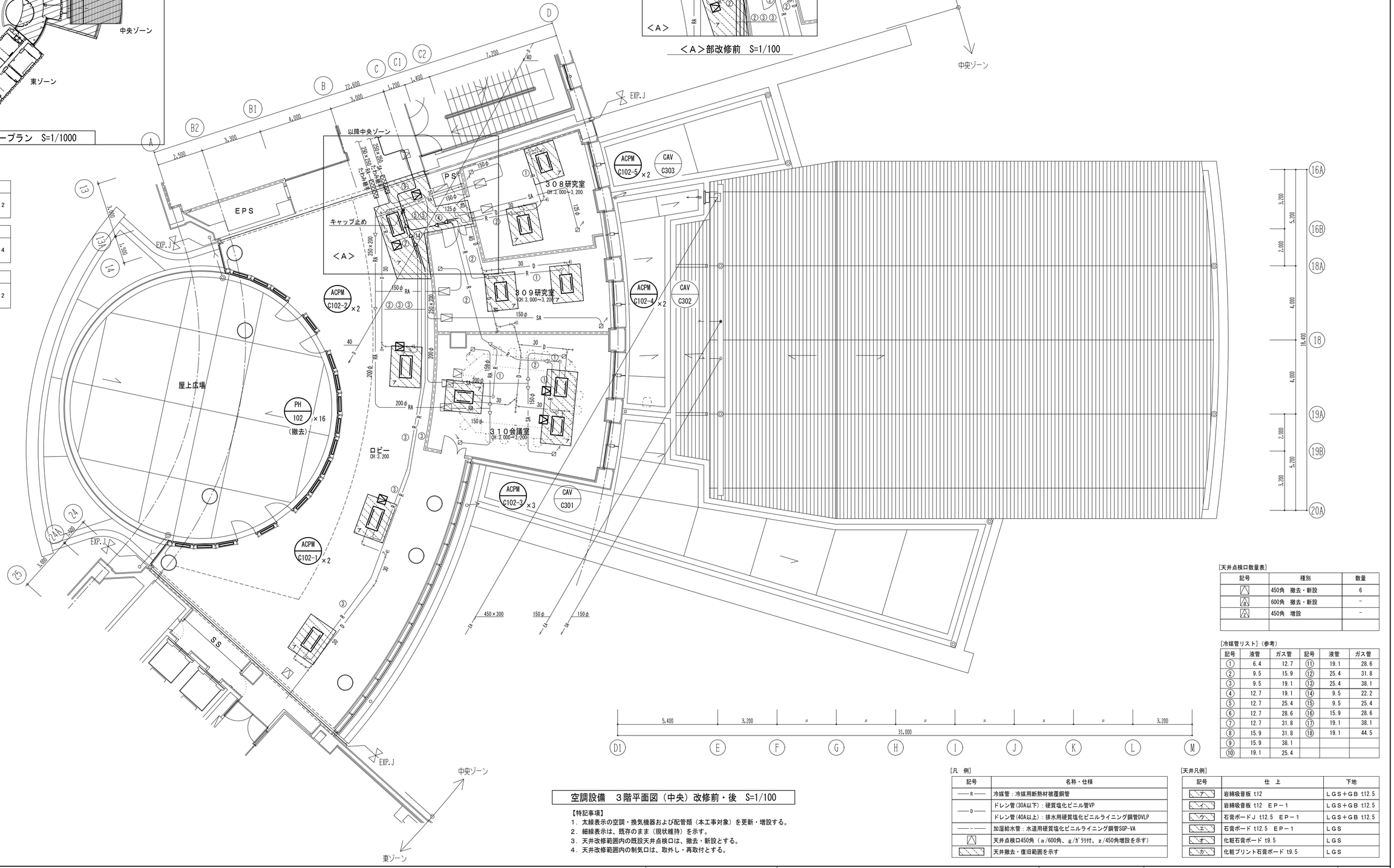
改修前・後



キープラン　S=1/1000



＜A＞部改修前　S=1/100



【既設制気口リスト】（残置）

３０８研究室			
HS-	200×200		2
EA-	200	m^3/h	
３１０会議室			
HS-	200×200		4
SA, RA-	225	m^3/h	
３０９研究室			
HS-	200x200		2
SA, RA-	200	m^3/h	

空調設備　３階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器および配管類（本工事対象）を更新・増設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．天井改修範囲内の既設天井点検口は、撤去・新設とする。
4．天井改修範囲内の制気口は、取外し・再取付とする。

[天井点検口数量表]

記号	種別	数量
	450角　撤去・新設	6
a	600角　撤去・新設	-
	450角　増設	-

[冷媒管リスト]（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

[凡　例]

記号	名称・仕様
—R—	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
—D—	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
——	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
	天井点検口450角（a/600角、g/ｶﾞﾗﾘ付、z/450角増設を示す）
	天井撤去・復旧範囲を示す

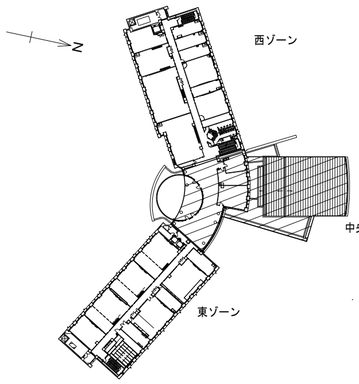
[天井凡例]

記号	仕　上	下地
ア	岩綿吸音板 t12	ＬＧＳ＋ＧＢ t12.5
イ	岩綿吸音板 t12　ＥＰ－１	ＬＧＳ＋ＧＢ t12.5
ウ	石膏ボードＪ t12.5　ＥＰ－１	ＬＧＳ＋ＧＢ t12.5
エ	石膏ボード t12.5　ＥＰ－１	ＬＧＳ
オ	化粧石膏ボード t9.5	ＬＧＳ
カ	化粧プリント石膏ボード t9.5	ＬＧＳ

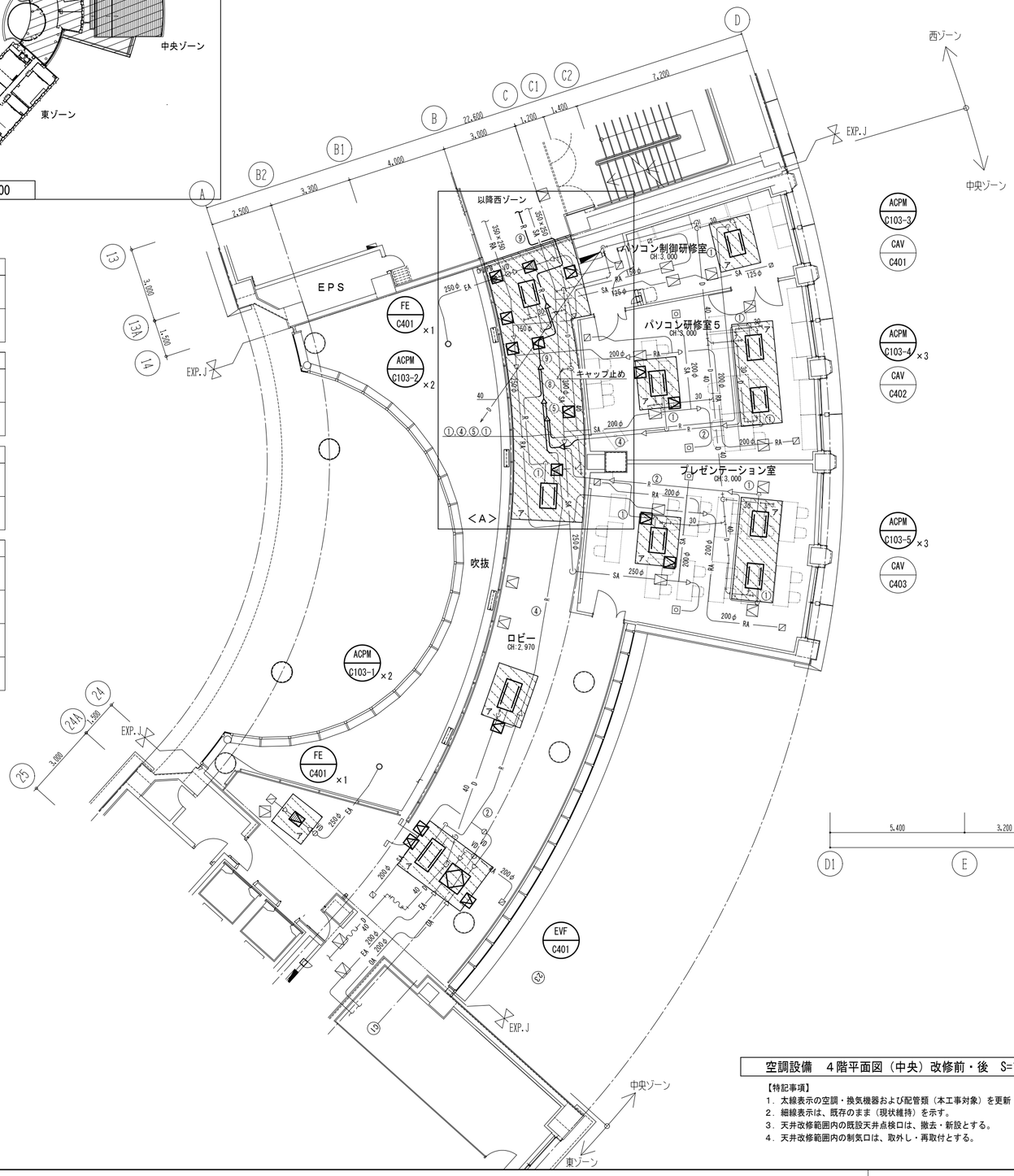
徳島県県土整備部営繕課		工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-24
設計	竣工	図面名	空調設備　３階平面図（中央）改修前・後	縮尺	1/100

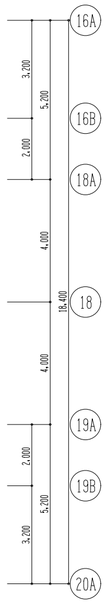
有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

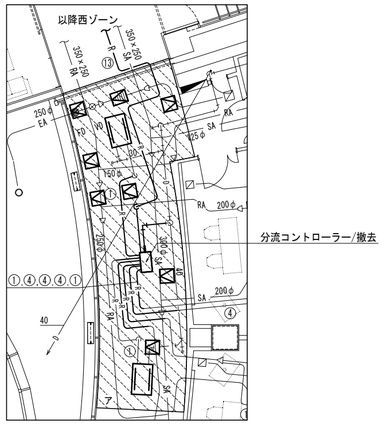
改修前・後



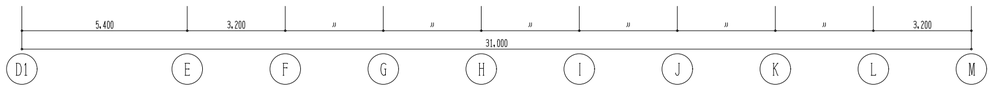
キープラン　S=1/1000







＜A＞部改修前　S=1/100



【既設制気ロリスト】（残置）

パソコン制御研修室			
HS-	150×150		1
SA-	125	m^3/h	
HS-	150×150		1
RA-	125	m^3/h	
パソコン研修室5			
PE-	#15		2
SA-	325	m^3/h	
HS-	250×250		2
RA-	325	m^3/h	
プレゼンテーション室			
PE-	#15		1
SA-	325	m^3/h	
HS-	250×250		1
RA-	325	m^3/h	
ロビー			
ﾊﾟｽﾞﾙ-	#8		2
SA-	500	m^3/h	
HS-	300×300		2
RA-	500	m^3/h	
HS-	200×200		1
SA-	300	m^3/h	
HS-	200×200		1
RA-	300	m^3/h	

[天井点検口数量表]

記号	種別	数量
△	450角　撤去・新設	15
△a	600角　撤去・新設	-
△z	450角　増設	-

[冷媒管リスト]（参考）

記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4	12.7	⑪	19.1	28.6
②	9.5	15.9	⑫	25.4	31.8
③	9.5	19.1	⑬	25.4	38.1
④	12.7	19.1	⑭	9.5	22.2
⑤	12.7	25.4	⑮	9.5	25.4
⑥	12.7	28.6	⑯	15.9	28.6
⑦	12.7	31.8	⑰	19.1	38.1
⑧	15.9	31.8	⑱	19.1	44.5
⑨	15.9	38.1			
⑩	19.1	25.4			

空調設備　４階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の空調・換気機器および配管類（本工事対象）を更新・増設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．天井改修範囲内の既設天井点検口は、撤去・新設とする。
4．天井改修範囲内の制気口は、取外し・再取付とする。

[凡　例]

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
————	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
△	天井点検口450角（a/600角、g/ﾀﾞﾗ付、z/450角増設を示す）
	天井撤去・復旧範囲を示す

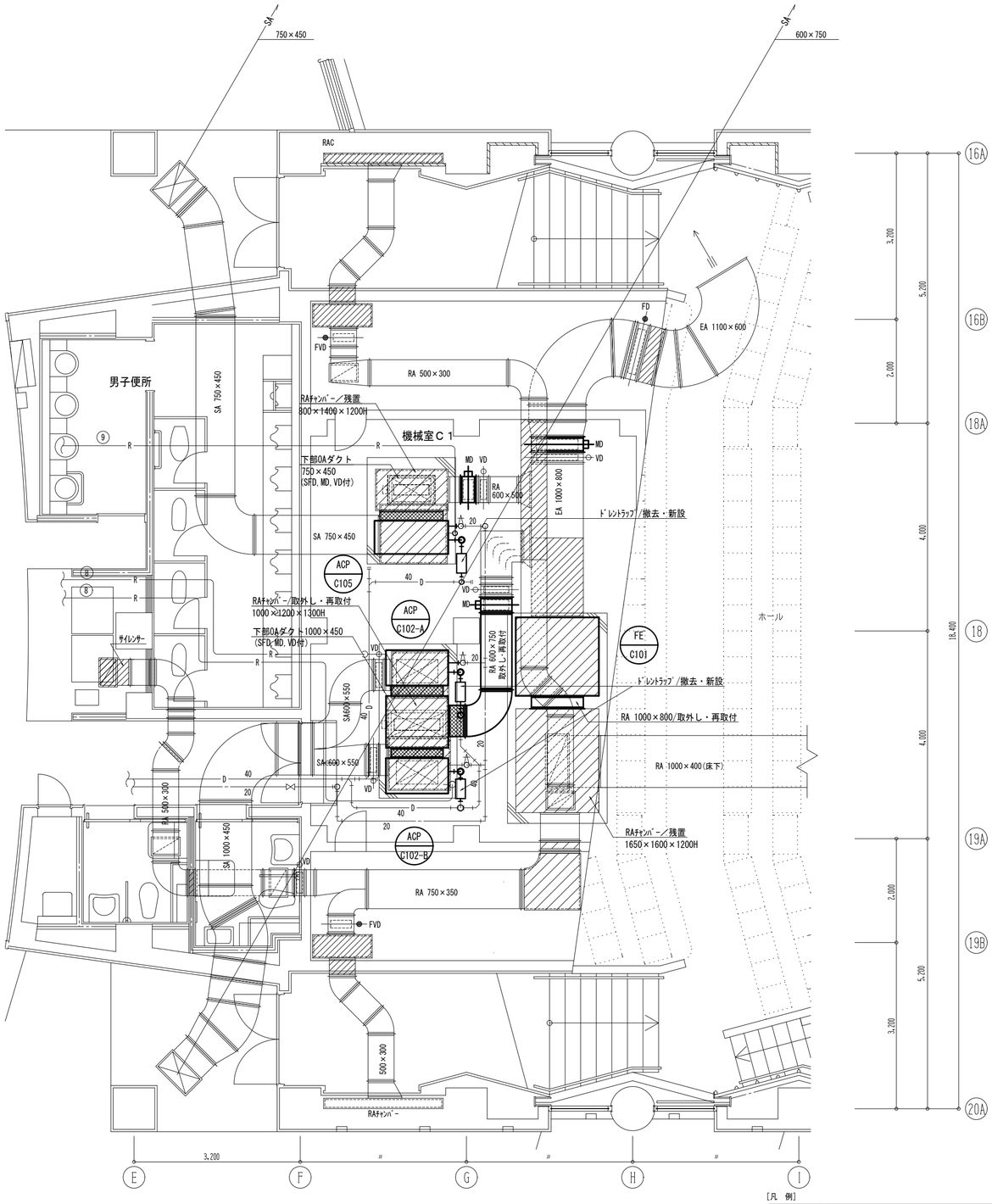
[天井凡例]

記号	仕　上	下地
ア	岩綿吸音板 t12	LGS+GB t12.5
イ	岩綿吸音板 t12　EP－1	LGS+GB t12.5
ウ	石膏ボードJ t12.5　EP－1	LGS+GB t12.5
エ	石膏ボード t12.5　EP－1	LGS
オ	化粧石膏ボード t9.5	LGS
カ	化粧プリント石膏ボード t9.5	LGS

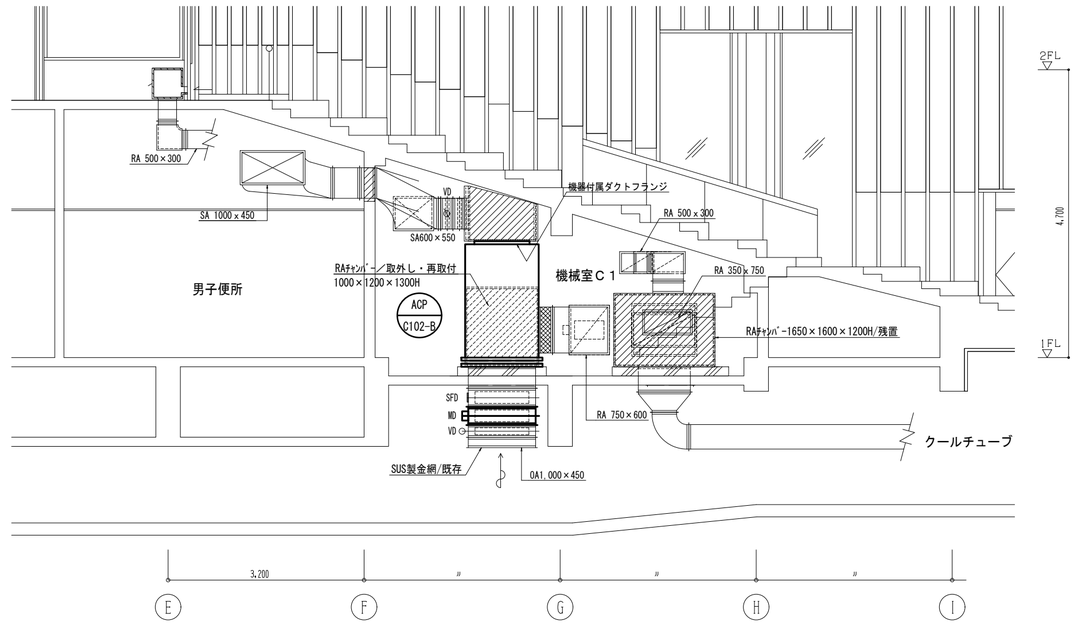
徳島県県土整備部営繕課		工事名	R７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-25
設計	竣工	図面名	空調設備　４階平面図（中央）改修前・後	縮尺	1/100
R7.2					

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

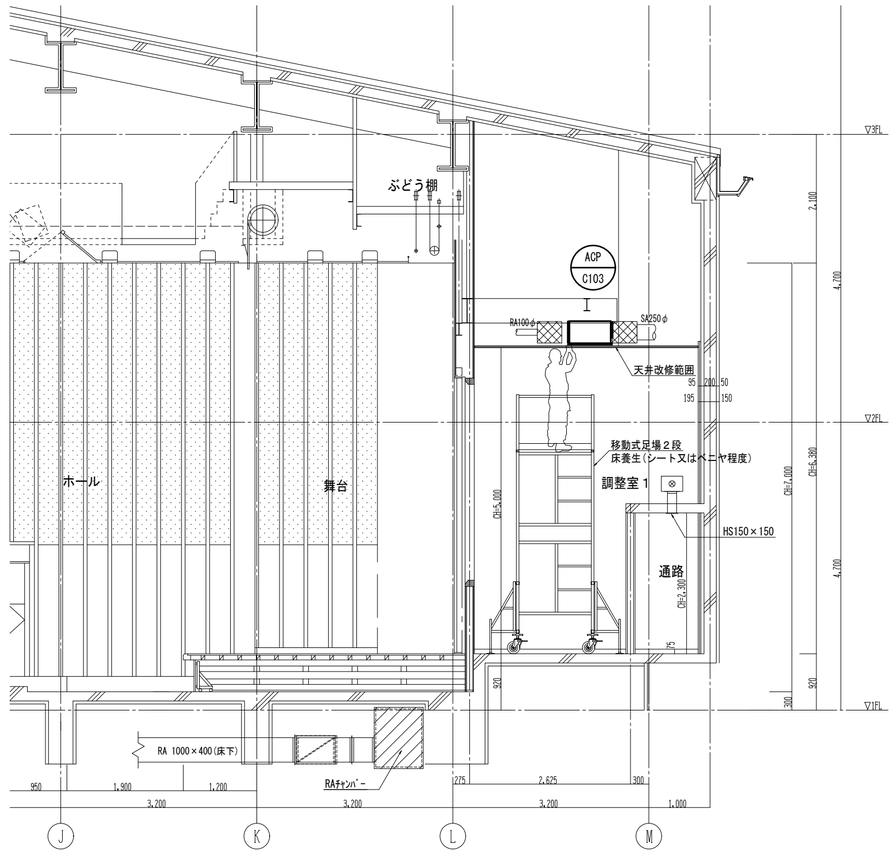
機械室Ｃ１廻り平面詳細図（改修前・後）　S=1/50



機械室Ｃ１廻り断面詳細図（改修前・後）　S=1/50



Ａ－Ａ断面詳細図（改修前・後）　S=1/50



【特記事項】
1．太線表示の空調および換気機器(本工事対象)を更新する。
2．太線表示のダクト類は取外し・再取付とし、配管類は撤去・新設とする。
3．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
4．更新機器は、各たわみ継手を含め更新するものとする。
3．ＭＤは撤去・新設とし、配線等の接続は別途電気工事。

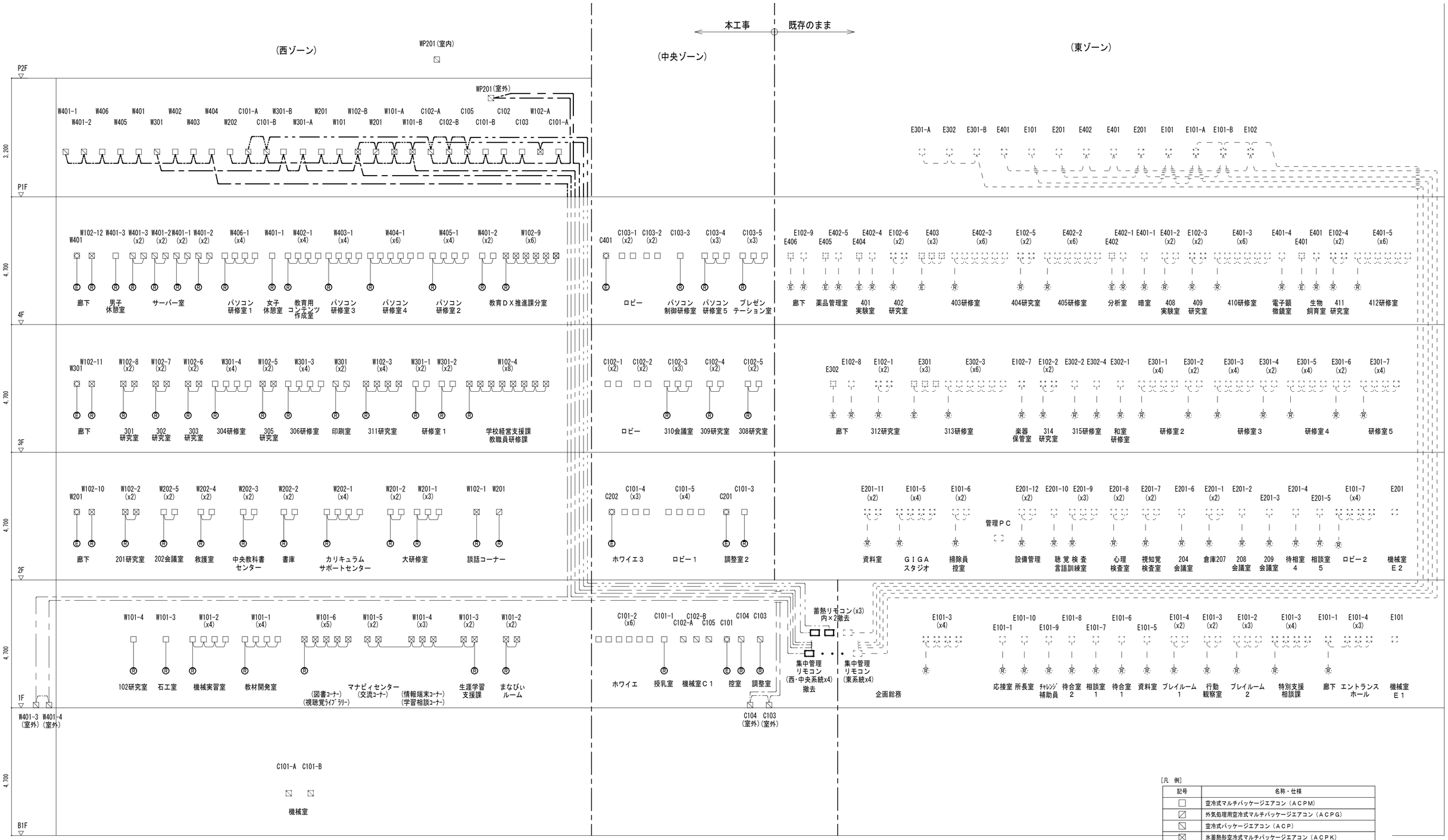
［凡　例］

記号	名称・仕様
——R——	冷媒管：冷媒用断熱材被覆銅管
——D——	ドレン管(30A以下)：硬質塩化ビニル管VP
	ドレン管(40A以上)：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP
————	加湿給水管：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
	たわみ継手を示す
	消音部を示す

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-26
設計 R7.2　竣工	図面名	空調設備　機械室Ｃ１廻り詳細図及びＡ－Ａ断面詳細図	縮尺 1/50

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL (088) 633-2159

改修前



[凡 例]

記号	名称・仕様
□	空冷式マルチパッケージエアコン（ＡＣＰＭ）
⧄	外気処理用空冷式マルチパッケージエアコン（ＡＣＰＧ）
⧅	空冷式パッケージエアコン（ＡＣＰ）
⧇	氷蓄熱形空冷式マルチパッケージエアコン（ＡＣＰＫ）
⧈	全熱交換ユニット(静止型)
Ⓡ	空調機個別リモコン（機器付属品）
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン（機器付属品）
—— – ——	集中管理リモコン配線（EM-CEE-S 1.25sq-2C）
—— - - ——	蓄熱リモコン配線（EM-CEE 1.25sq-2C）
————	個別リモコン配線（EM-CEE-S 1.25sq-2C）

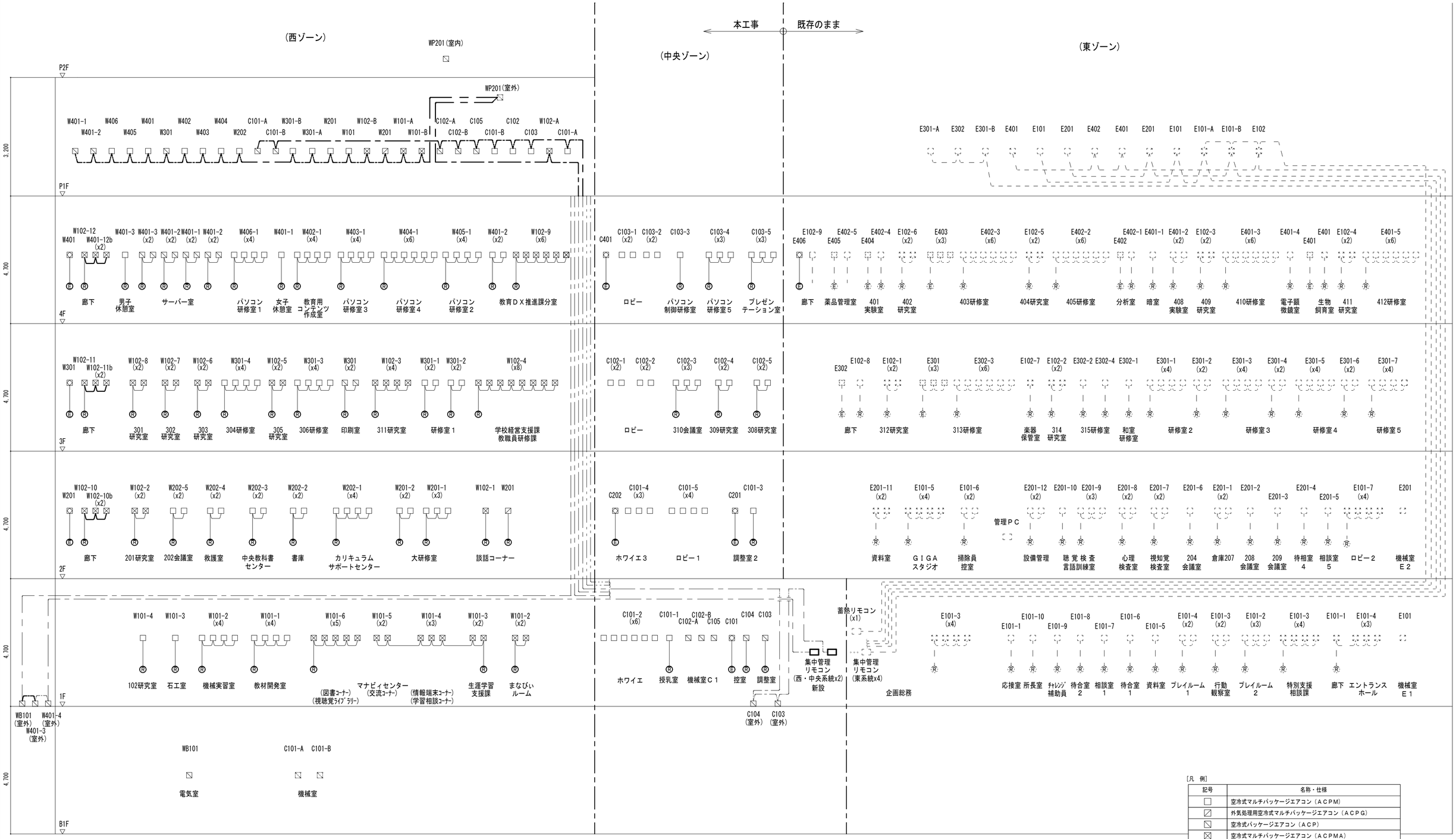
空調設備　制御配線系統図　改修前　S=NON

【特記事項】
1．太線表示は、撤去（本工事対象）を示す。（配線類は作業可能範囲にて撤去のこと。）
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．更新する機器類の配線は、取外し・再結線とする。
4．電源配線（幹線）は、別途電気工事とする。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-27
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　制御配線系統図　改修前	縮尺	NO SCALE

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修後



空調設備　制御配線系統図　改修後　S=NON

【特記事項】
1．太線表示は、新設（本工事対象）を示す。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4．更新する機器類の配線は、取外し・再結線とする。
5．電源配線（幹線）は、別途電気工事とする。

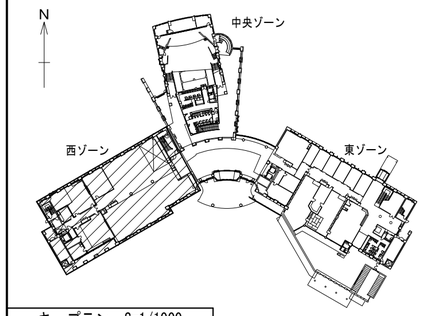
[凡　例]

記号	名称・仕様
□	空冷式マルチパッケージエアコン（ＡＣＰＭ）
◪	外気処理用空冷式マルチパッケージエアコン（ＡＣＰＧ）
⧅	空冷式パッケージエアコン（ＡＣＰ）
⊠	空冷式マルチパッケージエアコン（ＡＣＰＭＡ）
⊡	全熱交換ユニット(静止型)
Ⓡ	空調機個別リモコン（機器付属品）
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン（機器付属品）
— — —	集中管理リモコン配線（EM-CEE-S1.25sq-2C）
————	個別リモコン配線（EM-CEE-S1.25sq-2C）

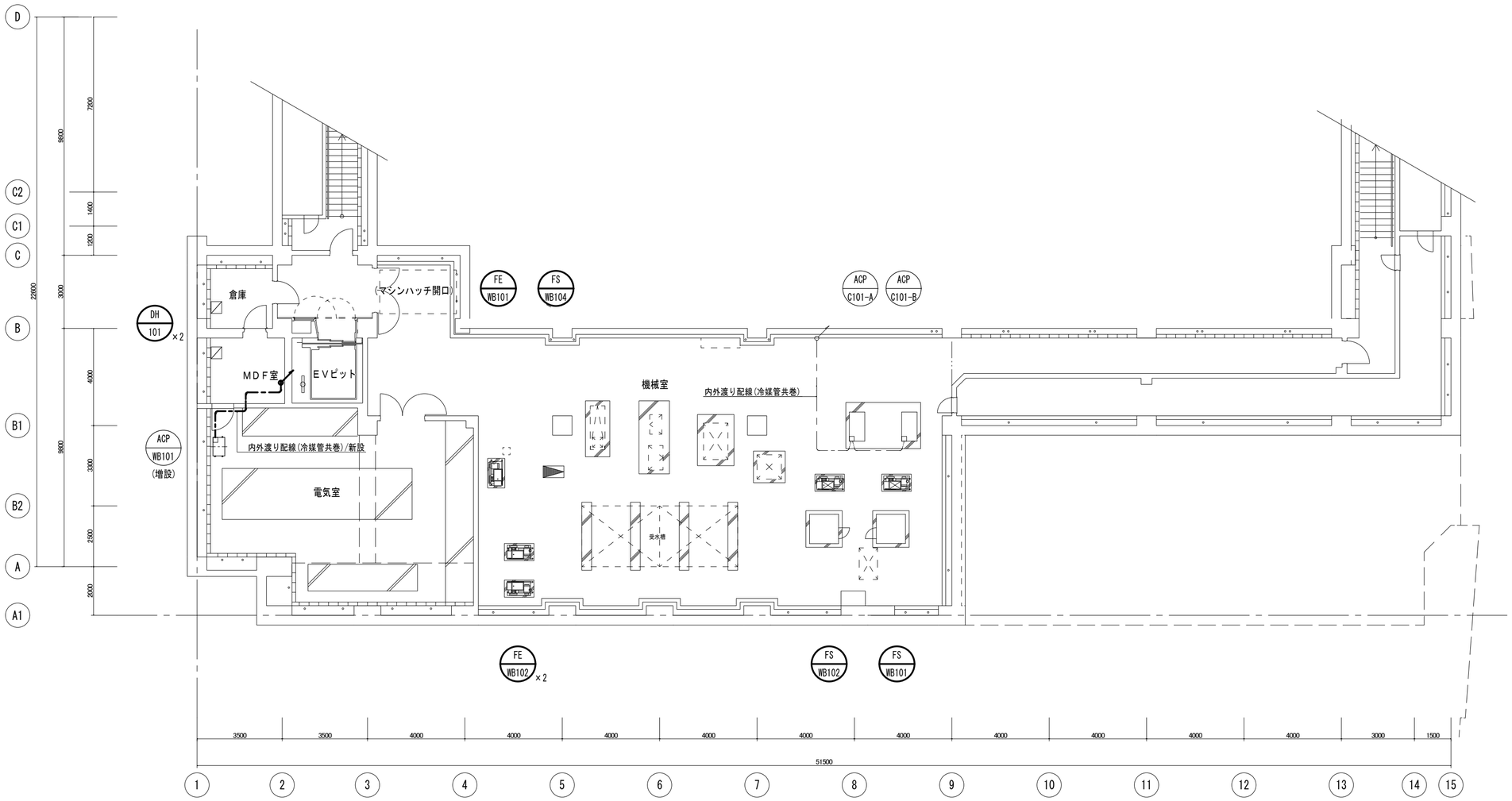
徳島県県土整備部営繕課		工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-28
設計	竣工	図面名	空調設備　制御配線系統図　改修後	縮尺	NO SCALE
R7.2					

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修後



キープラン　S=1/1000



空調設備　電気配線地下１階平面図(西)　改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4．空調機および全熱交換ユニットリモコンは撤去・新設とし、送風機スイッチは既存のままとする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-4C（1C7-ｽ）(E19)
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-4C（1C7-ｽ）(E19)
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ｽ）
＊送風機操作線：IV2mm-2C（PF16）

[空調制御配線凡例]

記号	名称・仕様
—— ——	床下配管
————	隠ぺい配管
- - - -	露出配管
⊠	プルボックス
—[ ]—	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

[空調制御配線・配管リスト]

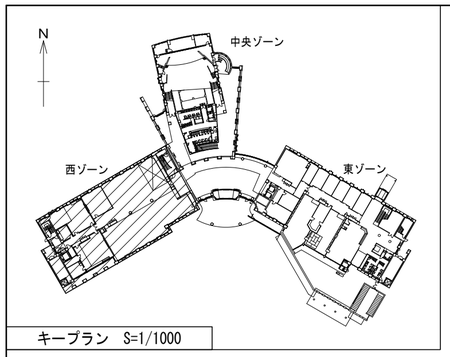
記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E25)	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (E31)	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE　1.25sq-3C ×2 (E51)	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (PF28)	集中管理
Ⓕ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE　2sq-5C ×1 (PF28)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓗ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E19)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓘ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (G22)	集中管理

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）

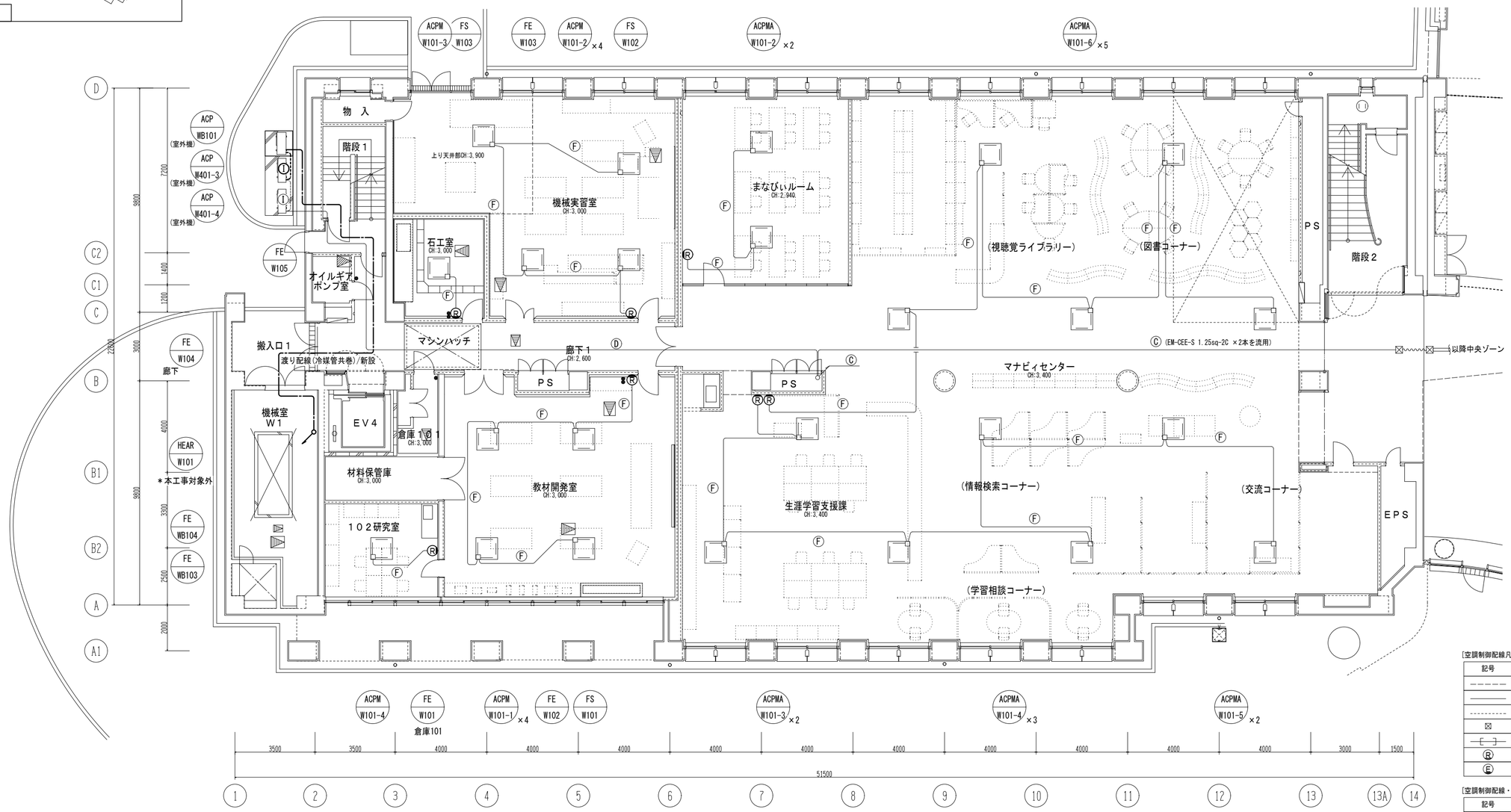
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-29
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　電気配線地下１階平面図(西)　改修前・後	縮尺 1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修後



キープラン　S=1/1000



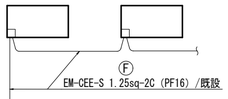
[空調制御配線凡例]

記号	名称・仕様
―――――	床下配管
―――――	隠ぺい配管
----------	露出配管
⊠	プルボックス
―[　]―	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

[空調制御配線・配管リスト]

記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E25)	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (E31)	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE　1.25sq-3C ×2 (E51)	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (PF28)	集中管理
Ⓕ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE　2sq-5C ×1 (PF28)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓗ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E19)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓘ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (G22)	集中管理

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）

空調機個別リモコン配線要領(共用部以外)	全熱交換ユニットリモコン配線要領
	
Ⓕ EM-CEE-S 1.25sq-2C (PF16) /既設	Ⓖ EM-CEE 2sq-5C (PF22) /既設
Ⓡ (機器付属品)	Ⓔ (機器付属品)
＊室内機～室外機間の既設渡り配線 EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）	

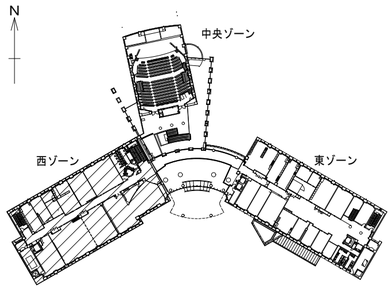
空調設備　電気配線１階平面図（西）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1. 太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2. 細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3. 配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4. 電源配線（幹線）は別途電気工事とする。
5. 空調機および全熱交換ユニットリモコンは撤去・新設とし、送風機スイッチは既存のままとする。

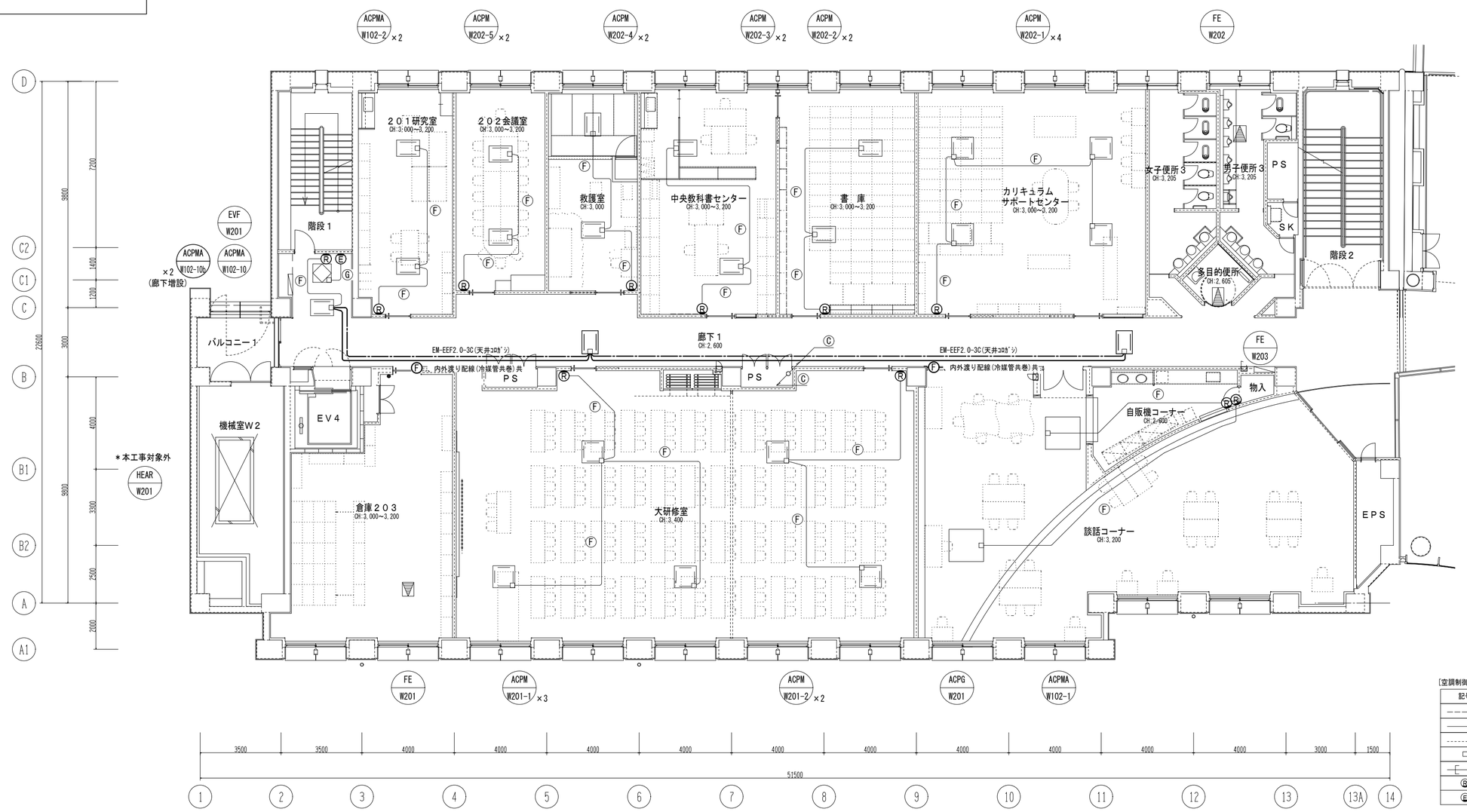
【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ｽ）
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C（1C7-ｽ）
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ｽ）
＊送風機操作線：IV2mm-2C（PF16）

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-30	有限会社 岡 設備設計 建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号 岡　宣　義 徳島市南矢三町3丁目5-15 TEL(088)633-2159
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　電気配線１階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/100	

改修後



キープラン　S=1/1000



［空調制御配線凡例］

記号	名称・仕様
―――――	床下配管
―――――	隠ぺい配管
----------	露出配管
□	プルボックス
―[―]―	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

［空調制御配線・配管リスト］

記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E25)	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (E31)	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE 1.25sq-3C ×2 (E51)	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (PF28)	集中管理
Ⓕ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE 2sq-5C ×1 (PF22)	個別ﾘﾓｺﾝ

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）

空調設備　電気配線２階平面図（西）改修前・後　S=1/100

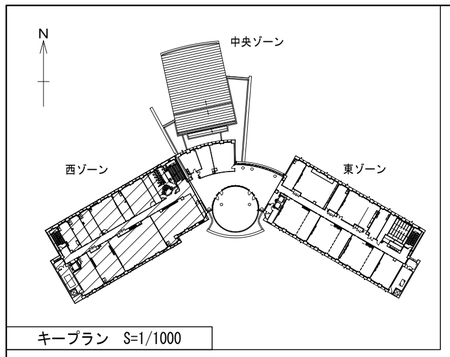
【特記事項】
1．太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4．電源配線（幹線）は別途電気工事とする。
5．空調機および全熱交換ユニットリモコンは撤去・新設とし、送風機スイッチは既存のままとする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ｽ）
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C（1C7-ｽ）
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ｽ）
＊送風機操作線：IV2mm-2C（PF16）

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-31
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　電気配線２階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修後



キープラン　S=1/1000

空調設備　電気配線３階平面図（西）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4．電源配線（幹線）は別途電気工事とする。
5．空調機および全熱交換ユニットリモコンは撤去・新設とし、送風機スイッチは既存のままとする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C (1C7-ｽ)
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C (1C7-ｽ)
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C (1C7-ｽ)
＊送風機操作線：IV2mm-2C (PF16)

[空調制御配線凡例]

記号	名称・仕様
――――	床下配管
――――	隠ぺい配管
----------	露出配管
⊠	プルボックス
―┼―	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

[空調制御配線・配管リスト]

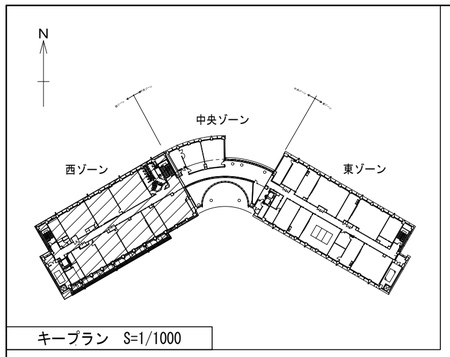
記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E25)	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (E31)	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE 1.25sq-3C ×2 (E51)	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (PF28)	集中管理
Ⓕ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE 2sq-5C ×1 (PF22)	個別ﾘﾓｺﾝ

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1 (冷媒管共巻)

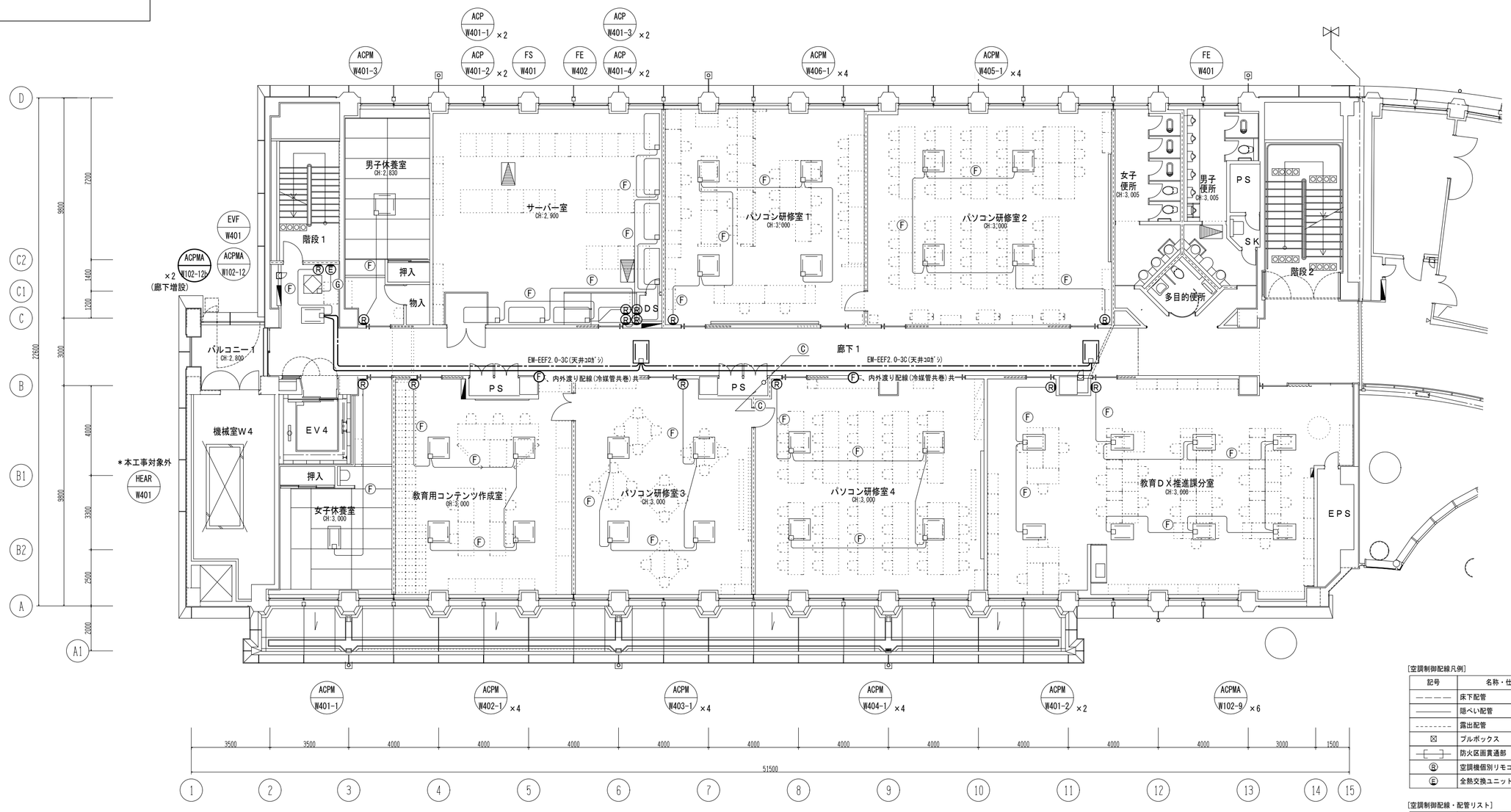
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-32
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　電気配線３階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修後



キープラン　S=1/1000



空調設備　電気配線４階平面図（西）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4．電源配線（幹線）は別途電気工事とする。
5．空調機および全熱交換ユニットリモコンは撤去・新設とし、送風機スイッチは既存のままとする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ｽ）
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C（1C7-ｽ）
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ｽ）
＊送風機操作線：IV2mm-2C（PF16）

[空調制御配線凡例]

記号	名称・仕様
――――	床下配管
――――	隠ぺい配管
- - - - - -	露出配管
⊠	プルボックス
―[ ]―	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

[空調制御配線・配管リスト]

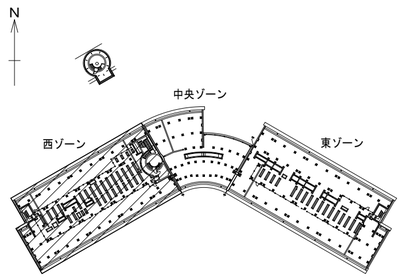
記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（E25）	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2（E31）	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE　1.25sq-3C ×2（E51）	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（PF16）	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2（PF28）	集中管理
Ⓕ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（PF16）	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE　2sq-5C ×1（PF22）	個別ﾘﾓｺﾝ

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）

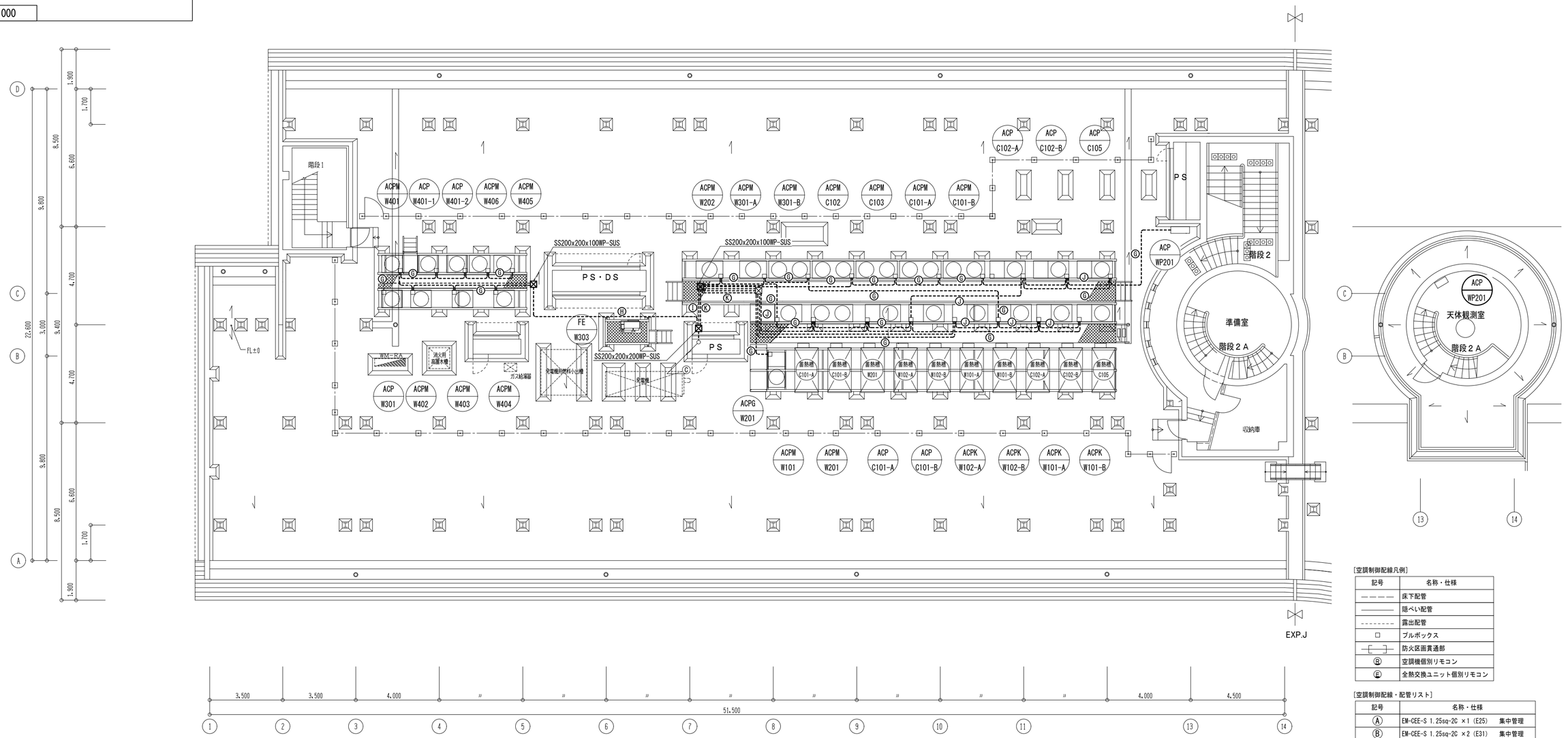
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-33
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　電気配線４階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前



キープラン　S=1/1000



空調設備　電気配線Ｐ１、Ｐ２階平面図（西）改修前　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の配線類（本工事対象）を撤去する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4．電源配線（幹線）は別途電気工事とする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ス）
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C（1C7-ス）
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ス）
＊送風機操作線：IV2mm-2C（PF16）

[空調制御配線凡例]

記号	名称・仕様
―― ―― ――	床下配管
――――――	隠ぺい配管
- - - - - - - -	露出配管
□	プルボックス
┼┬┼	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

[空調制御配線・配管リスト]

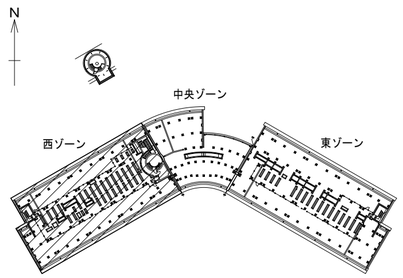
記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（E25）	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2（E31）	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE　1.25sq-3C ×2（E51）	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（PF16）	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（PF16）	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓕ	EM-CEE　2sq-5C ×1（PF28）	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（G22）	集中管理
Ⓗ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2（G28）	集中管理
Ⓘ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4（G36）	集中管理
Ⓙ	EM-CEE　1.25sq-3C ×1（G22）	蓄熱ﾘﾓｺﾝ
Ⓚ	EM-CEE　1.25sq-3C ×2（G28）	蓄熱ﾘﾓｺﾝ

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）

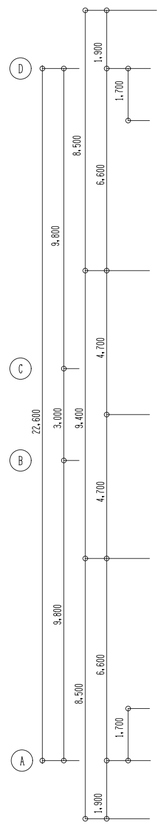
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-34
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　電気配線Ｐ１，Ｐ２階平面図（西）改修前	縮尺	1/100

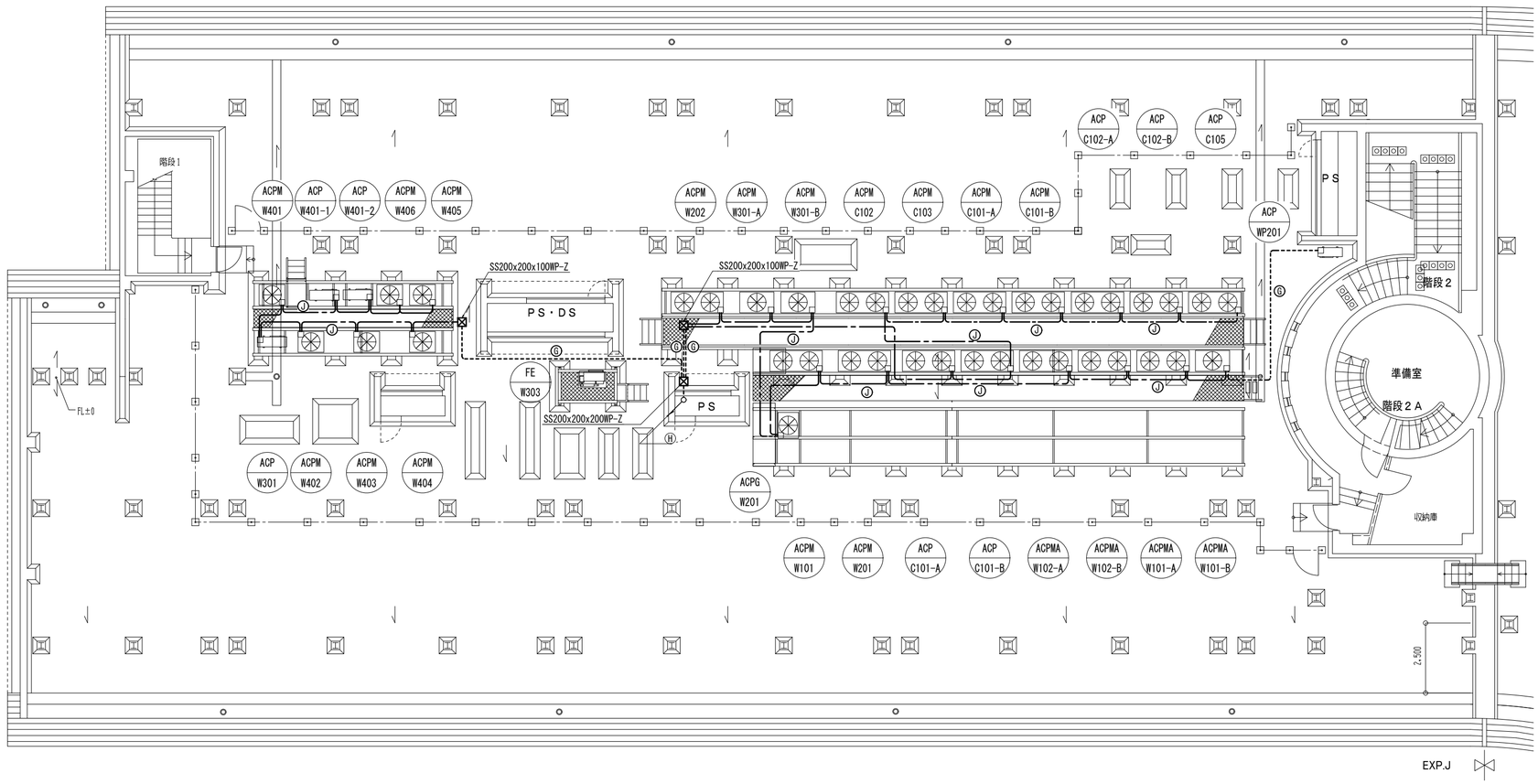
有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

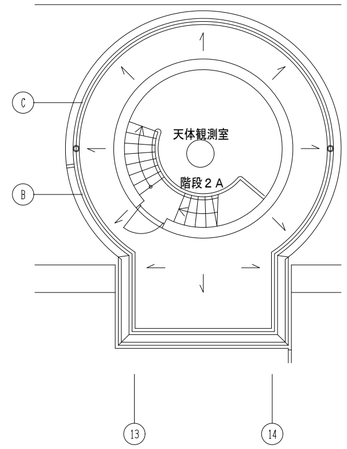
改修後

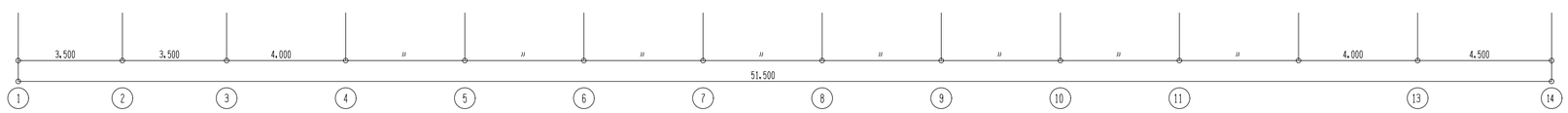


キープラン　S=1/1000









［凡　例］

記号	名称・仕様
――――	床下配管配線
――・――	ケーブルラック内配線
--------	露出配管配線
⊠	プルボックス
┼[ ]┼	防火区画貫通部
Ⓗ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

［既設配線・配管リスト］

記号	名称・仕様
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E25)　集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (E31)　集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 (E51)　集中管理 EM-CEE　1.25sq-3C ×2
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF22)　集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)　個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓕ	EM-CEE　2sq-6C ×1 (PF28)　個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (G22)　集中管理
Ⓗ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (G28)　集中管理
Ⓘ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 (G36)　集中管理
Ⓙ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1　集中管理

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）
＊室外機接続箇所は、金属製可とう電線管にて接続のこと。

空調設備　電気配線Ｐ１、Ｐ２階平面図（西）改修後　S=1/100

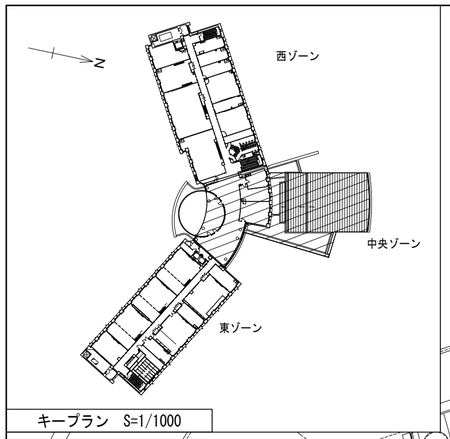
【特記事項】
1．太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4．電源配線（幹線）は別途電気工事とする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C (1C7-λ)
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C (1C7-λ)
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C (1C7-λ)
＊送風機操作線：IV2mm-2C (PF16)

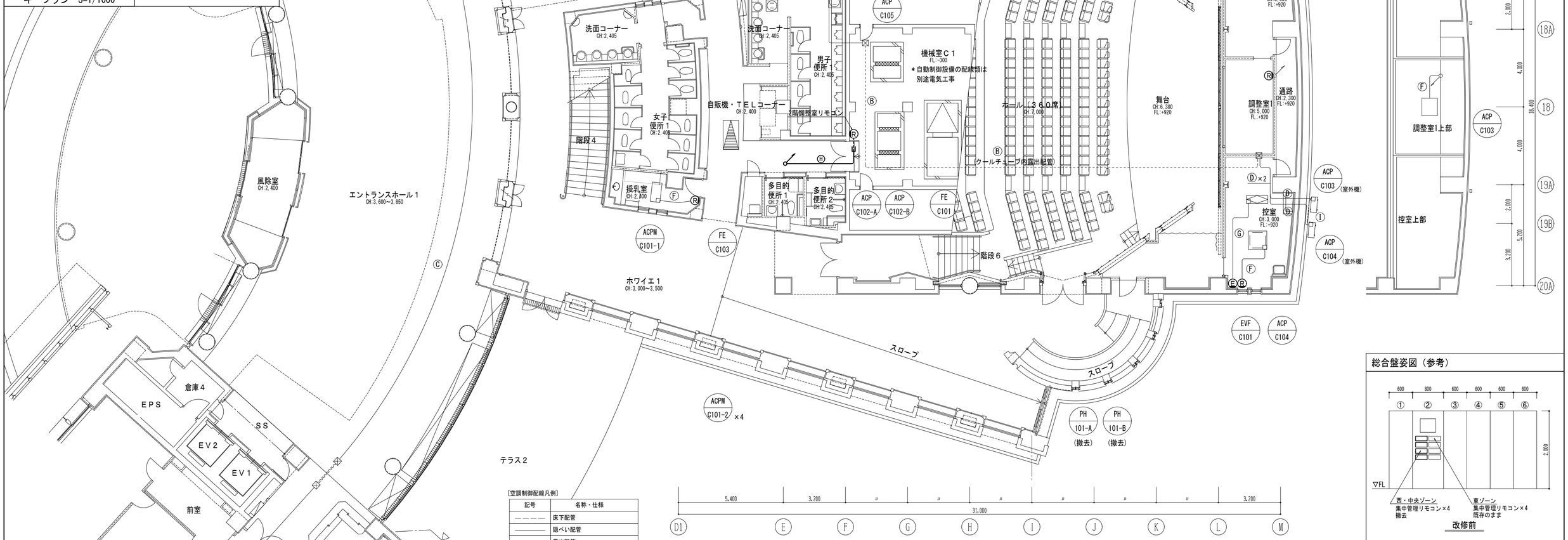
徳島県県土整備部営繕課		工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-35
設計	竣工	図面名	空調設備　電気配線Ｐ１，Ｐ２階平面図（西）改修後	縮尺	1/100
R7.2					

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修後



キープラン　S=1/1000



[空調制御配線凡例]

記号	名称・仕様
―――	床下配管
―――	隠ぺい配管
- - - -	露出配管
⊠	プルボックス
┌─┐	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

[空調制御配線・配管リスト]

記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E25)	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (E31)	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE　1.25sq-3C ×2 (E51)	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (PF28)	集中管理
Ⓕ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE　2sq-5C ×1 (PF28)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓗ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E19)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓘ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (G22)	集中管理

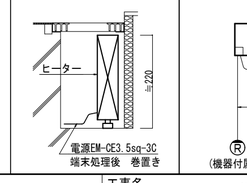
＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）

空調設備　電気配線１階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

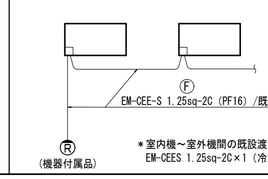
【特記事項】
1．太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4．空調電源（幹線）は別途電気工事とする。
5．空調機および全熱交換ユニットリモコンは撤去・新設とし、送風機スイッチは既存のままとする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C (1C7-ｽ)
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C (1C7-ｽ)
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C (1C7-ｽ)
＊送風機操作線：IV2mm-3C (PF16)

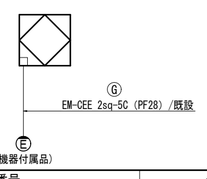
【撤去】電気暖房機廻り



空調機個別リモコン配線要領(共用部以外)

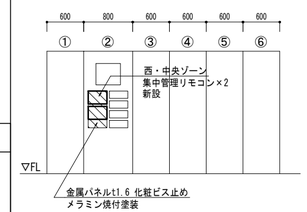


全熱交換ユニットリモコン配線要領



総合盤姿図（参考）

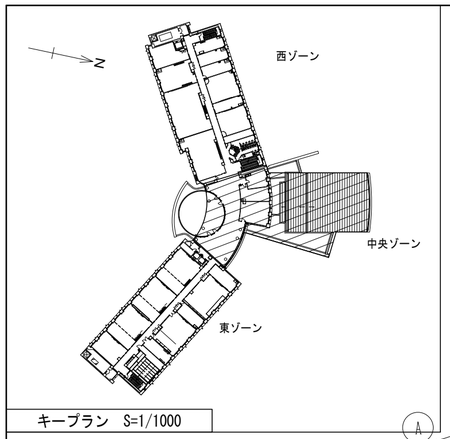
改修前



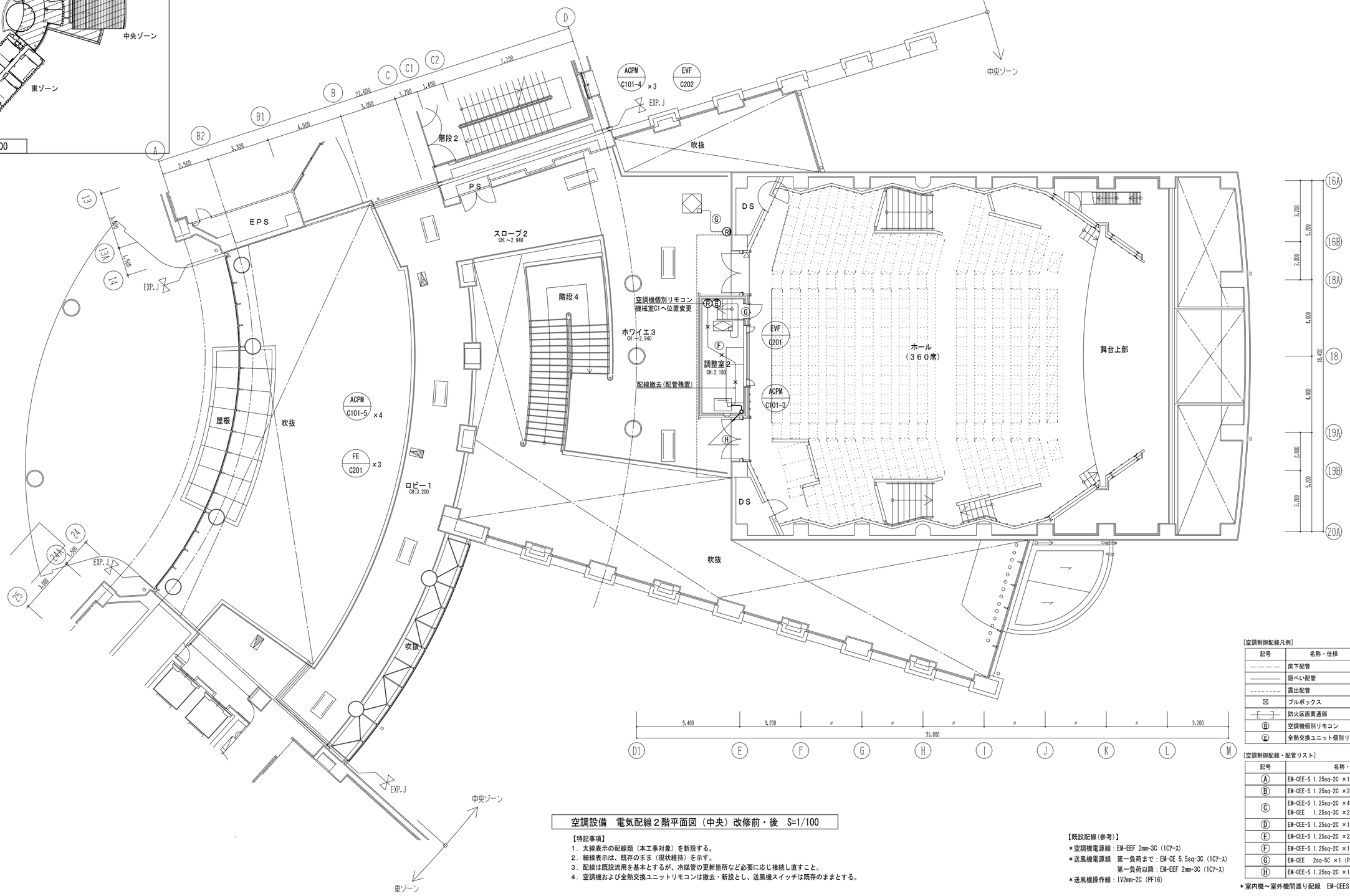
①電気錠・照明スイッチ
②空調操作関係
③中央監視盤
④非常・業務放送
⑤複合火災受信機
⑥ＥＬＶ監視盤
⑦中央監視盤(電力グラフィック盤)

徳島県県土整備部営繕課	工事名　Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号　M-36	有限会社 岡 設備設計 建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義 徳島市南矢三町3丁目5-15 TEL(088)633-2159
設計　R7.2　竣工	図面名　空調設備　電気配線１階平面図（中央）改修前・後	縮尺　1/100	

改修後



キープラン　S=1/1000



空調設備　電気配線２階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4．空調機および全熱交換ユニットリモコンは撤去・新設とし、送風機スイッチは既存のままとする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ｽ）
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C（1C7-ｽ）
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C（1C7-ｽ）
＊送風機操作線：1V2mm-2C（PF16）

[空調制御配線凡例]

記号	名称・仕様
――――	床下配管
――――	隠ぺい配管
- - - - - - -	露出配管
⊠	プルボックス
┌┐	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

[空調制御配線・配管リスト]

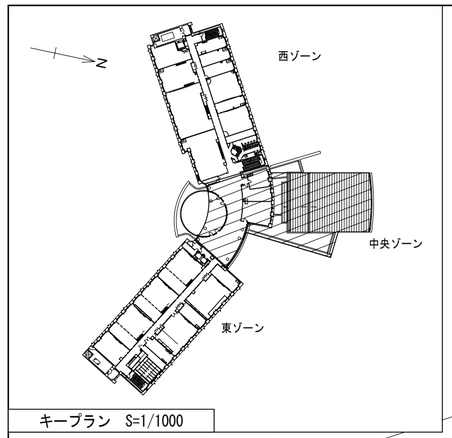
記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（E25）	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2（E31）	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE　1.25sq-3C ×2（E51）	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（PF16）	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2（PF28）	集中管理
Ⓕ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（PF16）	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE　2sq-5C ×1（PF28）	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓗ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1（E19）	個別ﾘﾓｺﾝ

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1(冷媒管共巻)

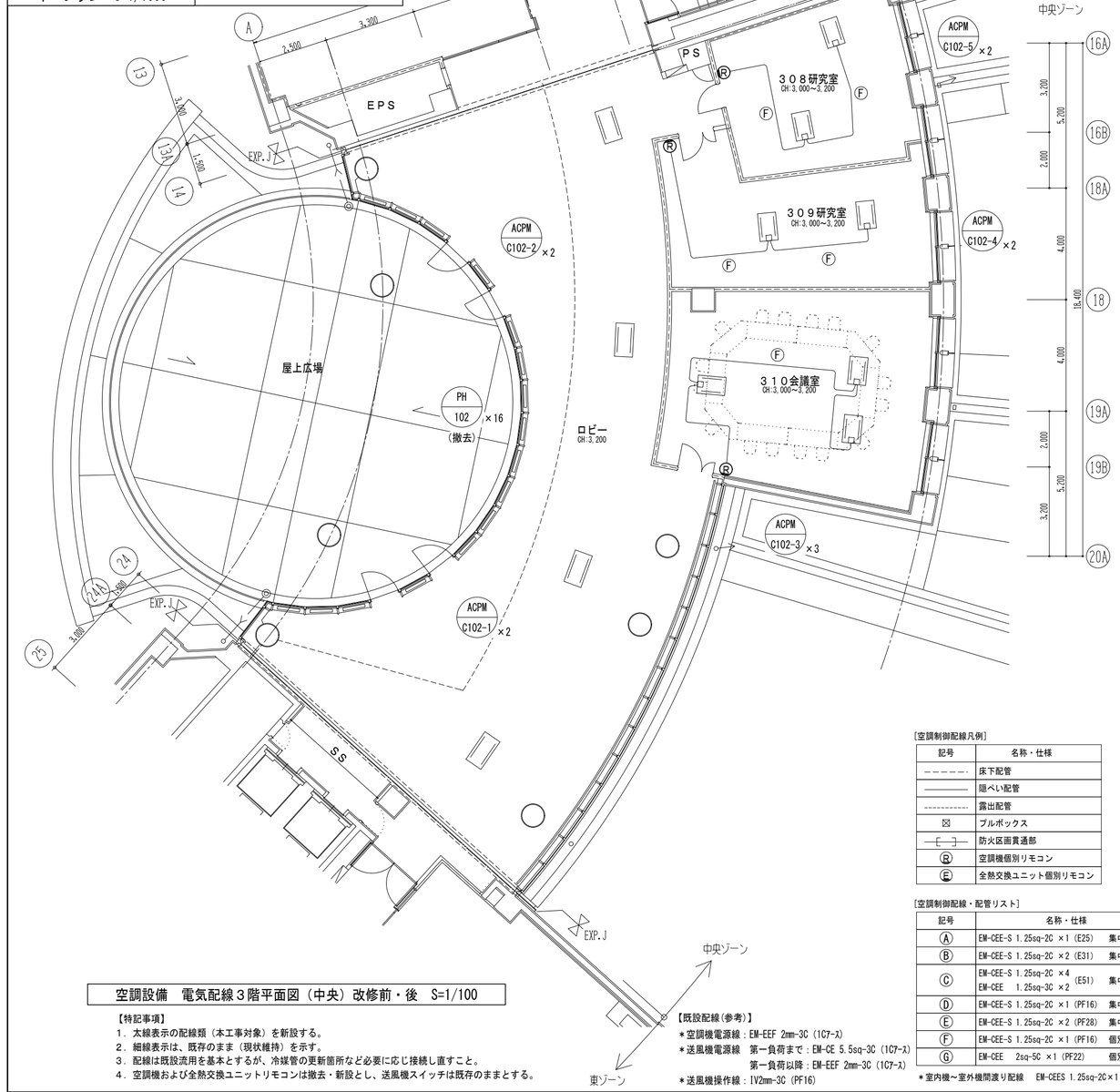
徳島県県土整備部営繕課	工事名	R７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 M-37
設計 R7.2　竣工	図面名	空調設備　電気配線２階平面図（中央）改修前・後	縮尺 1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修後



キープラン S=1/1000



空調設備　電気配線３階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1. 太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2. 細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3. 配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4. 空調機および全熱交換ユニットリモコンは撤去・新設とし、送風機スイッチは既存のままとする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C (1C7-ス)
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C (1C7-ス)
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C (1C7-ス)
＊送風機操作線：IV2mm-3C (PF16)

[空調制御配線凡例]

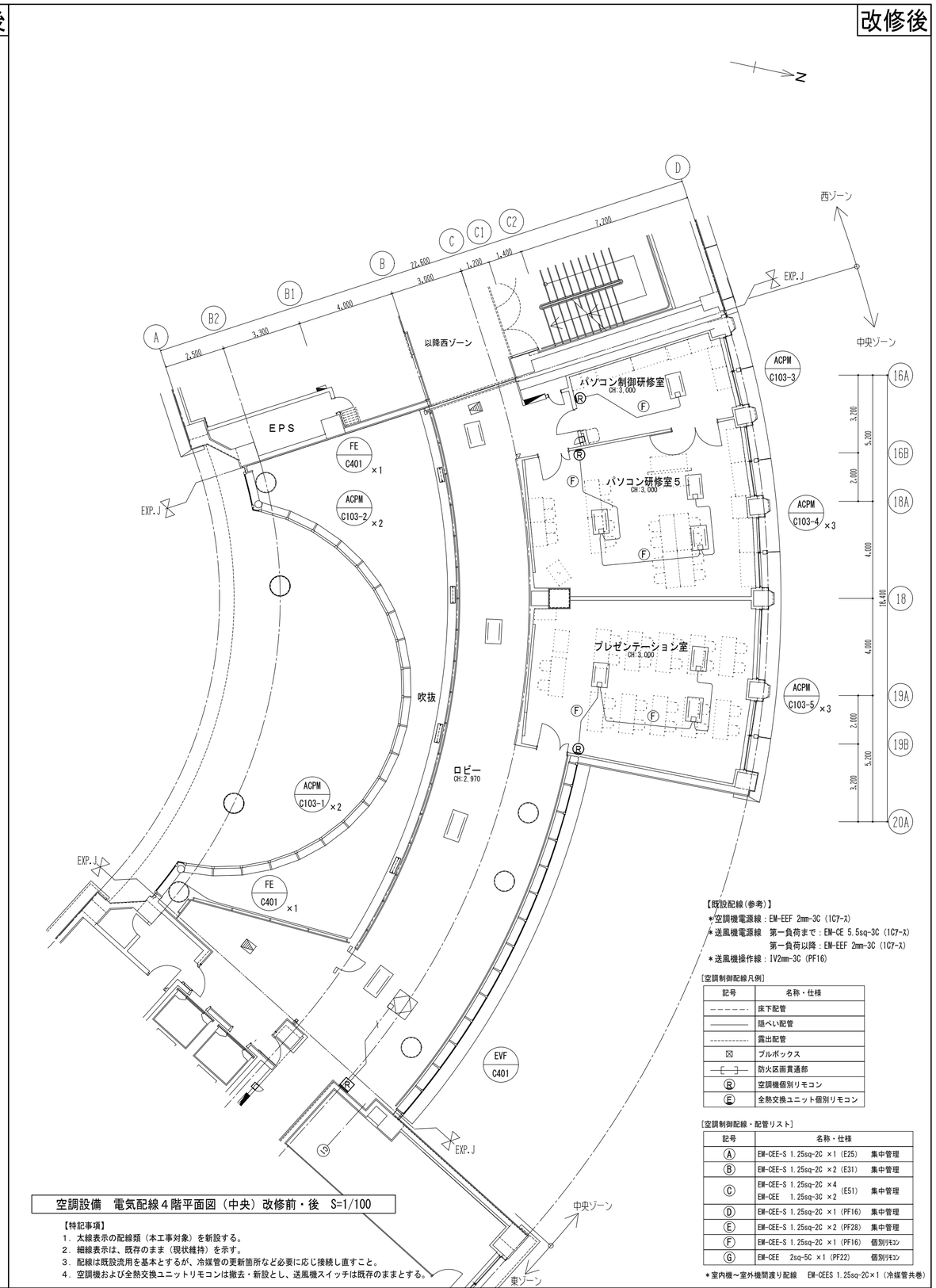
記号	名称・仕様
------	床下配管
————	隠ぺい配管
----------	露出配管
⊠	プルボックス
┤F├	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

[空調制御配線・配管リスト]

記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E25)	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (E31)	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE 1.25sq-3C ×2 (E51)	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (PF28)	集中管理
Ⓕ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE 2sq-5C ×1 (PF22)	個別ﾘﾓｺﾝ

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）

改修後



空調設備　電気配線４階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1. 太線表示の配線類（本工事対象）を新設する。
2. 細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3. 配線は既設流用を基本とするが、冷媒管の更新箇所など必要に応じ接続し直すこと。
4. 空調機および全熱交換ユニットリモコンは撤去・新設とし、送風機スイッチは既存のままとする。

【既設配線(参考)】
＊空調機電源線：EM-EEF 2mm-3C (1C7-ス)
＊送風機電源線　第一負荷まで：EM-CE 5.5sq-3C (1C7-ス)
　　第一負荷以降：EM-EEF 2mm-3C (1C7-ス)
＊送風機操作線：IV2mm-3C (PF16)

[空調制御配線凡例]

記号	名称・仕様
------	床下配管
————	隠ぺい配管
----------	露出配管
⊠	プルボックス
┤F├	防火区画貫通部
Ⓡ	空調機個別リモコン
Ⓔ	全熱交換ユニット個別リモコン

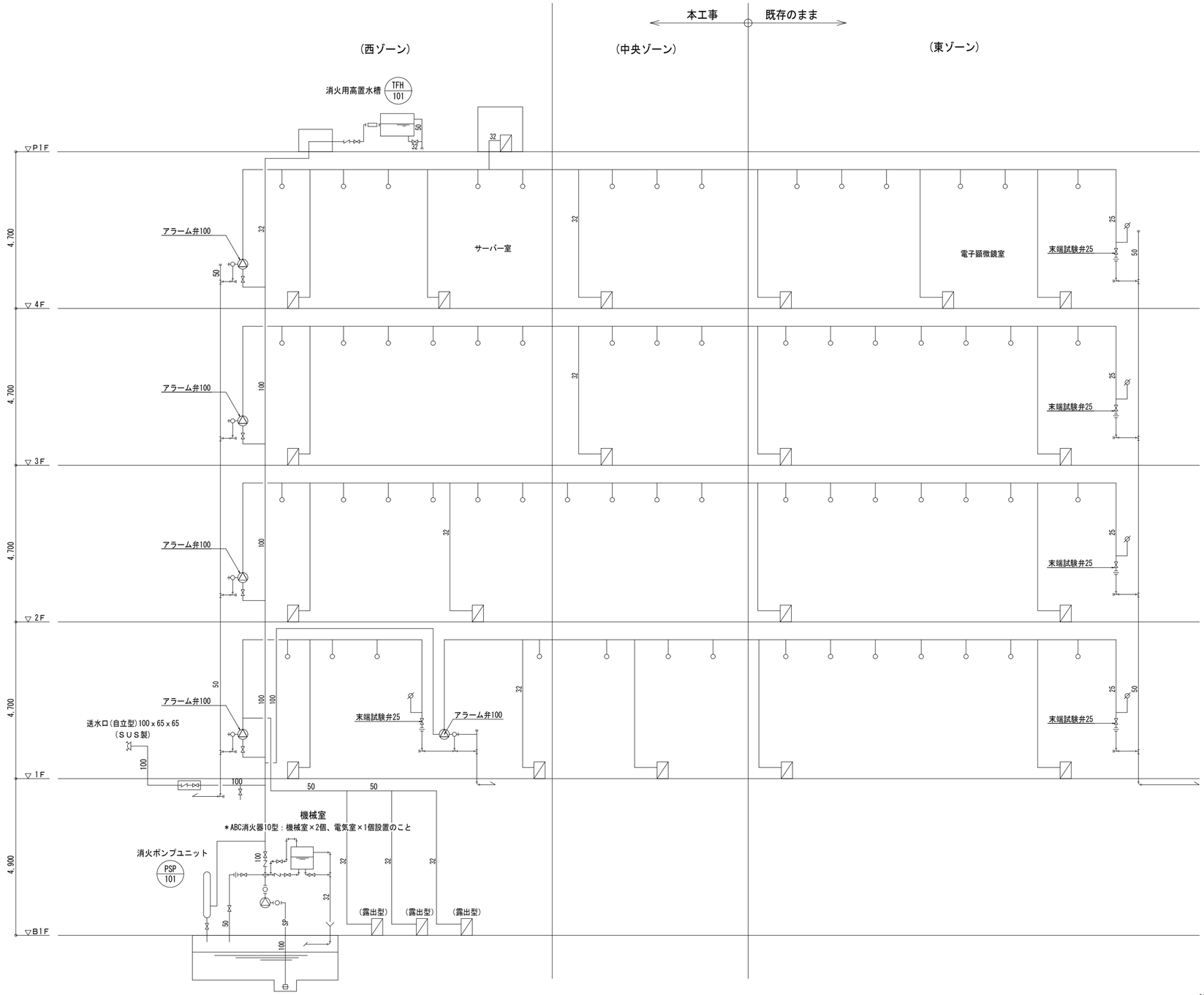
[空調制御配線・配管リスト]

記号	名称・仕様	
Ⓐ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (E25)	集中管理
Ⓑ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (E31)	集中管理
Ⓒ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×4 EM-CEE 1.25sq-3C ×2 (E51)	集中管理
Ⓓ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	集中管理
Ⓔ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×2 (PF28)	集中管理
Ⓕ	EM-CEE-S 1.25sq-2C ×1 (PF16)	個別ﾘﾓｺﾝ
Ⓖ	EM-CEE 2sq-5C ×1 (PF22)	個別ﾘﾓｺﾝ

＊室内機～室外機間渡り配線　EM-CEES 1.25sq-2C×1（冷媒管共巻）

徳島県県土整備部営繕課	工事名	R７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	M-38
設計 R7.2 / 竣工	図面名	空調設備　電気配線３、４階平面図（中央）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159



［凡　例］

記号	名称・仕様
○	スプリンクラーヘッド:埋込・閉鎖型（(再)/取外し･再取付を示す）
⊘	補助散水栓
△	アラーム弁

スプリンクラー設備　系統図（参考）　S=NON

【特記事項】

1．施工中（スプリンクラー未警戒時）は、代替消火設備としてABC消火器10型を20mlに1個以上、配置すること。

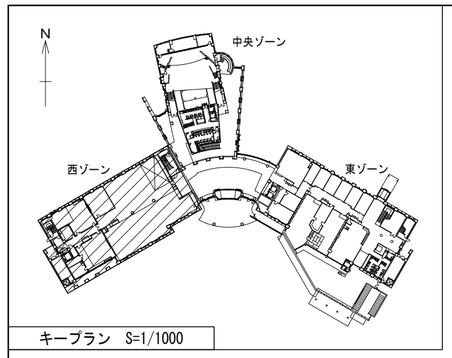
2．西ゾーン地下１階については、ABC消火器10型を3台、見込むこと。

2．東ゾーンについては、ABC消火器10型を２１台、見込むこと。

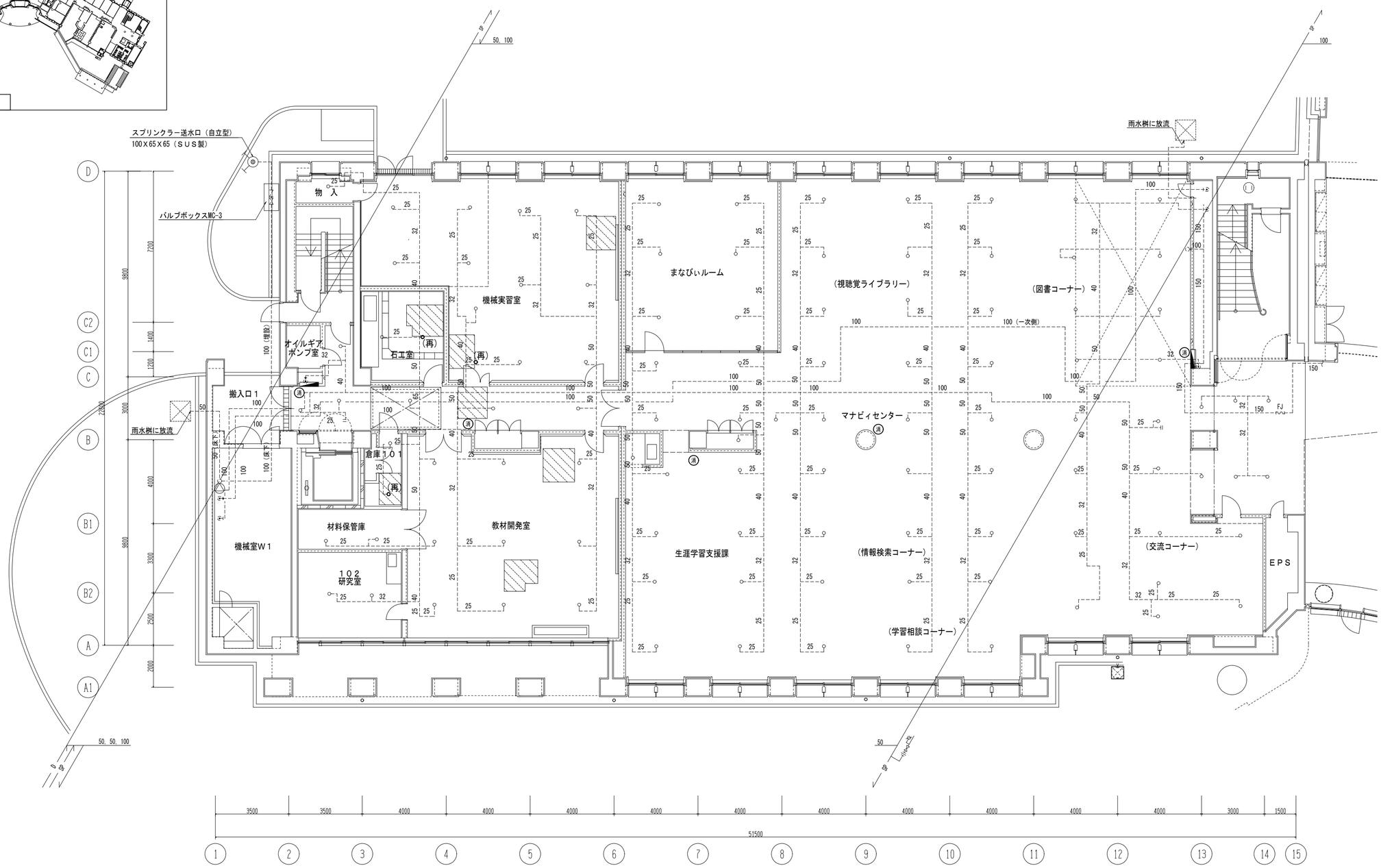
徳島県県土整備部営繕課	工事名	R7営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	P-01
設計 R7.2 / 竣工	図面名	スプリンクラー設備　系統図（参考）	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前・後



キープラン　S=1/1000



スプリンクラー設備　１階平面図（西）改修前・後　S=1/100

【特記事項】

１．施工中（スプリンクラー未警戒時）は、代替消火設備としてABC消火器10型を20mに1個以上、配置すること。

［凡　例］

記号	名称・仕様
○	スプリンクラーヘッド:埋込・閉鎖型（(再)/取外し･再取付を示す）
◣	補助散水栓
△	アラーム弁
消	ＡＢＣ消火器10型
▨	天井撤去・復旧範囲

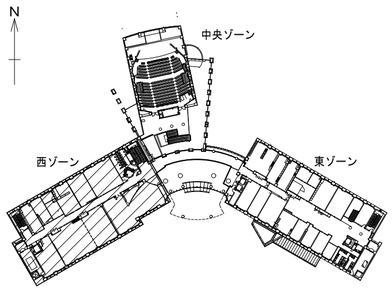
［数量表］

名称・仕様	数量
スプリンクラーヘッド(取外し・再取付)	3
ＡＢＣ消火器10型	5

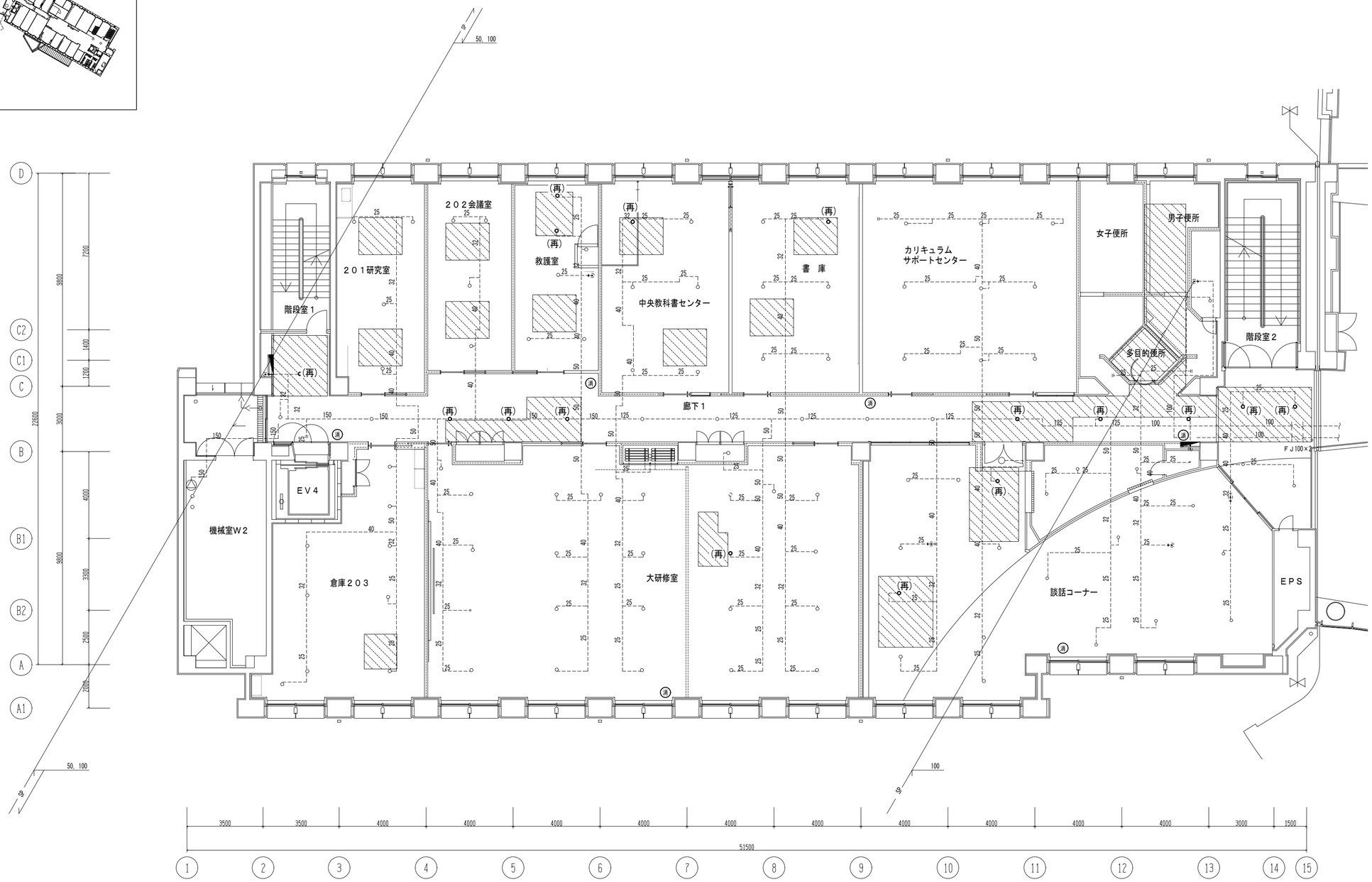
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	P-02
設計 R7.2 / 竣工	図面名	スプリンクラー設備　１階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前・後



キープラン　S=1/1000



スプリンクラー設備　２階平面図（西）改修前・後　S=1/100

【特記事項】

1．施工中（スプリンクラー未警戒時）は、代替消火設備としてABC消火器10型を20m に1個以上、配置すること。

[凡　例]

記号	名称・仕様
○	スプリンクラーヘッド:埋込・閉鎖型（(再)/取外し･再取付を示す）
▬	補助散水栓
△	アラーム弁
消	ＡＢＣ消火器10型
▨	天井撤去・復旧範囲

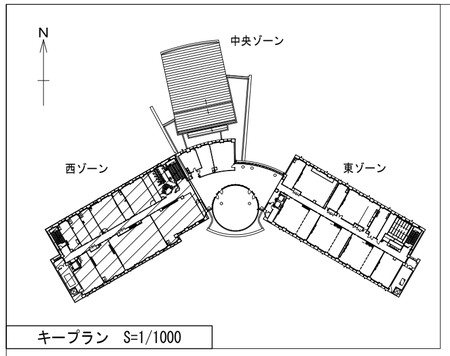
[数量表]

名称・仕様	数量
スプリンクラーヘッド(取外し・再取付)	16
ＡＢＣ消火器10型	6

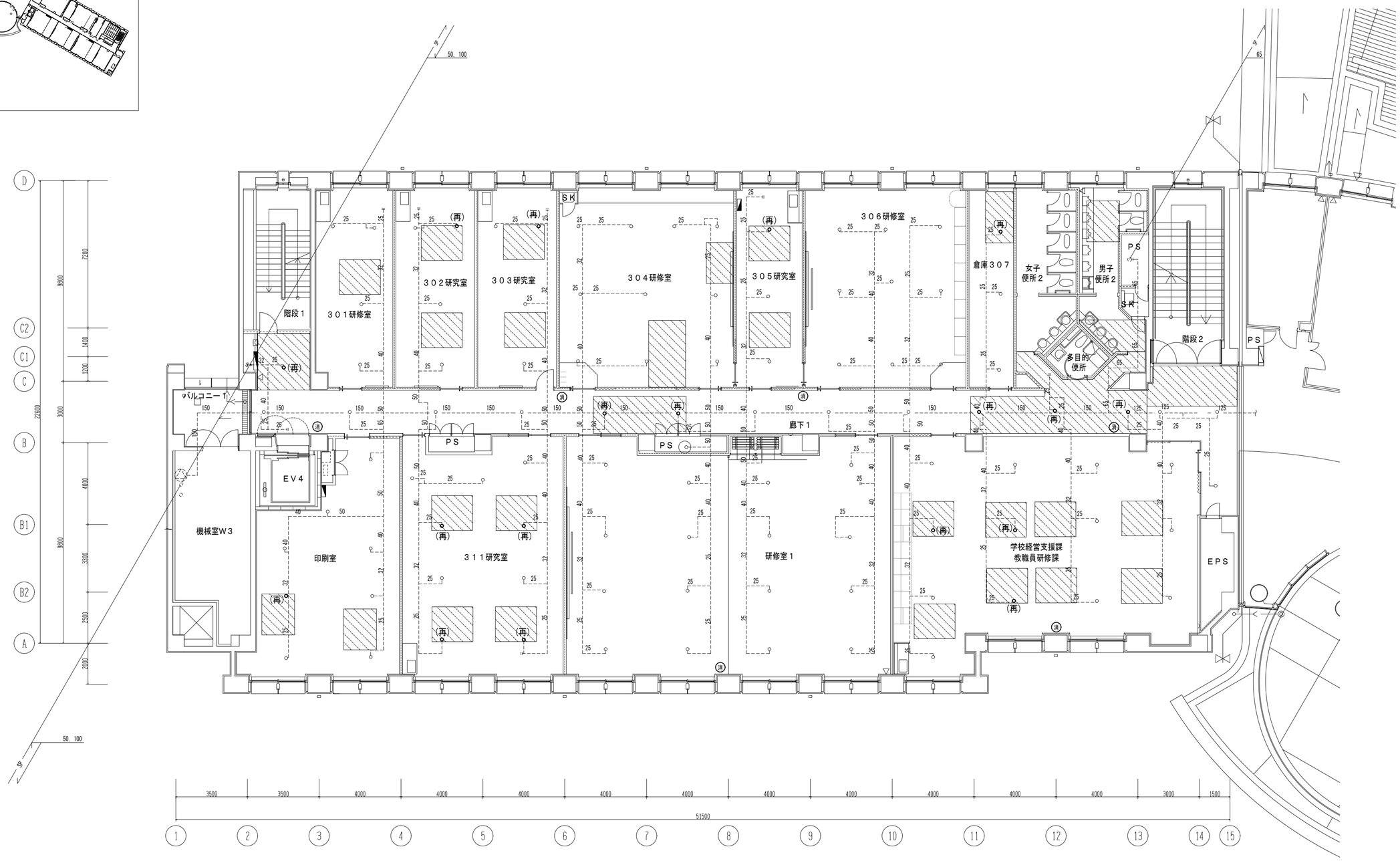
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 P-03
設計 R7.2 / 竣工	図面名	スプリンクラー設備　２階平面図（西）改修前・後	縮尺 1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前・後



キープラン　S=1/1000



スプリンクラー設備　３階平面図（西）改修前・後　S=1/100

【特記事項】

1．施工中（スプリンクラー未警戒時）は、代替消火設備としてABC消火器10型を20mlに1個以上、配置すること。

［凡　例］

記号	名称・仕様
○	スプリンクラーヘッド：埋込・閉鎖型（(再)/取外し・再取付を示す）
▬	補助散水栓
△	アラーム弁
(消)	ＡＢＣ消火器10型
▨	天井撤去・復旧範囲

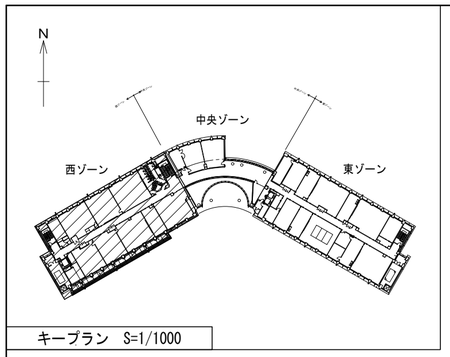
［数量表］

名称・仕様	数量
スプリンクラーヘッド(取外し・再取付)	18
ＡＢＣ消火器10型	6

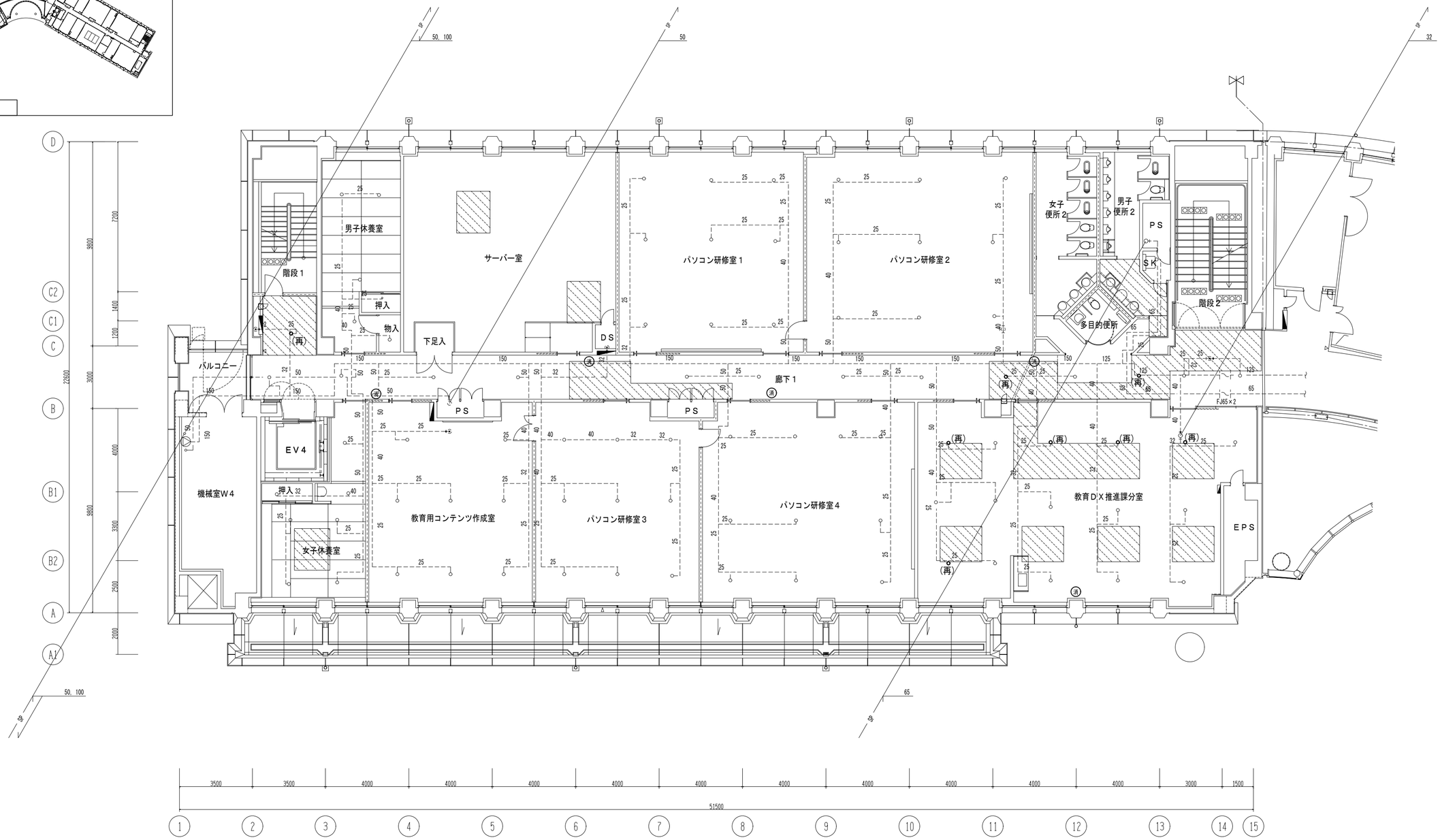
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	P-04
設計 R7.2 / 竣工	図面名	スプリンクラー設備　３階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前・後



キープラン　S=1/1000



スプリンクラー設備　４階平面図（西）改修前・後　S=1/100

【特記事項】

１．施工中（スプリンクラー未警戒時）は、代替消火設備としてABC消火器10型を20mに1個以上、配置すること。

［凡　例］

記号	名称・仕様
○	スプリンクラーヘッド:埋込・閉鎖型（(再)/取外し･再取付を示す）
	補助散水栓
△	アラーム弁
消	ＡＢＣ消火器10型
	天井撤去・復旧範囲

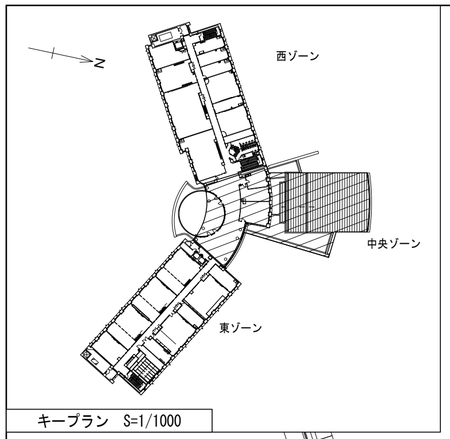
［数量表］

名称・仕様	数量
スプリンクラーヘッド(取外し・再取付)	8
ＡＢＣ消火器10型	5

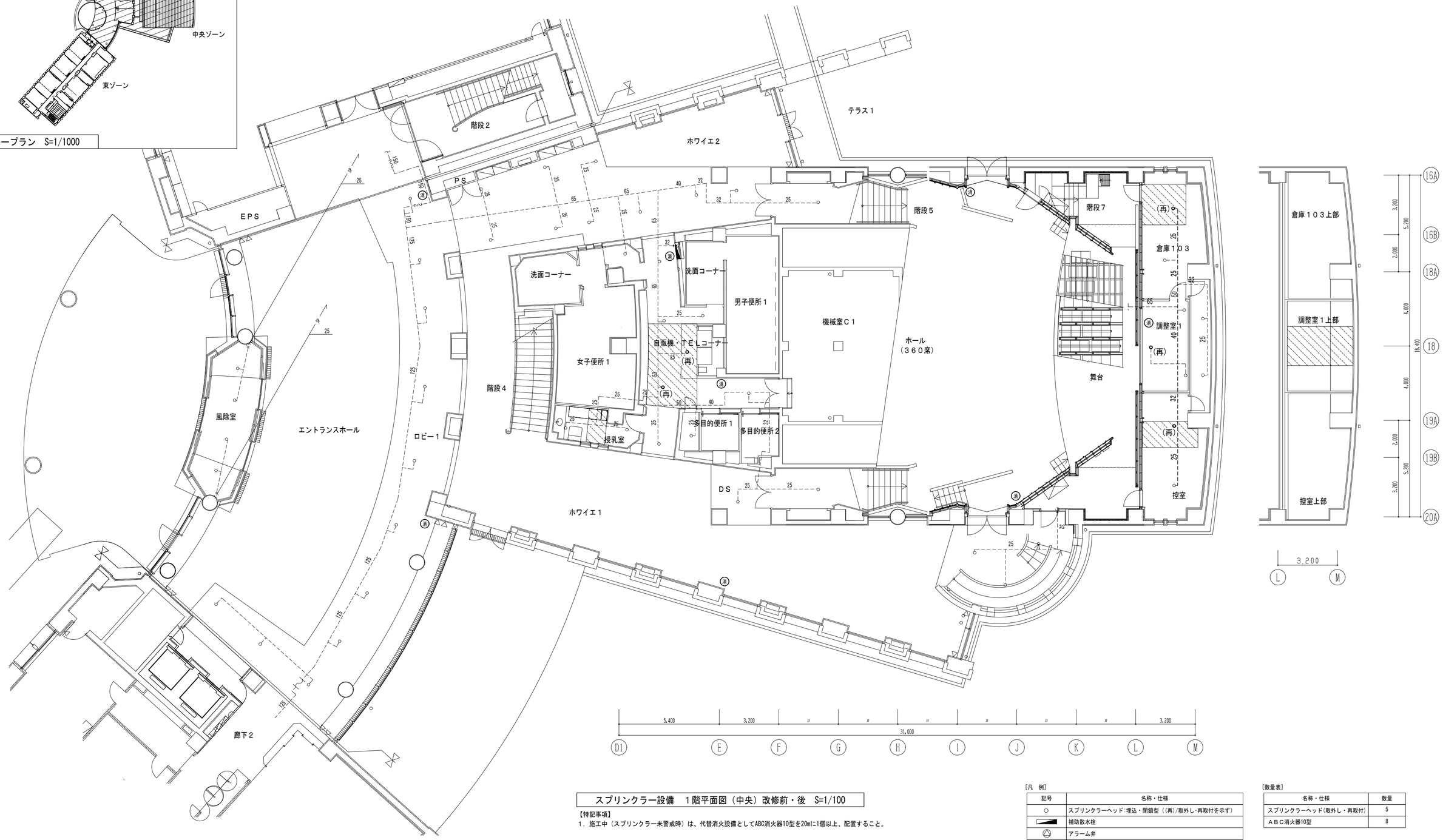
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	P-05
設計 R7.2 / 竣工	図面名	スプリンクラー設備　４階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前・後



キープラン　S=1/1000



スプリンクラー設備　１階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．施工中（スプリンクラー未警戒時）は、代替消火設備としてABC消火器10型を20m に1個以上、配置すること。

[凡　例]

記号	名称・仕様
○	スプリンクラーヘッド:埋込・閉鎖型（(再)/取外し･再取付を示す）
▬	補助散水栓
△	アラーム弁
消	ＡＢＣ消火器10型
▨	天井撤去・復旧範囲

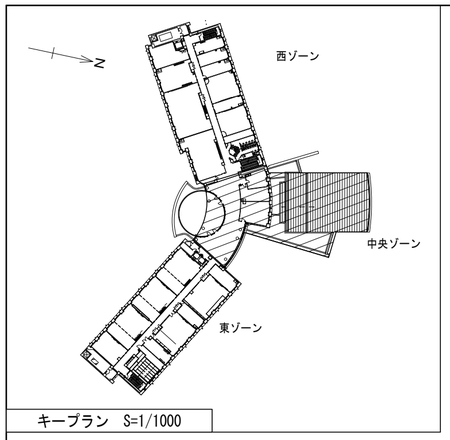
[数量表]

名称・仕様	数量
スプリンクラーヘッド(取外し・再取付)	5
ＡＢＣ消火器10型	8

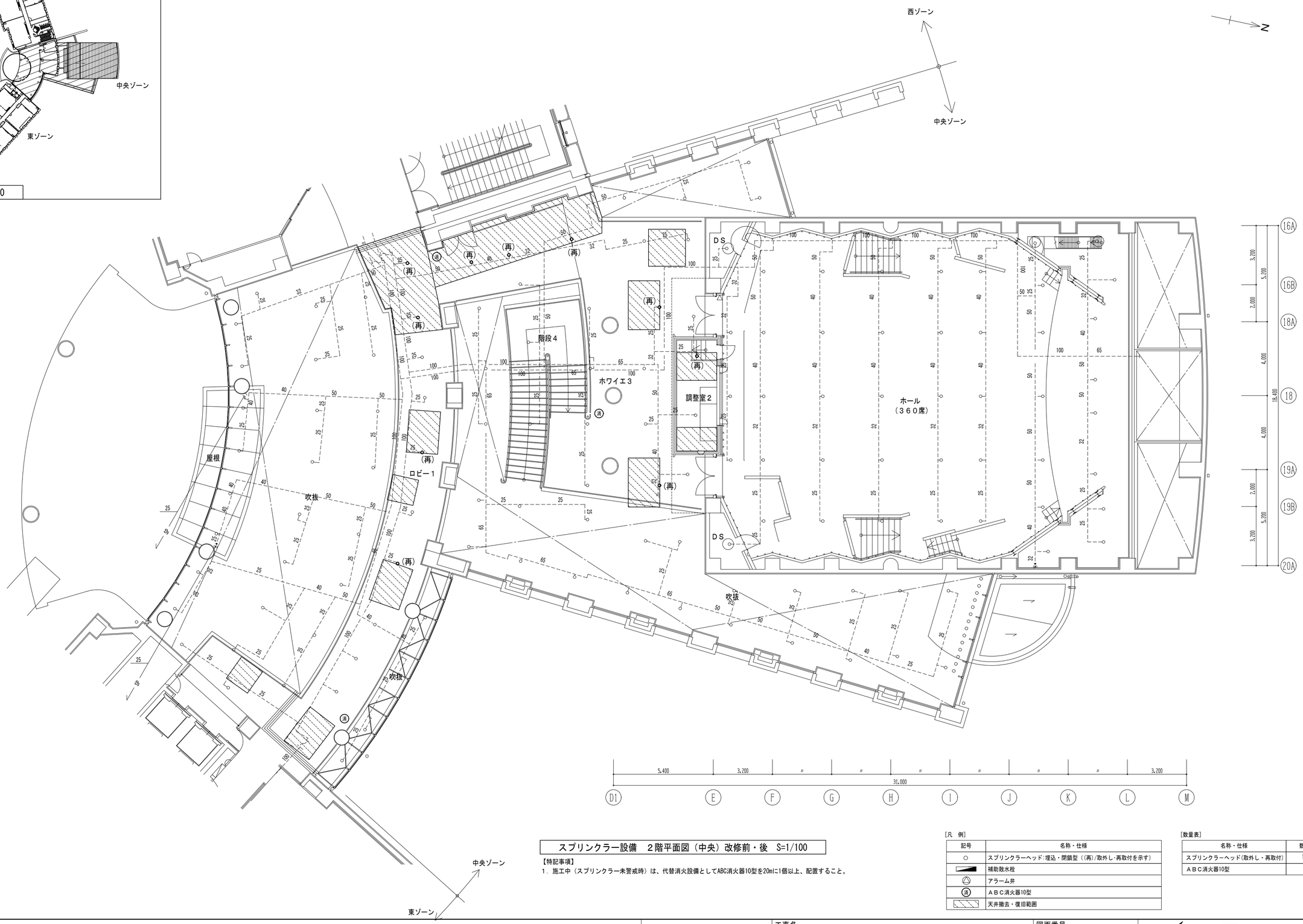
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	P-06
設計 R7.2 / 竣工	図面名	スプリンクラー設備　１階平面図（中央）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前・後



キープラン　S=1/1000



スプリンクラー設備　２階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】

1．施工中（スプリンクラー未警戒時）は、代替消火設備としてABC消火器10型を20mに1個以上、配置すること。

［凡　例］

記号	名称・仕様
○	スプリンクラーヘッド:埋込・閉鎖型（(再)/取外し･再取付を示す）
▬	補助散水栓
△	アラーム弁
消	ＡＢＣ消火器10型
▨	天井撤去・復旧範囲

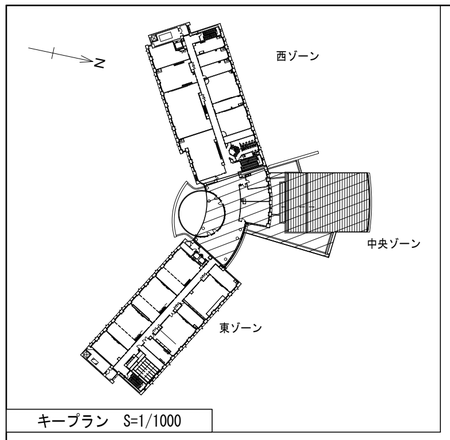
［数量表］

名称・仕様	数量
スプリンクラーヘッド(取外し・再取付)	10
ＡＢＣ消火器10型	3

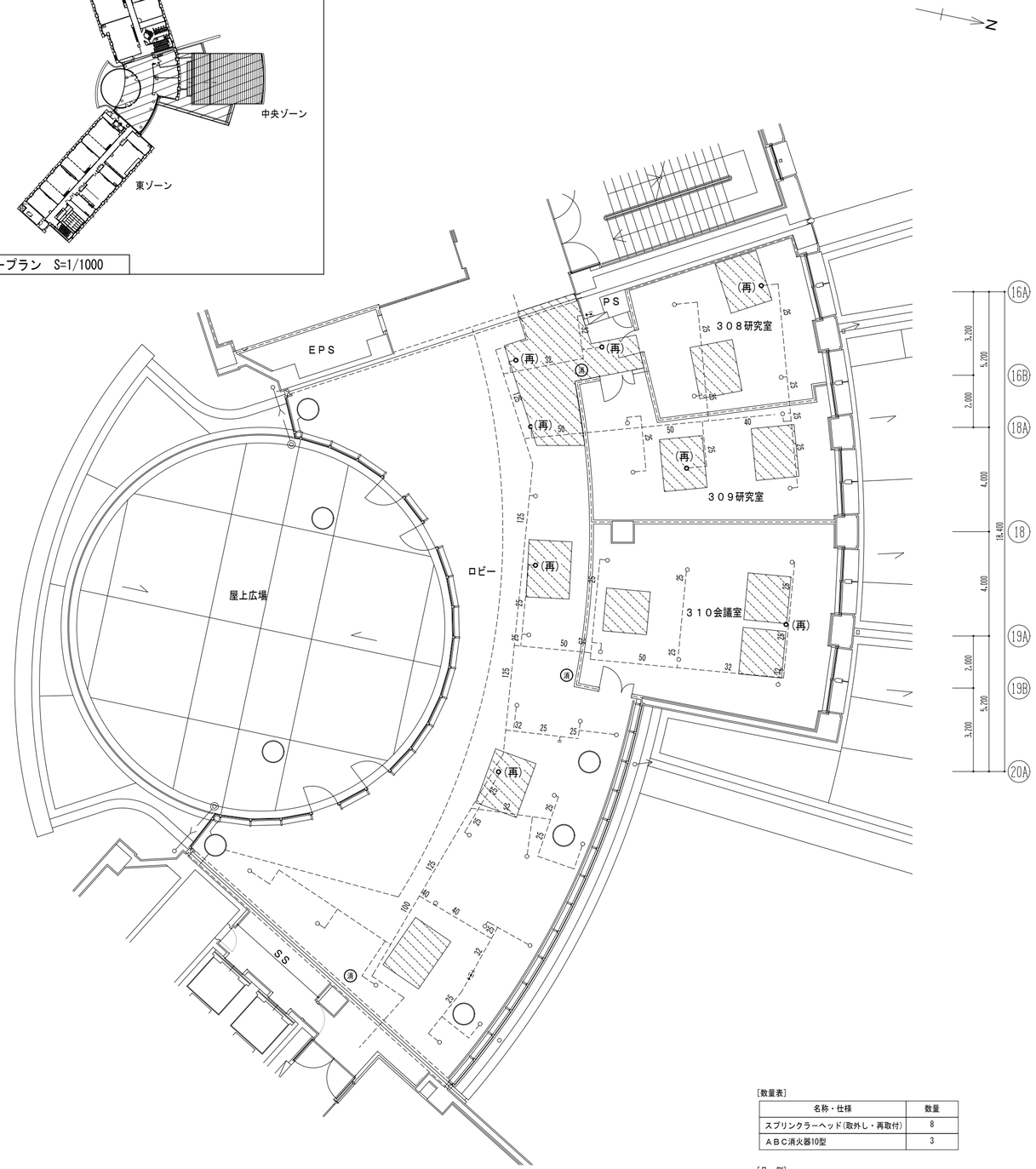
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号 P-07
設計 R7.2 / 竣工	図面名	スプリンクラー設備　２階平面図（中央）改修前・後	縮尺 1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前・後



キープラン　S=1/1000



スプリンクラー設備３階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．施工中（スプリンクラー未警戒時）は、代替消火設備としてABC消火器10型を20m に1個以上、配置すること。

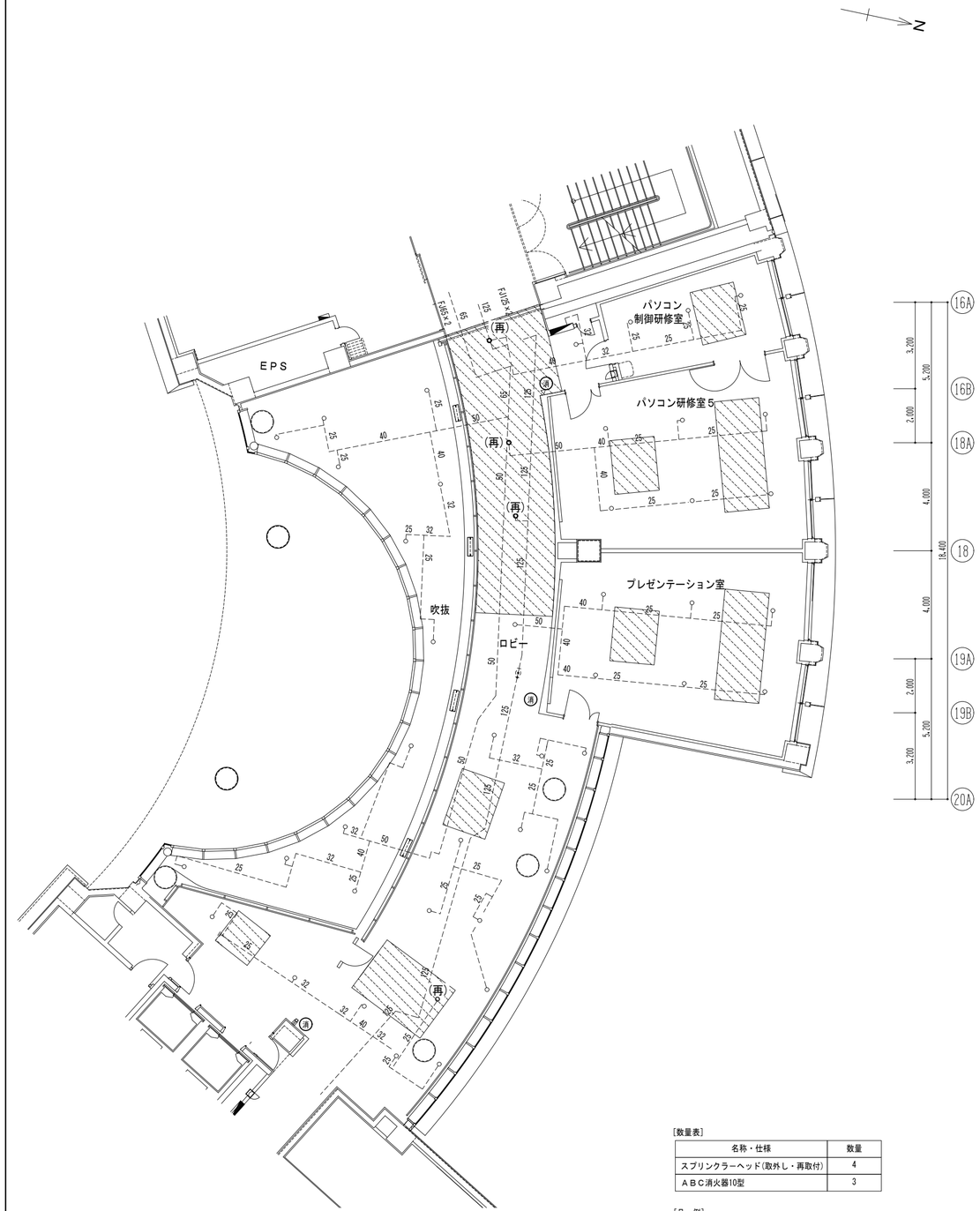
[数量表]

名称・仕様	数量
スプリンクラーヘッド(取外し・再取付)	8
ＡＢＣ消火器10型	3

[凡　例]

記号	名称・仕様
○	スプリンクラーヘッド:埋込・閉鎖型（(再)/取外し･再取付を示す）
	補助散水栓
△	アラーム弁
(消)	ＡＢＣ消火器10型
	天井撤去・復旧範囲

改修前・後



スプリンクラー設備４階平面図（中央）改修前・後　S=1/100

【特記事項】
1．施工中（スプリンクラー未警戒時）は、代替消火設備としてABC消火器10型を20m に1個以上、配置すること。

[数量表]

名称・仕様	数量
スプリンクラーヘッド(取外し・再取付)	4
ＡＢＣ消火器10型	3

[凡　例]

記号	名称・仕様
○	スプリンクラーヘッド:埋込・閉鎖型（(再)/取外し･再取付を示す）
	補助散水栓
△	アラーム弁
(消)	ＡＢＣ消火器10型
	天井撤去・復旧範囲

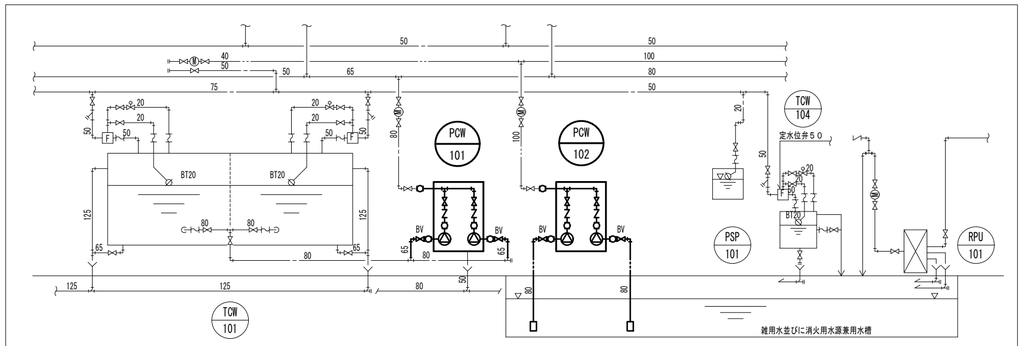
徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	P-08
設計 R7.2 / 竣工	図面名	スプリンクラー設備　３、４階平面図（中央）改修前・後	縮尺	1/100

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159

改修前・後

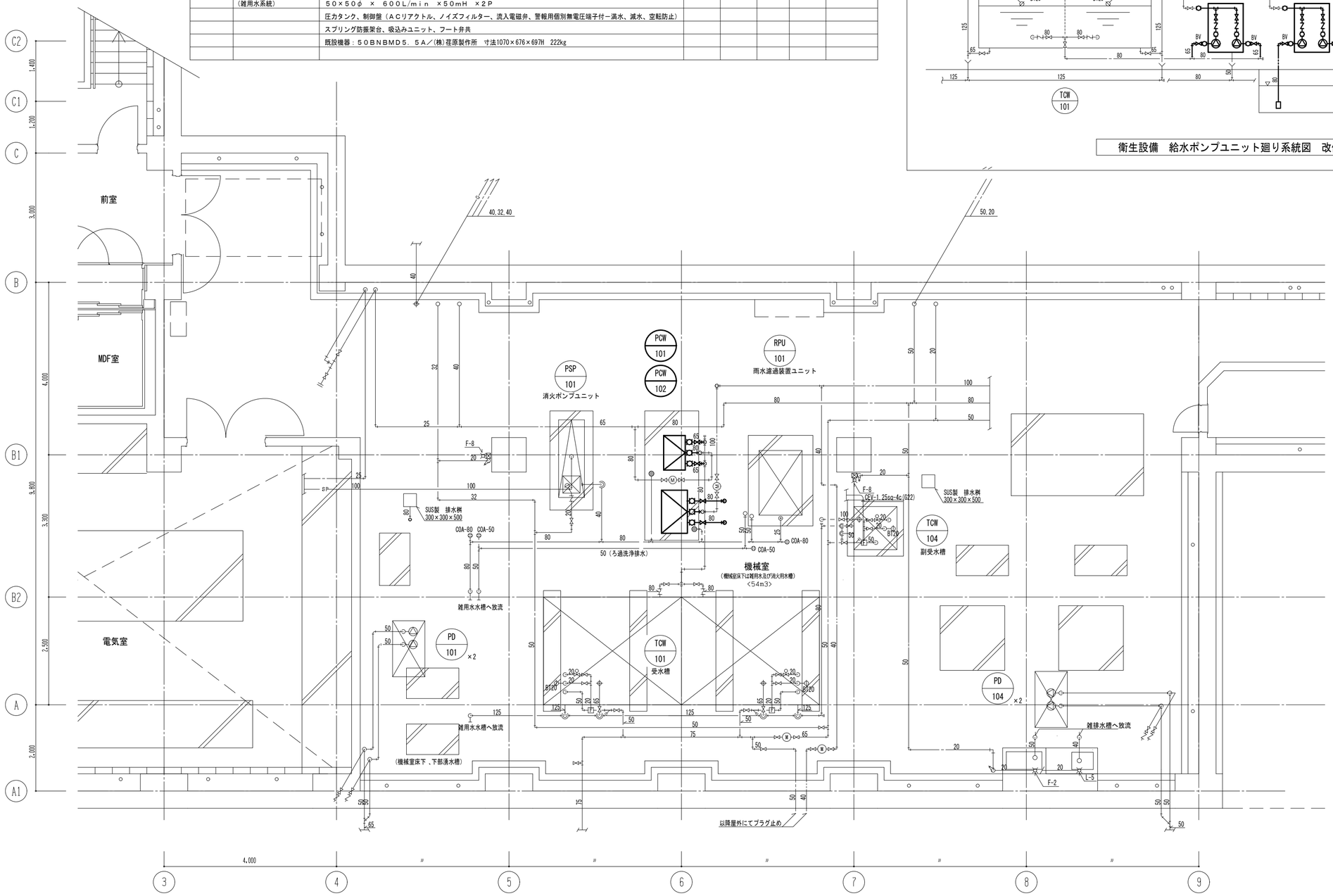
機器表　改修前・後

機器番号	機器名称	機　　器　　仕　　様	付属電動機 電源	付属電動機 容量［kW］	台数	据付位置	備　考
PCW－101	加圧給水ポンプユニット	推定末端圧力給水ユニット（周波数制御方式）　　ポンプ２台並列交互運転方式	3φ200V	3.7×２	１組	Ｂ１Ｆ	Ｇ回路
	（上水系統）	４０×６５φ　×　３５０Ｌ/ｍｉｎ　×５０ｍＨ　×２Ｐ					
		圧力タンク、制御盤（ＡＣリアクトル、ノイズフィルター、流入電磁弁、警報用個別無電圧端子付－満水、減水、空転防止）					
		スプリング防振架台、　　既設機器：４０ＢＮＢＭＤ３．７Ａ／(株)荏原製作所　寸法780×555×541H　139kg					
PCW－102	加圧給水ポンプユニット	自吸式推定末端圧力給水ユニット（周波数制御方式）　　ポンプ２台並列交互運転方式	3φ200V	5.5×２	１組	Ｂ１Ｆ	Ｇ回路
	（雑用水系統）	５０×５０φ　×　６００Ｌ/ｍｉｎ　×５０ｍＨ　×２Ｐ					
		圧力タンク、制御盤（ＡＣリアクトル、ノイズフィルター、流入電磁弁、警報用個別無電圧端子付－満水、減水、空転防止）					
		スプリング防振架台、吸込みユニット、フート弁共					
		既設機器：５０ＢＮＢＭＤ５．５Ａ／(株)荏原製作所　寸法1070×676×697H　222kg					



衛生設備　給水ポンプユニット廻り系統図　改修前・後　S=NON

【特記事項】
1．太線表示は、撤去・新設（本工事対象）を示す。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．機器更新に伴う電源配線は別途電気工事とする。



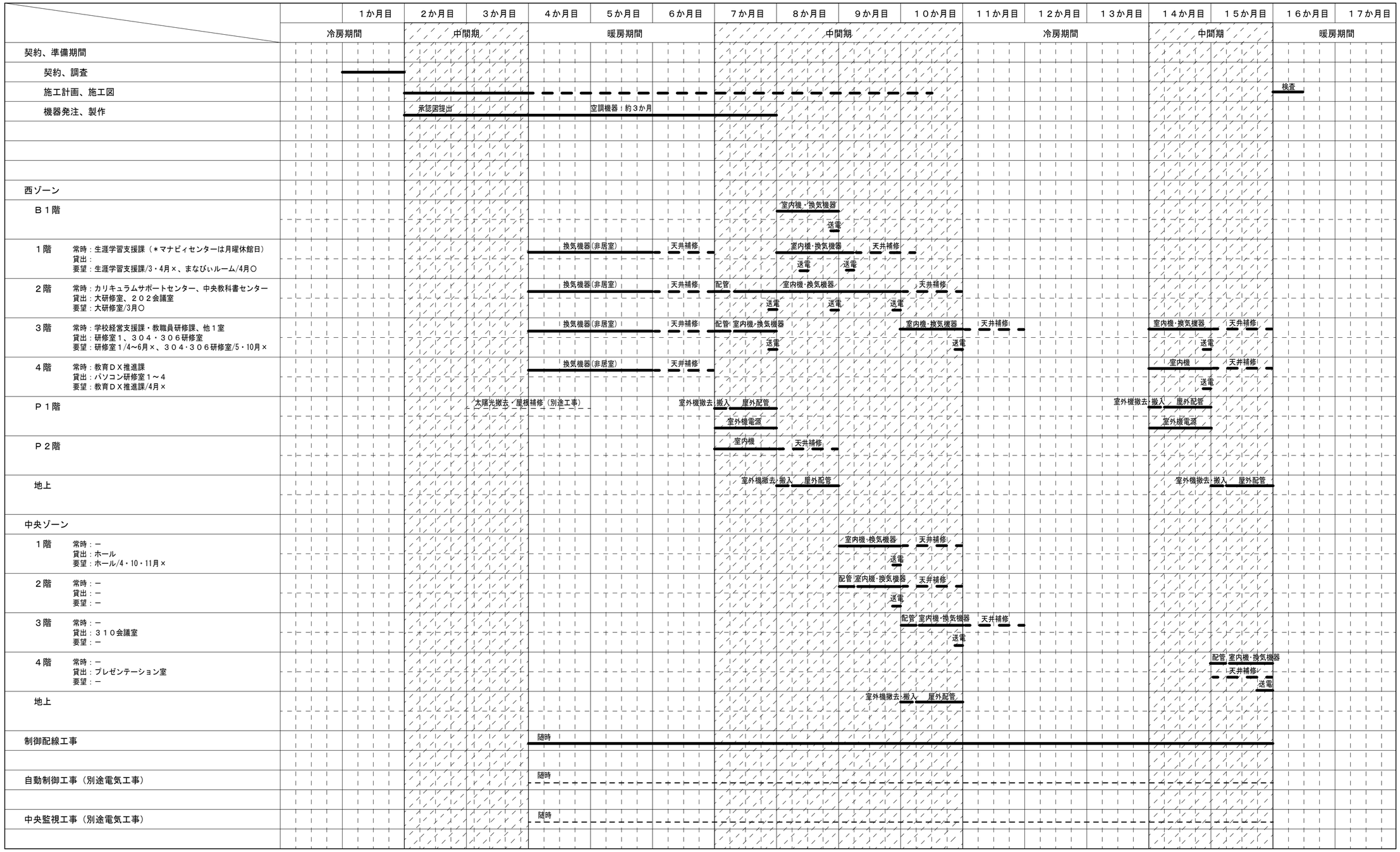
衛生設備　地下１階平面図（西）改修前・後　S=1/50

【特記事項】
1．太線表示は、撤去・新設（本工事対象）を示す。
2．細線表示は、既存のまま（現状維持）を示す。
3．機器更新に伴う電源配線は別途電気工事とする。

［凡　例］

記号	名称・仕様
――――	給水管(一般)：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VA
	給水管(100A以上)：フランジ付き硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-FVA
――――	汚水・雑排水管：排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管DVLP

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	W-01	有限会社 岡 設備設計
設計 R7.2 / 竣工	図面名	衛生設備　地下１階平面図（西）改修前・後	縮尺	1/50	建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義 徳島市南矢三町3丁目5-15 TEL(088)633-2159



【注記】

1．本工程表は、参考として８月契約・着手としているが、契約時期により適宜工程を読み替えて適用すること。

2．凡例・・・常時：常時執務室、予約：予約制貸出室、要望：施設側の希望工事時期。

3．常時執務室等については、土・日曜日、祝日に優先して工事ができるよう調整すること。

3．予約制貸出室については、施設管理者と十分に協議を行い、工事日を調整すること。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	Ｒ７営繕　総合教育センター　板・犬伏 空調設備改修工事空調	図面番号	エ-01
設計 R7.2 / 竣工	図面名	参考概略工事工程表	縮尺	NO SCALE

有限会社 岡 設備設計
建築設備士登録番号 第62E1－0492LA号　岡　宣　義
徳島市南矢三町3丁目5-15
TEL(088)633-2159